

# 深谷市公共施設白書

平成 26 年 3 月

深谷市



## はじめに

深谷市では、全国の多くの自治体と同様に、高度経済成長とこれに伴う人口増等を背景に、様々な住民ニーズに対応すべく各種施設の整備を進めてきました。この結果、数多くの公共施設を保有することとなり、住民生活の利便性は大きく向上しました。

しかし、今後は少子高齢化の更なる進展により、市税等の自主財源の減少、扶助費の増大など厳しい財政状況が予測される中、こうした施設の多くが老朽化を迎え、建て替えや大規模改修等にかかる費用がこれからの市の財政運営にとって大きな負担となることが確実視されてきました。

また、平成18年1月の1市3町による合併に伴い、合併前の旧市町が保有していた施設がそのまま新市に引き継がれた結果、同種、同機能の施設が数多く存在することとなり、これらの施設を抱えているだけでも財政を圧迫する大きな要因となっています。

こうした状況を踏まえ、平成24年11月に公共施設の今後のあり方についての基本となる方針として、「深谷市公共施設適正配置基本方針」を策定いたしました。

この方針の中では、今後の市民ニーズの変化や財政状況等を踏まえた上で、必要とされるサービスとそうでないものについて慎重に調査、分析し、施設の仕分け（統廃合）を行うことで、施設保有量のスリム化を図っていくこととしています。

そのためにも、公共施設の現状、課題について把握、整理した上で、施設の統廃合や有効活用など、施設の再編に向けた計画づくりが必要となってきます。

今回作成しました「深谷市公共施設白書」は、市が保有する公共施設を対象に、各施設の概要や利用状況、コスト状況などをまとめたものですが、多くの市民の皆さまに目を通していただくとともに、今後の深谷市の公共施設のあり方について検討していくための基礎資料として活用してまいります。

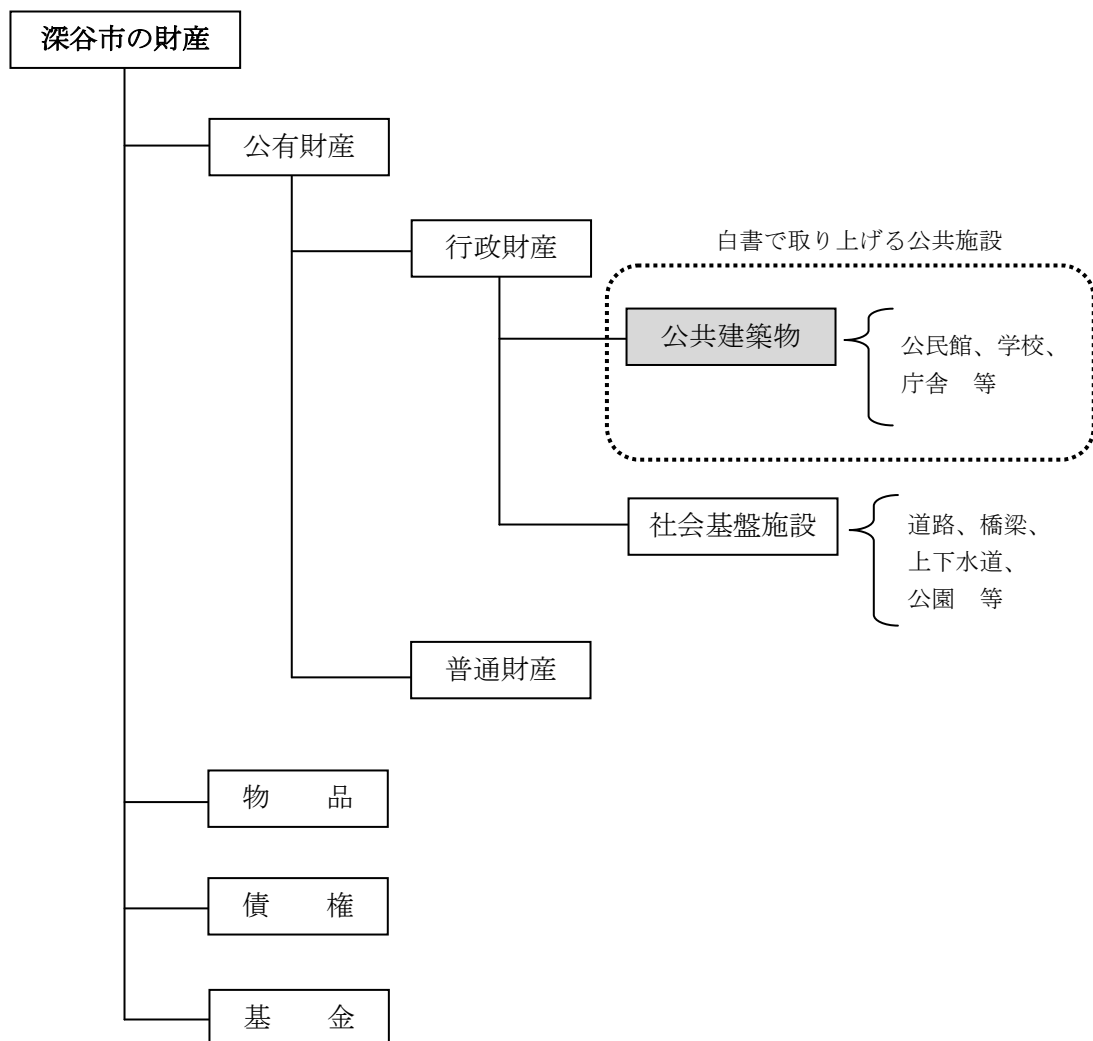
## 【白書で取り上げる公共施設】

深谷市が所有、管理する財産は、地方自治法に基づき下図のように分類され、公有財産は「行政財産」と「普通財産」に分類されています。

行政財産とは、公民館、学校、庁舎等の公共建築物（いわゆるハコモノ）と、道路、橋梁、上下水道（処理施設も含む）等の社会基盤施設（インフラ）が該当します。

一方、普通財産とは、行政財産以外の財産のことをいい、貸付をしている土地や建物、用途廃止した土地、建物等が該当します。

本白書では、行政財産のうち、道路、橋梁、上下水道等の社会基盤施設及び建替を想定していない文化財を除いた、公共建築物（概ね延床面積 100 m<sup>2</sup>以上）を対象としています。



【対象とした「公共施設」の分類及び主な施設】

分類	施設数	延床面積(m <sup>2</sup> )	主な施設
市民文化系施設	19	34,263.03	コミュニティセンター(3)、公民館(12)、文化会館(2)
社会教育系施設	5	3,673.67	図書館(4)、洪沢栄一記念館
保健福祉系施設	15	11,792.29	老人福祉センター(4)、保健センター(4)、障害福祉施設(2)
スポーツ・レクリエーション系施設	30	28,089.39	総合体育館、市民体育館、農業者トレーニングセンター(2)、パティオ
産業系施設	11	8,517.09	産業会館、多目的センター、農民センター、ふるさと物産センター、物産館
子育て支援施設	26	9,204.98	保育園(7)、学童保育室(19)
学校教育系施設	44	182,642.59	幼稚園(12)、小学校(19)、中学校(10)、給食センター(2)
行政系施設	16	24,166.61	本庁舎、総合支所、別館、教育庁舎、消防本部、消防署(2)、分署(5)
市営住宅	11	30,764.14	市営住宅(11)
その他施設	6	14,341.40	深丘園、衛生センター
合計	183	347,455.19	

※本白書で取り扱う施設については、原則として平成25年4月1日時点の資料に基づき、掲載しています。  
 なお、平成25年度中に、追加、廃止等のあった施設については、極力、現状に沿うよう努めています。  
 ※施設の概要、コスト状況や利用状況等に関するデータは、当該施設を所管する部署から報告を受けた数値を基本として掲載しています。

# 目 次

第1章	市の概要	1
1	市の概況	2
2	人口動向	3
3	財政状況	5
第2章	公共施設の全体的状況	7
1	保有施設の現状	8
2	公共施設に対する市民意識の現状	10
3	公共施設の更新費用推計	12
第3章	用途別（個別）施設の状況	17
1	市民文化系施設	19
2	社会教育系施設	42
3	保健福祉系施設	48
4	スポーツ・レクリエーション系施設	61
5	産業系施設	75
6	子育て支援施設	84
7	学校教育系施設	94
8	行政系施設	115
9	市営住宅	123
10	その他施設	128
資 料	対象施設一覧	143

## 第1章 市の概要

## 1 市の概況

### (1) 位置

深谷市は、埼玉県の北西部に位置し、東京都心から 70km 圏にあります。

東は熊谷市に、南は嵐山町、寄居町に、西は美里町、本庄市に、北は群馬県の伊勢崎市、太田市に接しています。

また、北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れ出た荒川が扇状台地を形成しており、概ね平坦な地形で、市の総面積は 138.41 km<sup>2</sup>、うち田畑が約半分を占めています。



### (2) 歴史的特性

江戸時代には中山道が通り、宿場町として栄えていました。

また、日本資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一翁の生誕地であり、栄一翁により深谷で日本初の機械方式によるレンガ工場が造られるなど、日本の近代化に寄与しました。

一方、東京圏の一大消費地をバックに農業都市として発展を遂げるとともに、戦後、東京圏の成長にあわせ、ベッドタウンとして成長を続けてきました。

平成 18 年 1 月 1 日の 1 市 3 町（深谷市、岡部町、川本町、花園町）の合併を経て、新たな深谷市がスタートし、平成 22 年 3 月 1 日には、群馬県太田市南前小屋地区を編入し、深谷市高島の一部を群馬県太田市へ編入しました。



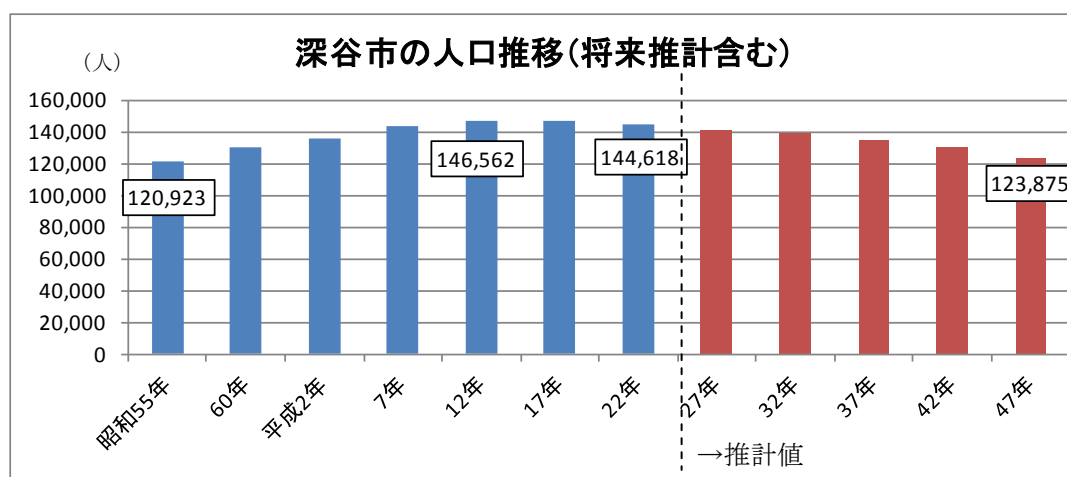
## 2 人口動向

人口	：	146,189人（平成25年4月1日時点）
		144,618人（平成22年国勢調査）
昼間人口	：	137,372人（ ” ）
昼夜間人口比率	：	95.0%（ ” ）

### （1）人口の推移及び将来予測

深谷市の人口は近年まで緩やかに増加しておりましたが、平成12年の146,562人をピークとして、すでに減少に転じています。

将来人口推計によると、本市の人口はこのまま減少が続き、平成47年には123,875人になると予測されています。これは昭和50年代後半の水準です。



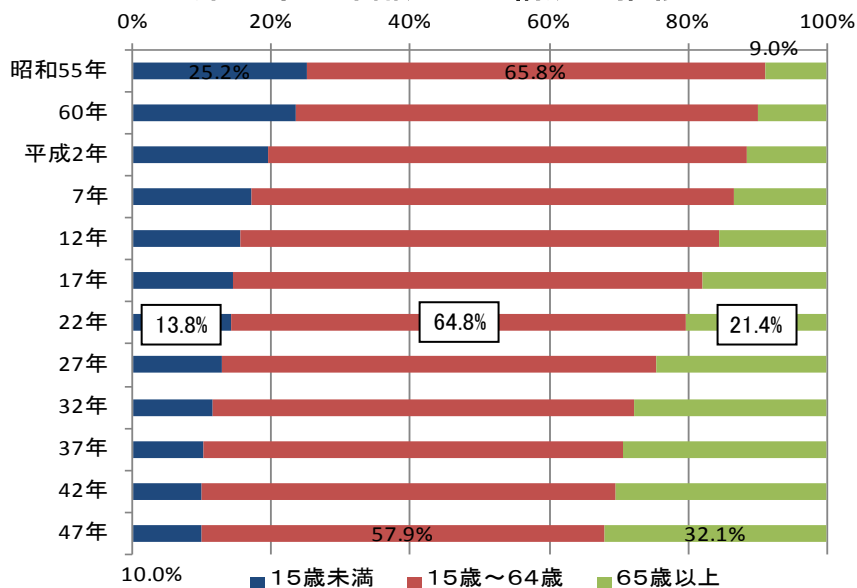
出典：深谷市総合振興計画後期基本計画

### （2）年齢別人口構成の推移

現在の本市の人口構成（平成22年国勢調査）は、0～14歳の人口割合が13.8%、15歳～64歳の人口割合が64.8%、65歳以上の人口割合は21.4%となっています。

65歳以上の人口の割合は上昇を続けており、将来人口推計によると平成47年には32.1%になると予想されており、およそ3人に1人が65歳以上となります。

### 深谷市の年齢別人口構成の推移



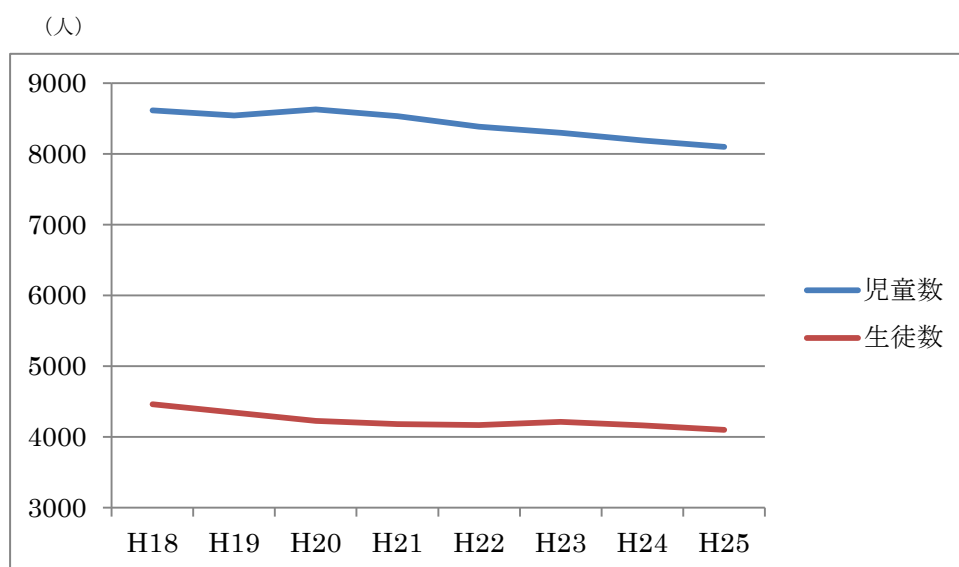
出典：深谷市総合振興計画後期基本計画

### (3) 児童、生徒数の推移

現在市内には、19校の公立小学校と、10校の公立中学校が設置されています。

深谷市の小学校の児童数は、平成18年度の8,614人に対し、平成25年度は8,097人で、517人（約6%）減少しています。

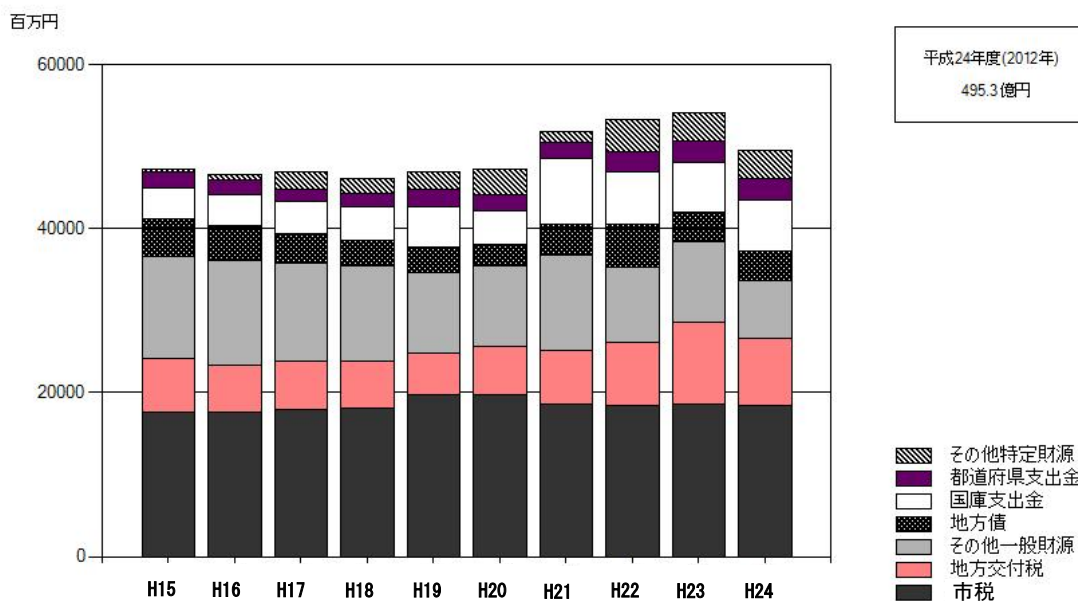
一方、中学校の生徒数は、平成18年度の4,463人に対し、平成25年度は4,100人で、363人（約8%）減少しています。今後もこの減少傾向は続くものと予測されます。



### 3 財政状況

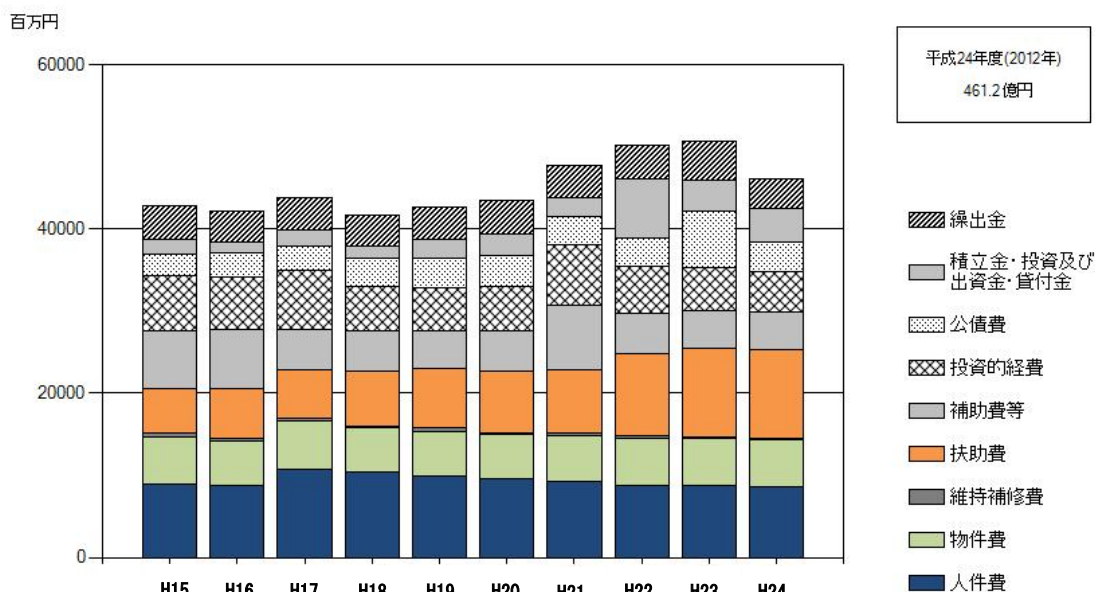
#### (1) 歳入決算額の推移

普通会計における歳入の総額は、この10年では、460億円から540億円で推移しておりますが、自主財源である市税収入は180億円前後となっています。市税収入の全体に占める割合は37%前後であり、これは決して高い水準とはいえず、国や県からの交付金や支出金に依存している面が大きい財政状況といえます。



#### (2) 歳出決算額の推移

普通会計における歳出の総額は、この10年では、420億円から500億円で推移しています。歳出の49.7%（平成24年度）は、人件費、扶助費、公債費といった市が任意に減少させることが困難な義務的経費で占められています。

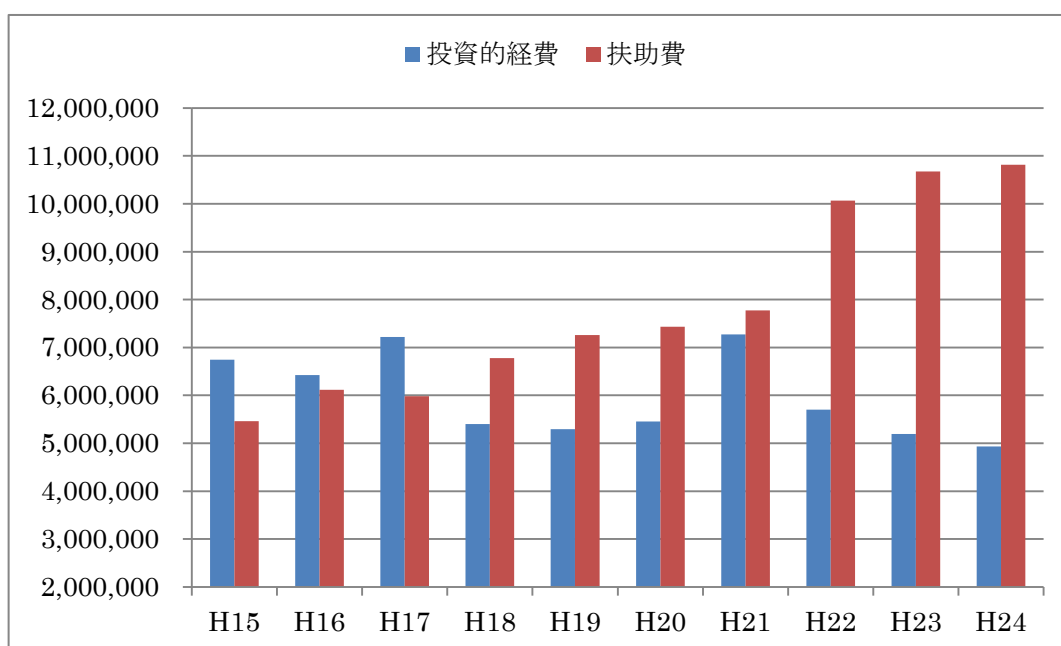


### (3) 投資的経費及び扶助費の推移

普通会計の歳出のうち、投資的経費（施設の建設、道路整備や用地買収など資本形成となる支出）は、深丘園の整備や小中学校の耐震化対策を進めた H21 年度を除けば、合併後の平成 18 年度以降は 50 億円前後で推移しており、また、ここ数年は減少傾向にあります。

一方、高齢化の進展等による医療費、介護費や生活保護費といった扶助費は年々増加しており、平成 18 年度には 67 億円であったものが、平成 24 年度には 108 億円に（約 60%）上昇しています。

（千円）



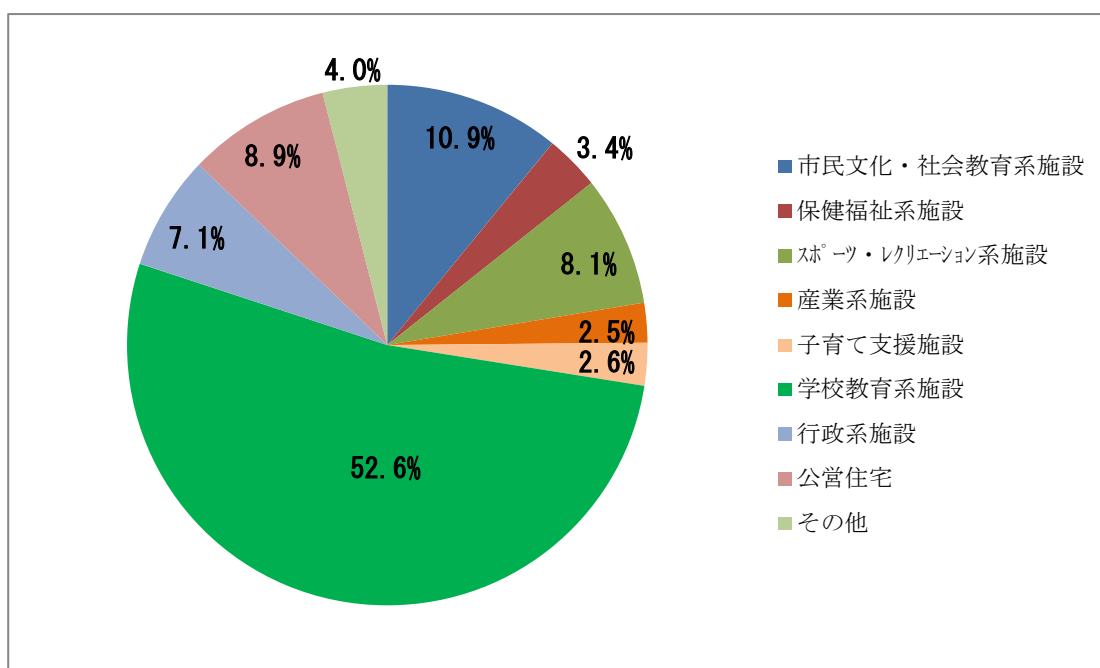
## 第 2 章 公共施設の全体的状況

## 1 保有施設の現状

### (1) 建物延床面積の内訳

平成 25 年 4 月 1 日現在で、本市が所有する公共施設の建物延床面積の合計は 34.7 万㎡あり、その内、52.6%を学校教育系施設が占めています。

《建物延床面積の内訳》



### (2) 築年別整備状況

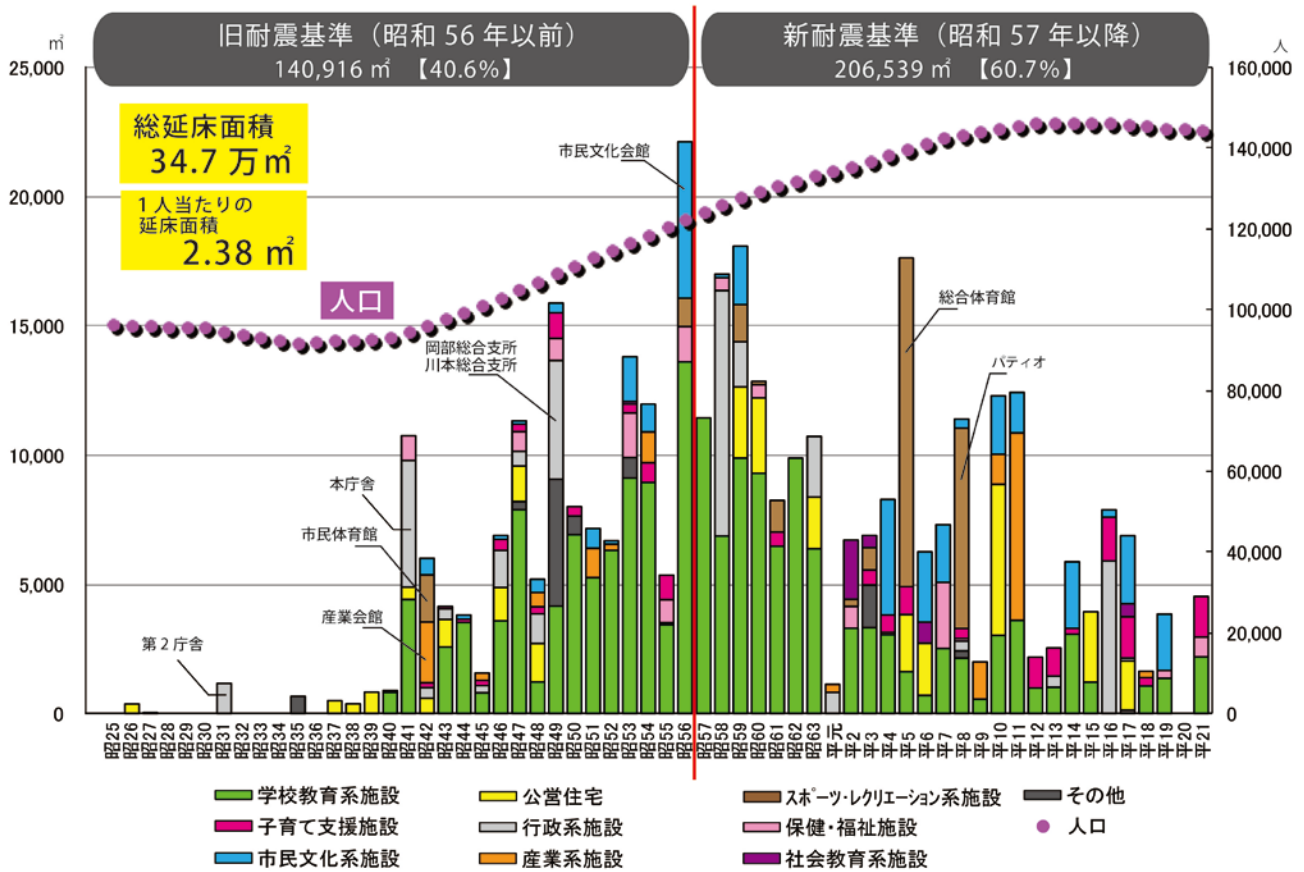
次のグラフは、本市が保有する公共施設の延床面積を建築年別に表記したものです。

現在本市が保有する建物は、人口増加が急速に進んだ昭和 40 年代～60 年代にかけ、学校教育系施設を中心として建設されたものが多く占めていることが分かります。

また、旧耐震基準で建てられた建物が全体の約 40%を占めており（建築後 30 年以上経過した建物は全体の 46%）、今後大規模改修や建替えの大きな波が訪れることが見込まれます。

なお、合併により同種・同機能の施設が存在するものの、総延床面積を人口で割って算出した、一人当たりの延床面積は 2.38 ㎡であり、全国平均（3.4 ㎡）と比較すると、必ずしも多い規模ではないといえます。

《築年別整備状況》



※ 1人当たりの延床面積とは、総延床面積を平成 25 年 4 月 1 日時点の人口（146,189 人）で割ったもの。

## 2 公共施設に対する市民意識の現状

今後の公共施設のあり方を検討するための基礎資料とするため、また、公共施設再編について、市民の方の関心度や再編方法に対する優先順位を把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

なお、設問の監修および分析は東洋大学 PPP 研究センターが実施しました。

### ～深谷市公共施設再編に関するアンケート調査～

【調査対象】	18歳以上の市民のかた 3,000人（無作為抽出）
【調査時期】	平成25年12月
【有効回収票数】	995票（回収率33.2%）

#### ■ 「回答者属性」について

##### ① 性別

・男性 441名（44%） ・女性 536名（54%）

##### ② 年齢

・10歳代 12名（1%） ・20歳代 62名（6%） ・30歳代 116名（12%）  
・40歳代 149名（15%） ・50歳代 170名（17%） ・60歳代 241名（24%）  
・70歳代 166名（17%） ・80歳代以上 61名（6%）

##### ③ 居住地区

・深谷 233名（23%） ・藤沢 61名（6%） ・幡羅 105名（11%）  
・上柴 104名（11%） ・明戸 37名（4%） ・大寄 27名（3%）  
・八基 18名（2%） ・豊里 26名（3%） ・南 68名（7%）  
・岡部 121名（12%） ・川本 91名（9%） ・花園 88名（9%）

#### ■ 「公共施設マネジメント」への関心

・強い関心を持っている 97名（10%）  
・関心を持っている 481名（48%）  
・どちらかといえば関心はない 265名（27%）  
・関心はない 39名（4%）

#### ■ 「深谷市公共施設適正配置基本方針」の認知

・読んだ 64名（6%）  
・知っていたが読んではいなかった 152名（15%）  
・知らなかった 669名（67%）



■「将来も安全で使いやすい施設サービスを提供していくための保有施設全般に関する方策」について

方 策	実施すべきではない	どちらかといえば実施すべきではない	どちらかといえば実施すべき	積極的に実施すべき	賛成率
類似施設の統廃合	4.7%	12.6%	43.6%	39.1%	82.7%
多機能化・複合化	5.3%	10.3%	37.4%	47.1%	84.4%
広域化	12.0%	23.0%	38.4%	26.6%	65.0%
民間資金の活用(PPP)	7.5%	18.2%	41.9%	32.3%	74.2%
地域への移管	13.4%	33.4%	36.1%	17.0%	53.2%
長寿命化	6.6%	17.4%	49.2%	26.8%	76.0%
民間施設の利用補助	12.9%	22.6%	41.3%	23.3%	64.6%
未利用地の売却	3.8%	4.9%	31.8%	59.5%	91.3%
サービス水準の引き下げ	25.6%	41.1%	20.5%	12.8%	33.3%
利用料金の引上げ	27.8%	40.0%	22.6%	9.6%	32.2%
特別課税	49.2%	34.7%	11.6%	4.5%	16.1%

※「積極的に実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」と答えた方の全体に占める割合を賛成率として算出しています。

このアンケート結果によりますと、「深谷市公共施設適正配置基本方針」の柱である『施設の統廃合』、『多機能化・複合化』を行い、施設保有量のスリム化を図っていくことに、実に8割以上の方が賛成していることが分かります。

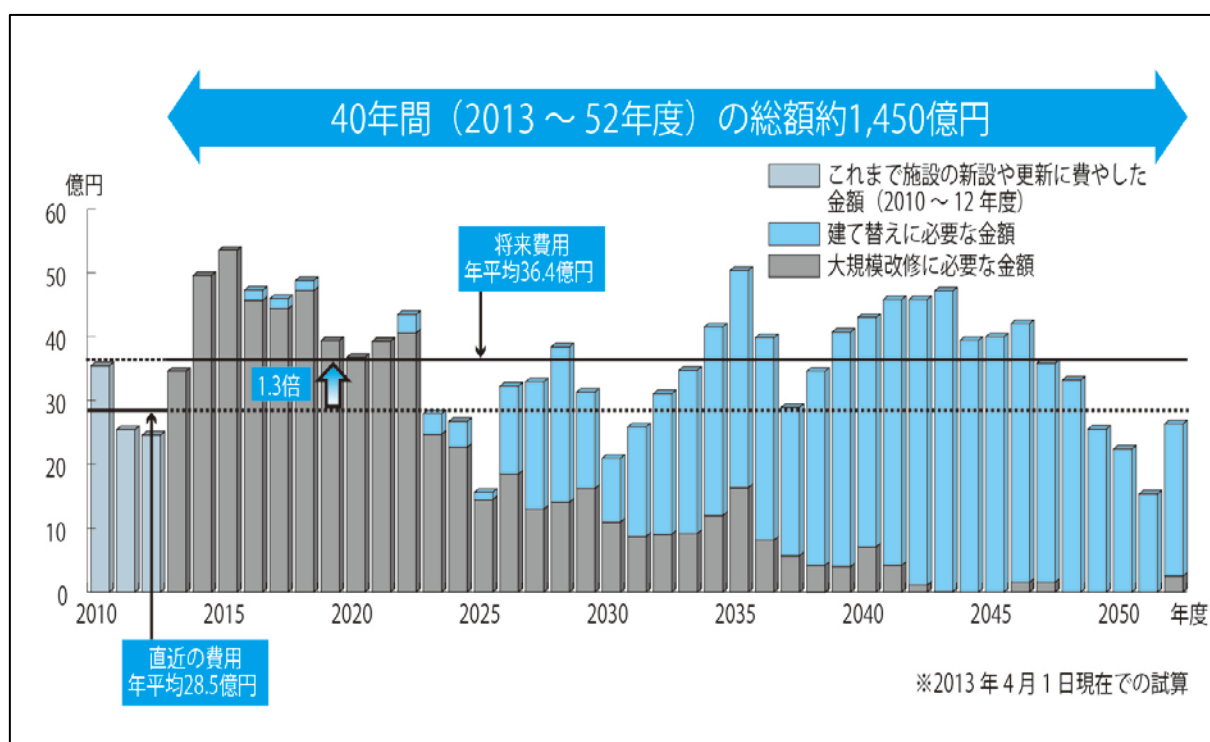
### 3 公共施設の更新費用推計

#### (1) 更新費用の試算

現在本市が保有する施設を、耐用年数経過後に同じ規模（延床面積）で更新したと仮定した場合、今後40年間の更新費用の総額は約1,450億円で、試算期間における平均費用は年間36.4億円となります。過去3年間（平成22年度～24年度）の公共施設にかけてきた投資的経費（※）は、年平均約28.5億円ですので、現状の約1.3倍の費用がかかる試算となります。

今後、かつてのような経済成長が期待できない中、老朽化した公共施設を今の規模のまま更新し維持し続けることは、財政上大きな負担となり、極めて困難と言わざるを得ません。

※ 投資的経費とは、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のこと。



## 試算の前提条件

整備年度ごとの延床面積に更新単価を乗じることにより試算しています。

### ◆耐用年数・更新の考え方

建築物の耐用年数は60年と仮定し、建築後30年で建築物の大規模改修を行い、その後30年使用した後建て替えると仮定します。

※建築時からすでに31年以上経過しているものについては、今後10年間で均等に大規模改修を行うと仮定します。

### ◆更新単価について

建物の用途	更新（建替え）	大規模改修
市民文化系、社会教育系、行政系等施設	40万円/㎡	25万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系等施設	36万円/㎡	20万円/㎡
学校教育系、子育て支援施設等	33万円/㎡	17万円/㎡
公営住宅	28万円/㎡	17万円/㎡

※建替えに伴う解体費、仮移転費用、設計費等は含むものとして想定します。

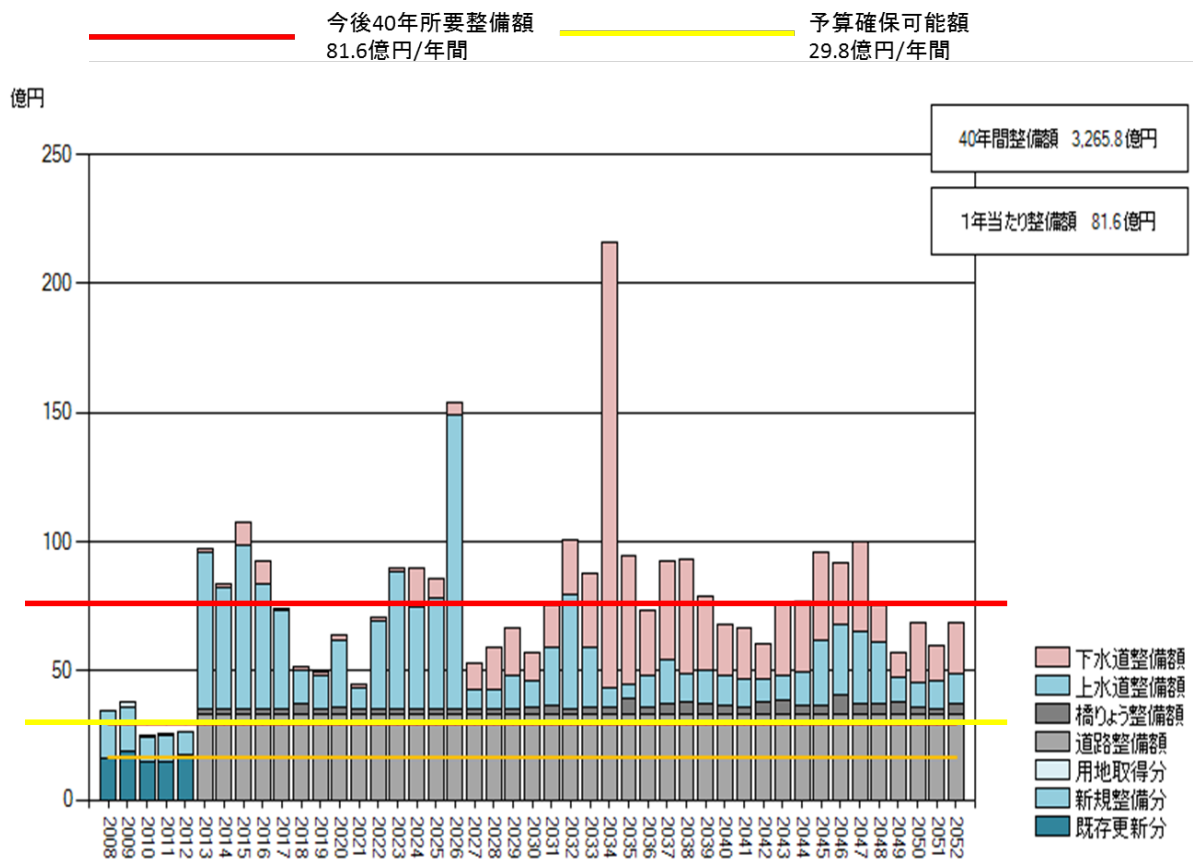
出典：「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」

財団法人自治総合センター（平成23年3月）

(2) インフラ資産の更新費用試算 ～参考として～

道路、橋梁、上下水道などのインフラ資産についても、建物と同様、耐用年数が来れば更新していかなければなりません。

インフラ資産についても、耐用年数経過後に、現在と同じ面積、延長等で更新したと仮定し試算した結果、今後40年間の更新費用の総額は約3,265.8億円で、試算期間における平均費用は年間81.6億円となります。過去5年間における投資的経費は、年平均約29.8億円ですので、現状の2.7倍の費用がかかる試算となり、公共施設と同様、多額の費用が必要となることが分かります。



## 試算の前提条件

### ◆道路

1年間の更新量に更新単価を乗じて算出

1年間の更新量 = 現在の道路の総面積 ÷ 耐用年数 15年

更新単価 4,700円/㎡

### ◆橋梁

整備年度ごとの橋梁の面積に更新単価を乗じて算出

耐用年数 60年

更新単価 PC橋 425,000円/㎡

鋼橋 500,000円/㎡

### ◆上水道

整備年度ごとの延長に更新単価を乗じて算出

耐用年数 40年

更新単価の主な例

導水管及び	～300mm未満	100,000円/m
送水管	300～500mm未満	114,000円/m
配水管	～150mm以下	97,000円/m
	～200mm以下	100,000円/m

### ◆下水道

整備年度ごとの延長に更新単価を乗じて算出

耐用年数 50年

更新単価の主な例

管径別	～250mm	61,000円/m
	251～500mm	116,000円/m

※上下水処理施設の更新費用はインフラ資産の推計に含まれています。

出典：「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」

財団法人自治総合センター（平成23年3月）



### 第3章 用途別（個別）施設の状況

#### ◆掲載データについて

施設に関する基礎データ全般は、平成 25 年 4 月 1 日時点での状況または実績を掲載しており、各項目については、以下のとおりです。

- ・ 建築年について、複数棟で構成されている施設については、主要棟の中で最も古い建物の建築年を記載しています。
- ・ 施設管理費は、当該施設の経常的な維持管理に係る経費を抜粋して記載しています。
- ・ 施設運営費は、当該施設の経常的な運営に係る経費を抜粋して記載しています。
- ・ 人件費については、平均給与額（臨時職員等の賃金も含む）を基に算出しています。
- ・ トータルコストについては、施設管理費、施設運営費及び人件費の合計に、減価償却費を加えて算出しています。
- ・ 減価償却費について、本書の中では、各建物の建設費をもとに、一律 60 年（想定耐用年数）で償却するものと仮定し、算出した金額を減価償却費としてトータルコストに反映させています。（建物の建設費を耐用年数で割り振ることで、建物の使用 1 年あたりのコストに換算しています。）なお、建設費が不明な建物については、建物総合損害共済見積資料における建築価格をもとに算出しています。
- ・ 稼働率については、当該施設における実稼働時間（年間）を総貸出可能時間（年間）で除して算出しています。
- ・ 端数処理として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



## 1 市民文化系施設

### 1-1 集会施設 (コミュニティセンター)

#### ■ 施設の概要

- ・コミュニティセンターは、市民の間に連帯感を醸成し、地域に根差したコミュニティ形成を促進するために、3施設が設置されています。
- ・深谷コミュニティセンターは、深谷市保健センターとの複合施設として設置されていますが、築30年以上を経過し、施設の老朽化が進行しています。

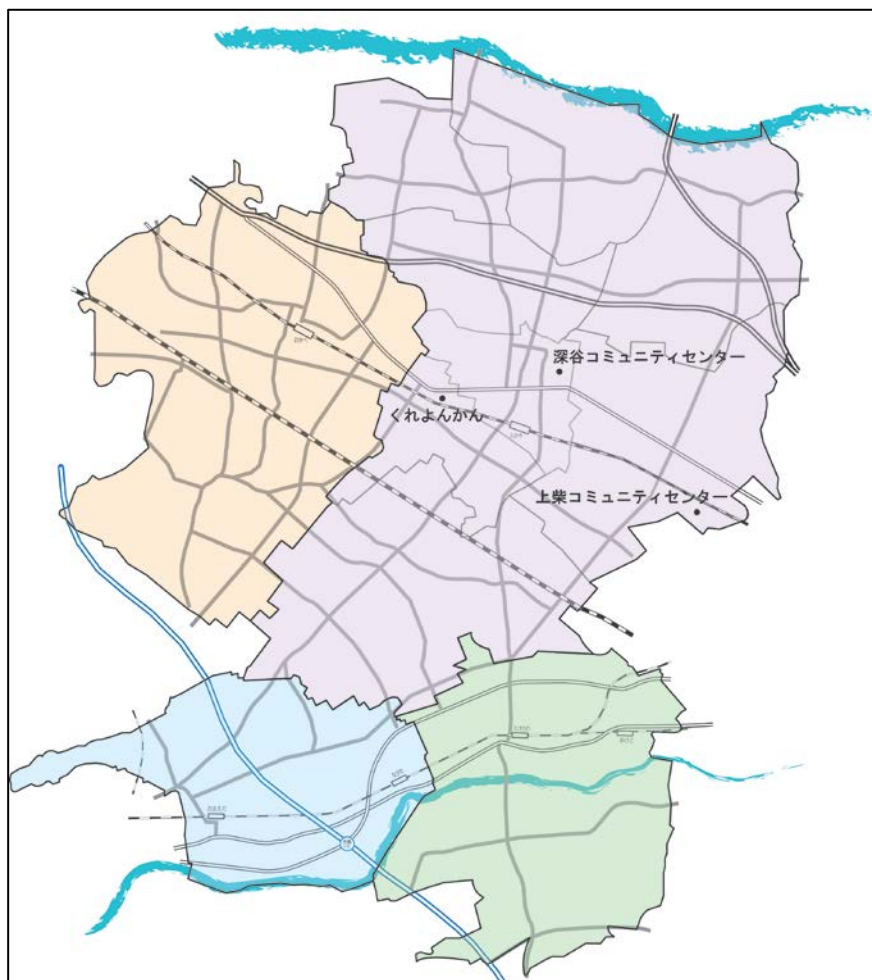
なお、旧耐震基準で建てられた施設ですが、耐震診断は未実施であり、耐震性の不足が懸念されます。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	深谷コミュニティセンター	本住町 17 番 1 号	1980	33	1,078.79	未実施	未実施
2	上柴コミュニティセンター	東方 4284 番地 1	1996	17	347.19	新耐震	新耐震
3	くれよんかん	萱場 14 番 9 号	2004	9	285.33	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

#### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

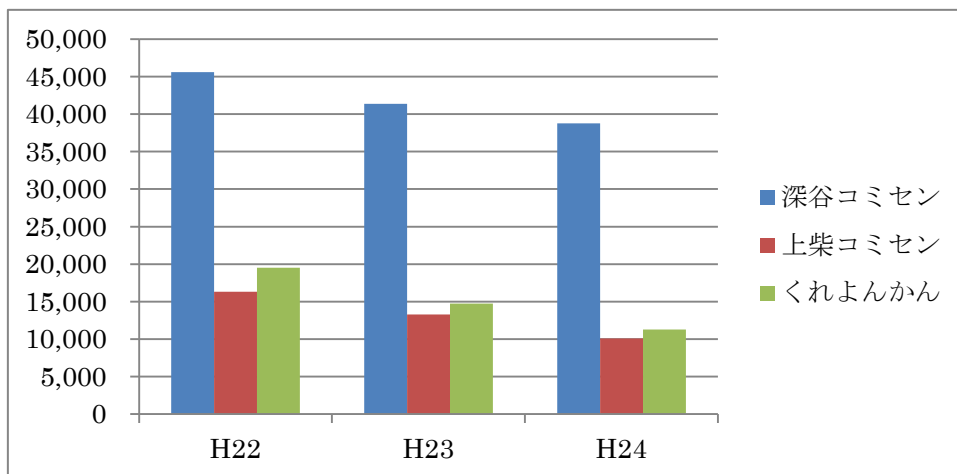
- ・深谷コミュニティセンターは、指定管理者制度を導入しているため、光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。
- ・利用者一人あたりのコストは、深谷コミュニティセンターの292円が最も低く、最も高いのは上柴コミュニティセンターの958円で、3倍以上の開きがあります。

《平成24年度》		深谷コミュニティセンター	上柴コミュニティセンター	くれよんかん	
施設管理費	光熱水費	0	1,009,242	462,954	
	修繕料	295,050	171,382	106,575	
	委託料	7,501,526	4,211,586	4,027,106	
	賃借料等	地代等	0	0	0
		その他	0	14,910	0
合 計 (a)		7,796,576	5,407,120	4,596,635	
施設運営費 (b)		15,750	118,169	277,694	
工事請負費 (c)		0	0	0	
人件費 (d)		458,117	1,908,821	1,908,821	
減価償却費 (e)		3,066,000	2,233,212	977,069	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		11,336,443	9,667,322	7,760,219	
収入（使用料等）【参考】		30,540	433,001	331,408	
年間利用者数（人）		38,773	10,094	11,281	
利用者一人あたりのコスト（円）		292	958	688	

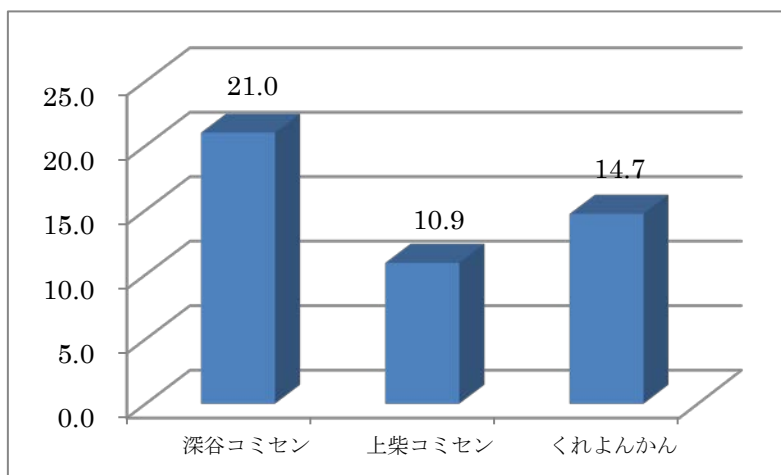
## ■ 利用状況

- ・利用者数については、3施設の内、深谷コミュニティセンターが最も多くなっていますが、平成22年度の45,590人から平成24年度の38,773人へと約7,000人（約15%）減少しています。
- ・上柴コミュニティセンターについても、平成22年度の16,331人から平成24年度の10,094人へと約6,000人（約40%）減少しており、くれよんかんについても、平成22年度の19,518人から平成24年度の11,281人へと約8,000人（約40%）減少しています。
- ・貸室別稼働率については、40%近い部屋がある一方で、20%未満の稼働率の部屋が半数以上あり、全体的に低い状況です。

【施設全体の利用者数（人）】

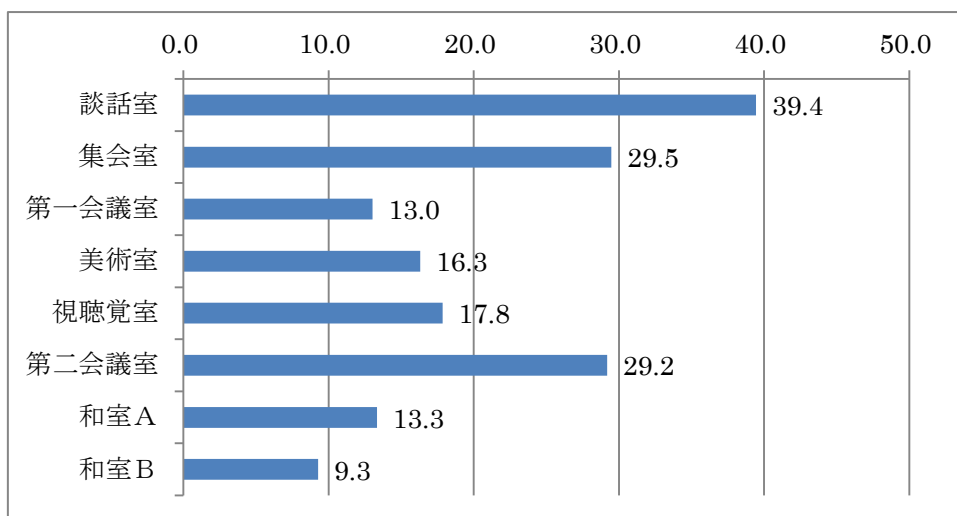


【貸室全体の稼働率（%）】

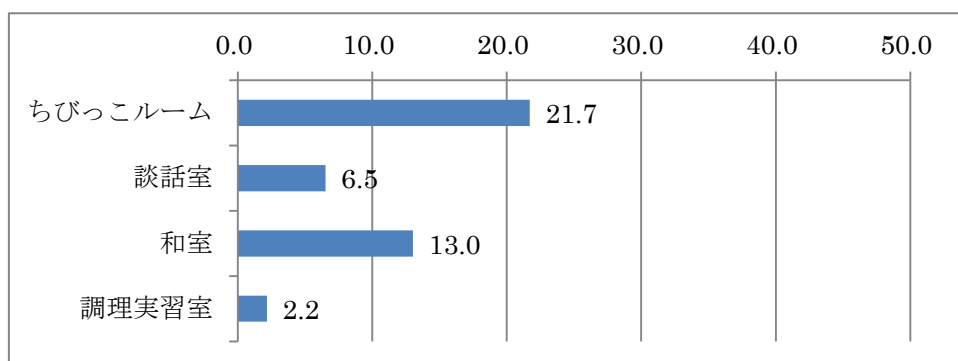


【貸室別稼働率（%）】

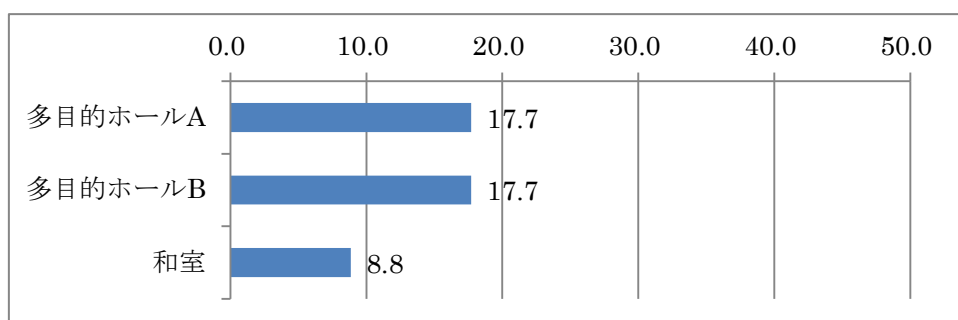
《深谷コミュニティセンター》



## 《上柴コミュニティセンター》



## 《くれよんかん》



## 1-2 集会施設（公民館／生涯学習センター）

## ■ 施設の概要

- ・公民館／生涯学習センターは、地域における社会教育活動の充実と地域のコミュニティの活性化を図るための拠点施設として、12施設が設置されています。
- ・深谷地区における公民館（9館）は、築年数3～20年と比較的新しい施設であり、すべて体育室を併設した施設となっています。
- ・上柴生涯学習センター・上柴公民館は、キララ上柴（上柴地区複合施設）※の公共施設部分（3階）に設置されています。  
 ※キララ上柴は、深谷市が初めて公民連携事業（PPP）として整備した施設です。当該施設の土地（市有地）を事業者賃貸し、一方、事業者によって整備された複合施設（公共＋商業等）のうち、公共施設部分を賃借することで、施設サービスを実施しています。
- ・岡部公民館は築35年、川本公民館は築29年を経過しており、施設の老朽化が進んでいます。なお、岡部公民館は旧耐震基準で建てられた施設ですが、耐震診断が未実施であり、耐震性の不足が懸念されます。
- ・花園公民館については、老朽化等による建て替えを行い、支所機能を複合した形で平成25年12月に新たにオープンしました。

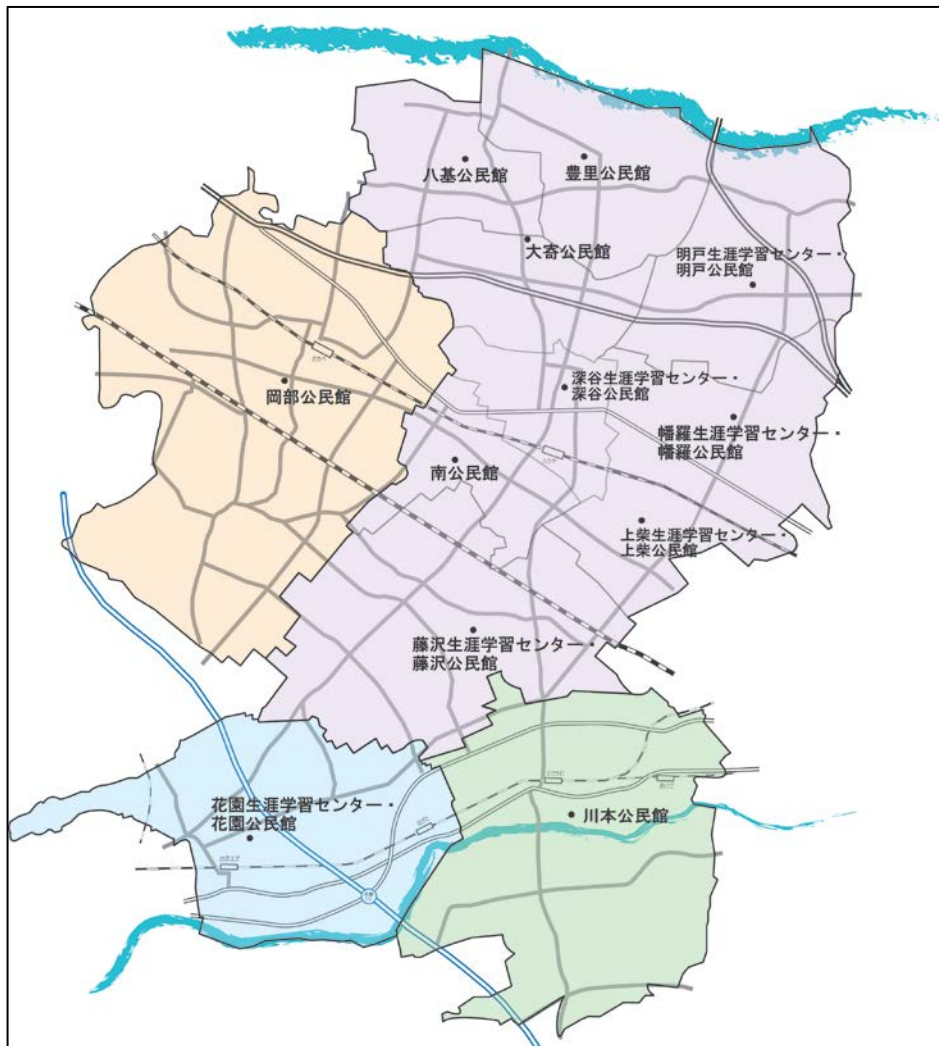
No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	深谷市深谷生涯学習センター・深谷公民館	仲町20番2号	2006	7	2,644.22	新耐震	新耐震
2	深谷市藤沢生涯学習センター・藤沢公民館	人見1967番地1	2003	10	2,581.76	新耐震	新耐震
3	深谷市幡羅生涯学習センター・幡羅公民館	東方1370番地	1995	18	2,727.42	新耐震	新耐震
4	深谷市明戸生涯学習センター・明戸公民館	蓮沼256番地	2007	6	2,179.74	新耐震	新耐震
5	深谷市大寄公民館	起会84番地1	1999	14	1,567.81	新耐震	新耐震
6	深谷市八基公民館	下手計1204番地	1995	18	2,232.75	新耐震	新耐震
7	深谷市豊里公民館	新戒639番地1	1993	20	2,034.98	新耐震	新耐震
8	深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館	上柴町西4丁目2番地14	2010	3	[1910.78]	新耐震	新耐震
9	深谷市南公民館	宿根645番地1	1998	15	2,265.49	新耐震	新耐震
10	深谷市岡部公民館	山河1324番地1	1978	35	1,733.66	未実施	未実施
11	深谷市川本公民館	菅沼1009番地	1984	29	2,258.64	新耐震	新耐震
12	深谷市花園生涯学習センター・花園公民館	小前田2345番地1	2013	0	2,727.92	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館は、建物を賃借しているため、延床面積はカッコ書きとしています。

■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の公民館／生涯学習センターにおけるトータルコストは以下のとおりです。

利用者一人あたりのコストの平均は1,491円で、深谷公民館の760円が最も低く、八基公民館の2,567円が最も高い額となっており、その差は約3.4倍となっています。

《平成24年度》		深谷生涯学習センター・深谷公民館	藤沢生涯学習センター・藤沢公民館	幡羅生涯学習センター・幡羅公民館	明戸生涯学習センター・明戸公民館	大寄公民館	八基公民館
施設管理費	光熱水費	3,947,771	5,423,526	4,053,020	1,993,667	3,135,618	3,854,099
	修繕料	523,530	1,407,255	1,150,170	78,750	1,253,333	1,201,118
	委託料	6,275,022	7,000,993	7,016,942	5,832,918	6,622,887	6,403,819
	賃借料（地代等）	0	0	0	0	0	1,176,560
	賃借料（その他）	176,912	135,994	158,731	129,233	137,955	101,749
合 計 (a)	10,923,235	13,967,768	12,378,863	8,034,568	11,149,793	12,737,345	
施設運営費 (b)		1,142,096	712,895	1,134,701	894,075	767,077	722,411
工事請負費 (c)		0	0	1,470,092	1,075,830	0	2,499,840
人 件 費 (d)		26,066,939	26,167,448	26,161,428	26,082,752	26,123,370	25,981,548
減価償却費 (e)		15,500,000	20,000,000	2,122,698	10,000,000	10,000,000	16,063,333
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		53,632,270	60,848,111	43,267,782	46,087,225	48,040,240	58,004,478
収入（使用料等） 【参考】		3,523,769	1,878,168	3,502,716	913,381	1,376,945	1,200,864
年間利用者数（人）		70,598	55,594	56,634	23,664	24,531	22,592
利用者一人あたりのコスト（円）		760	1,095	764	1,948	1,958	2,567

《平成24年度》		豊里公民館	上柴生涯学習センター・ 上柴公民館	南公民館	岡部公民館	川本公民館	花園公民館 (参考)
施設管理費	光熱水費	2,879,024	5,285,572	4,031,189	2,884,152	3,740,623	1,261,794
	修繕料	375,469	23,835	1,062,296	873,203	2,939,841	129,150
	委託料	5,706,337	2,685,085	6,296,064	4,863,365	5,922,568	3,334,519
	賃借料（地代等）	0	103,252,572	0	1,890,412	0	0
	賃借料（その他）	105,855	81,860	169,102	142,009	173,486	127,225
合計（a）	9,066,685	111,328,924	11,558,651	10,653,141	12,776,518	4,852,688	
施設運営費（b）	827,788	922,528	1,383,745	1,158,305	2,219,097	690,615	
工事請負費（c）	2,746,800	0	0	0	0	0	
人件費（d）	26,046,891	26,112,989	26,003,108	26,058,448	26,158,786	26,212,698	
減価償却費（e）	13,000,000	—	14,333,333	5,500,000	8,355,167	433,333	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	51,688,164	138,364,441	53,278,838	43,369,894	49,509,568	32,189,335	
収入（使用料等） 【参考】	1,140,742	3,567,818	2,703,025	1,306,118	1,197,517	910,621	
年間利用者数（人）	23,332	81,772	63,982	35,069	29,552	28,168	
利用者一人あたりのコスト（円）	2,215	1,692	833	1,237	1,675	1,143	

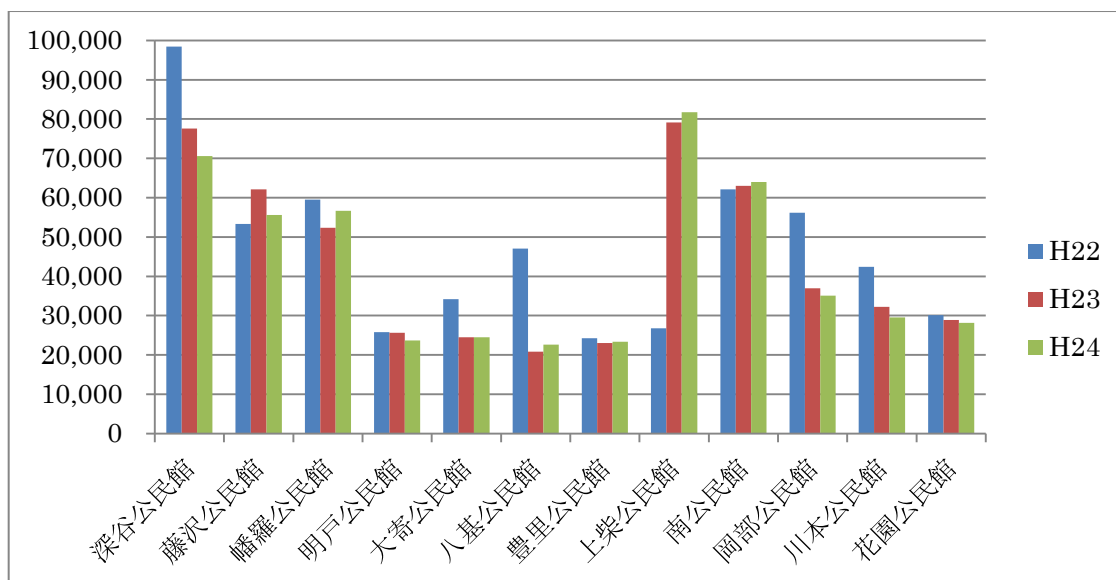
※ 花園公民館の平成24年度のコスト状況については、旧花園公民館についてのデータとなります。



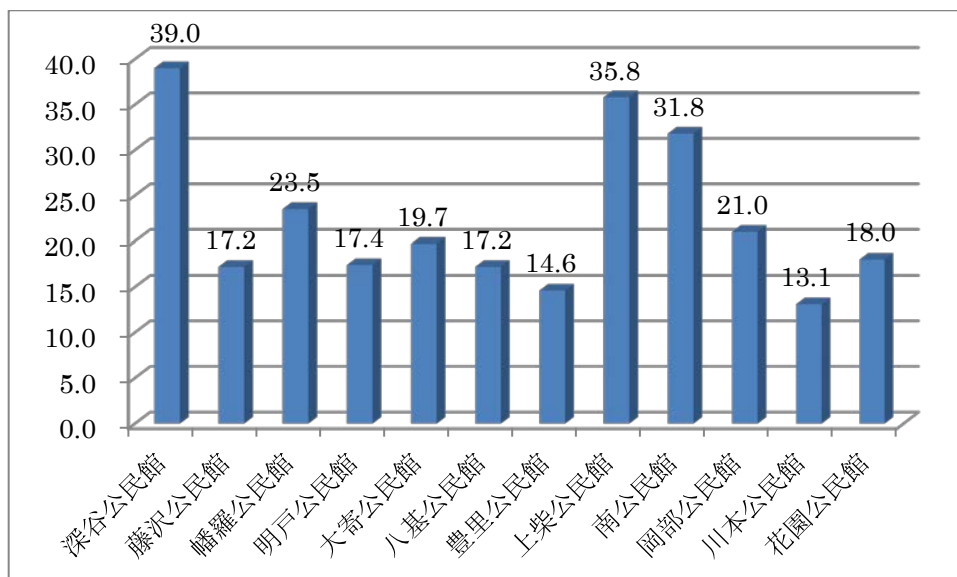
## ■ 利用状況

- ・平成24年度における利用者数は、上柴生涯学習センター・上柴公民館が約82,000人と最も多く利用されています。
- ・利用者数が概ね5万人以上の公民館が5館ある一方で、2万人台の公民館が5館あり、利用状況にばらつきがあります。
- ・貸室別稼働率については、40～60%稼働している体育室や多目的ホールがある一方で、調理実習室、陶芸室や和室など10%に届かない稼働率の部屋があるなど、同じ公民館の中でも貸室によって利用状況にばらつきがあります。

【施設全体の利用者数（人）】

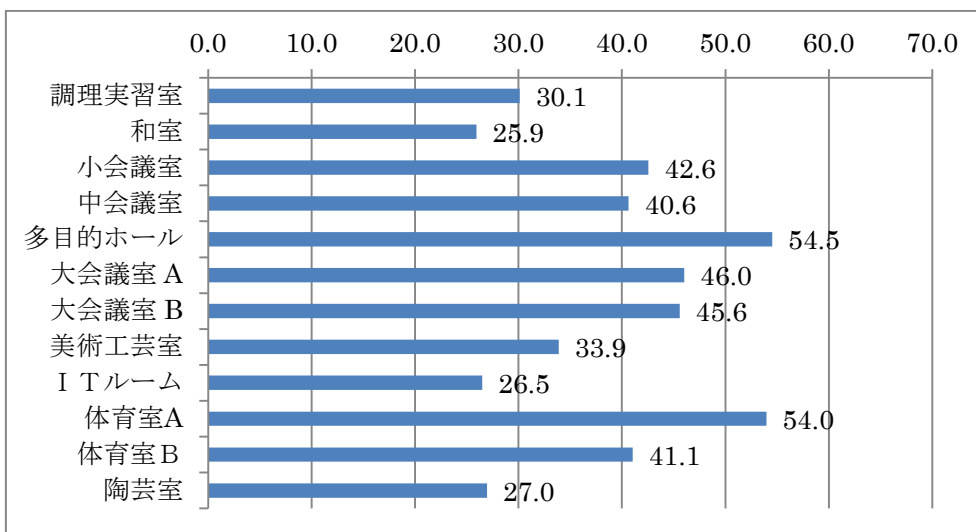


【貸室全体の稼働率（%）】

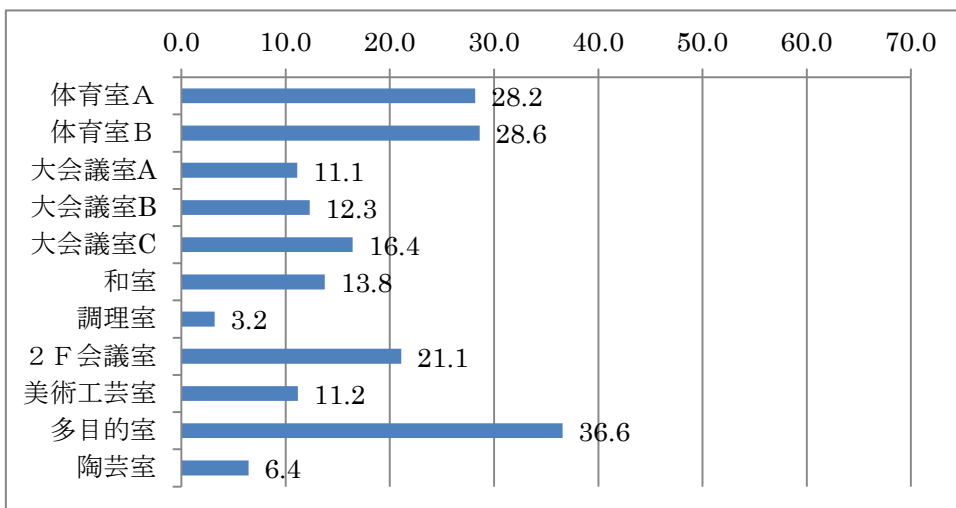


## 【貸室別稼働率（%）】

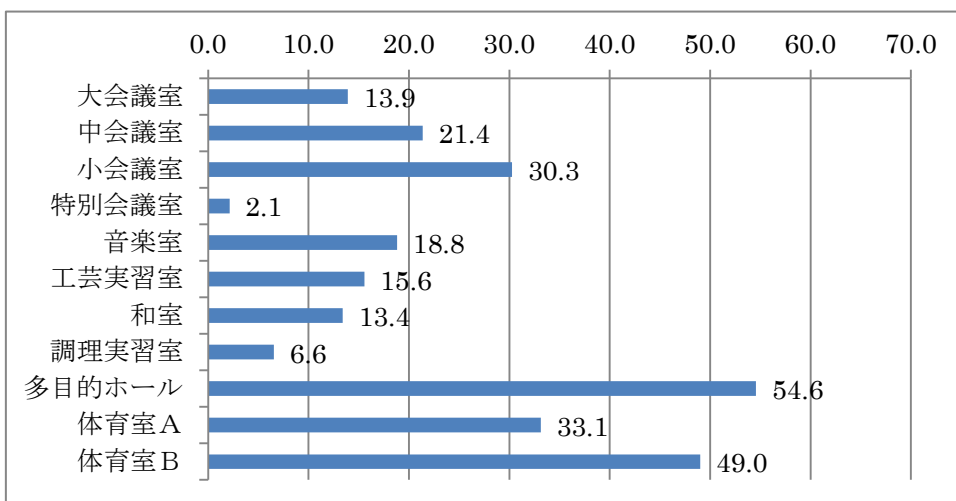
## 《深谷公民館》



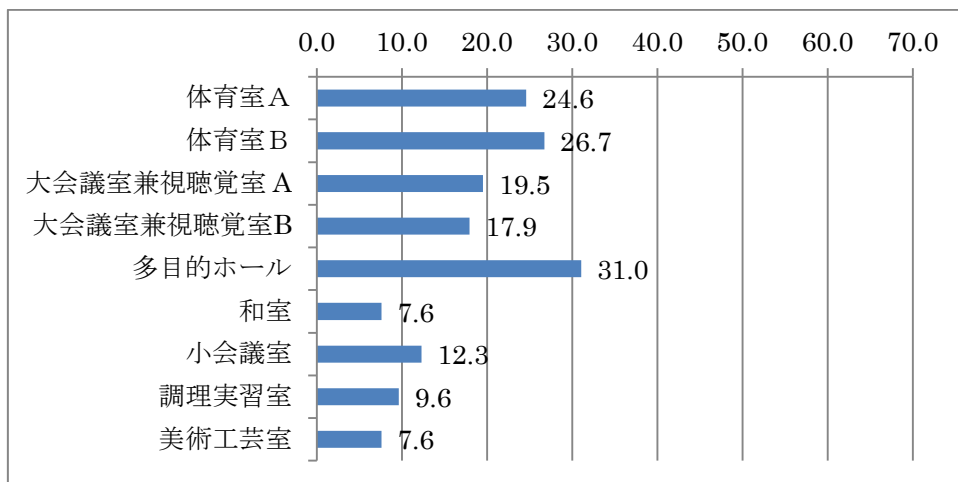
## 《藤沢公民館》



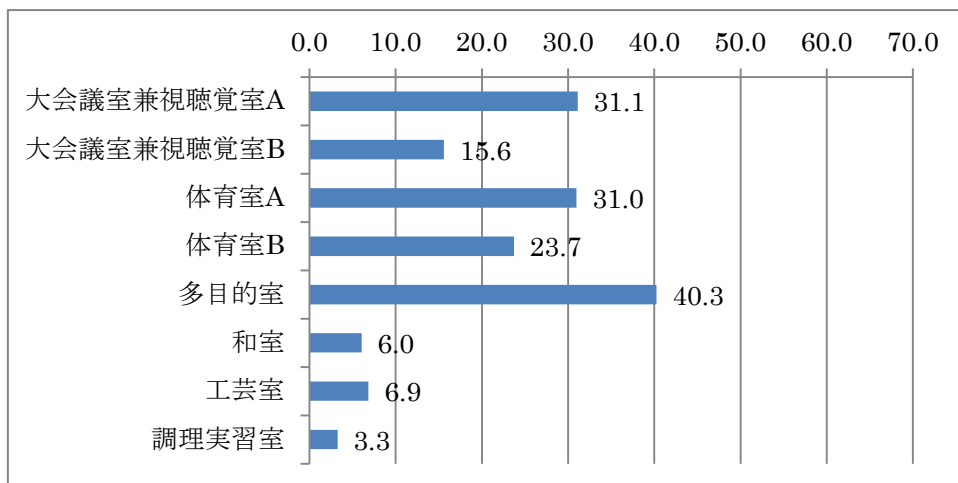
## 《幡羅公民館》



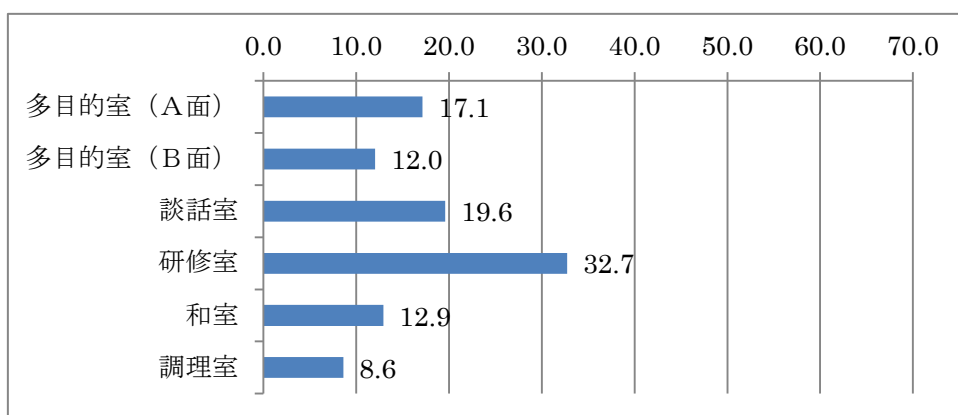
### 《明戸公民館》



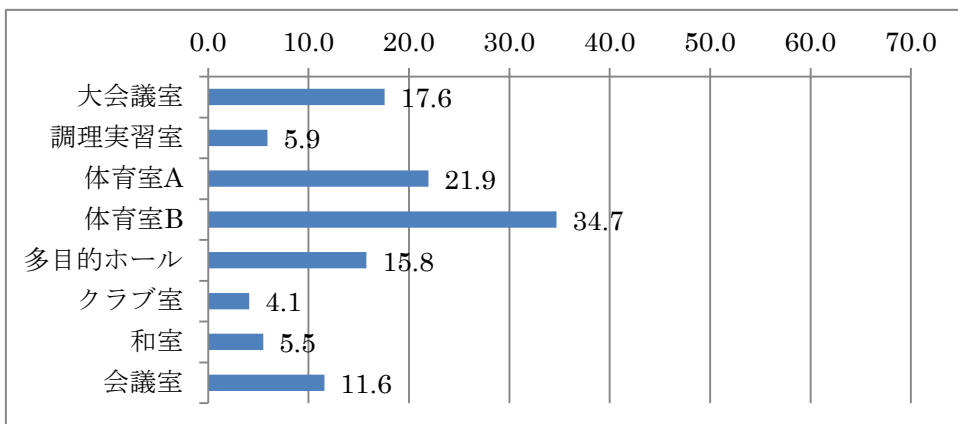
### 《大寄公民館》



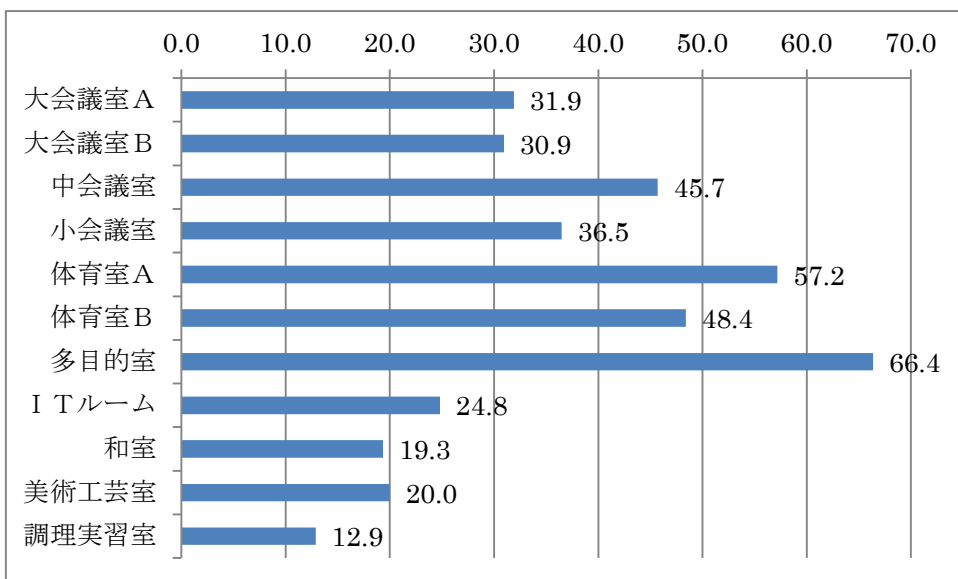
### 《八基公民館》



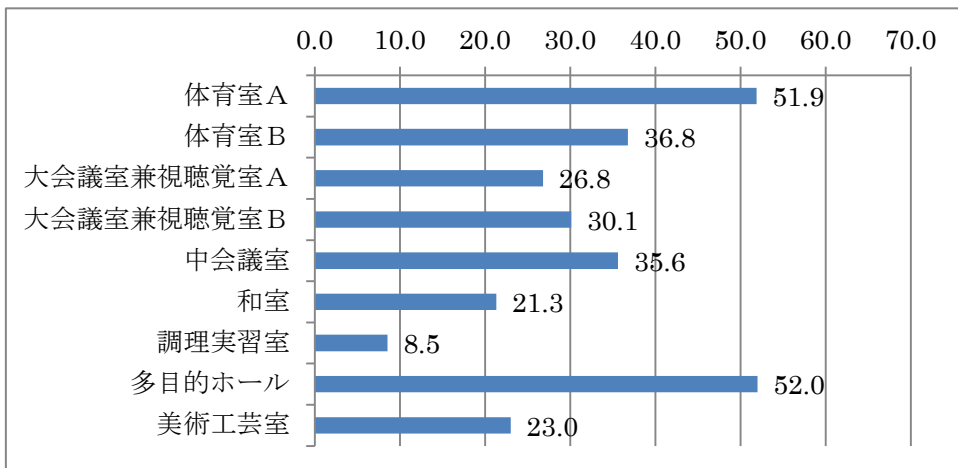
### 《豊里公民館》



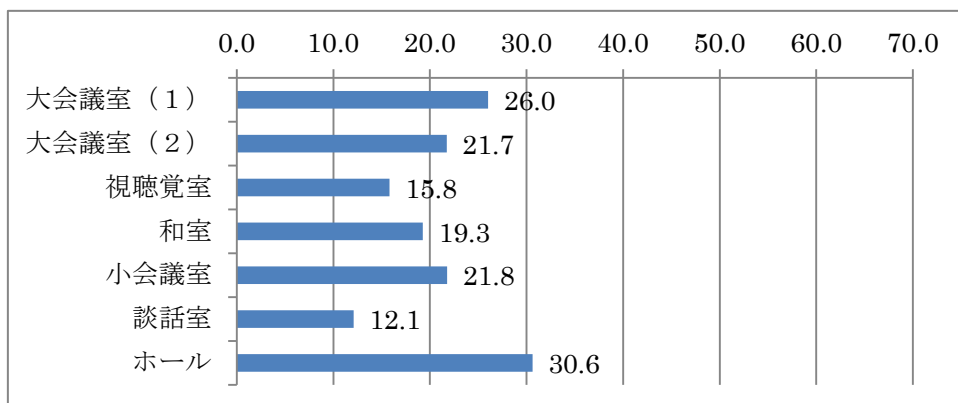
### 《上柴公民館》



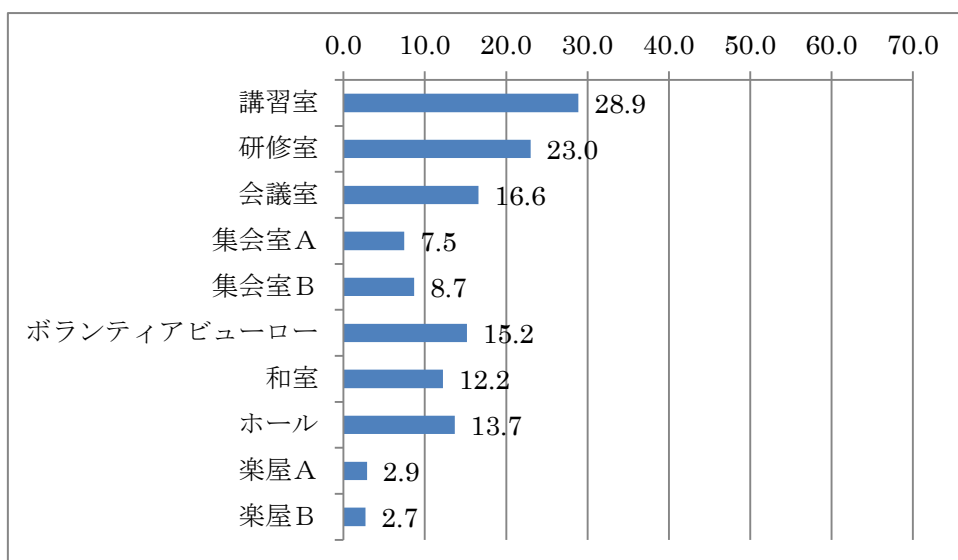
### 《南公民館》



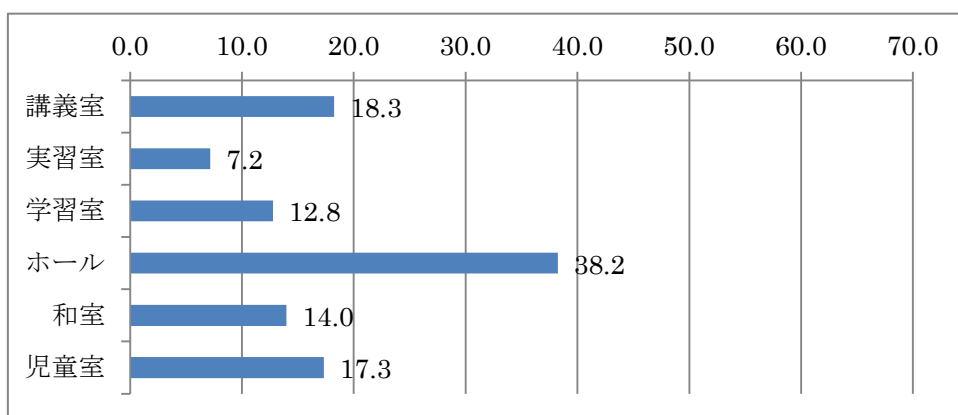
《岡部公民館》



《川本公民館》



《花園公民館》 ※参考（旧花園公民館における稼働率）



### 1-3 文化会館

#### ■ 施設の概要

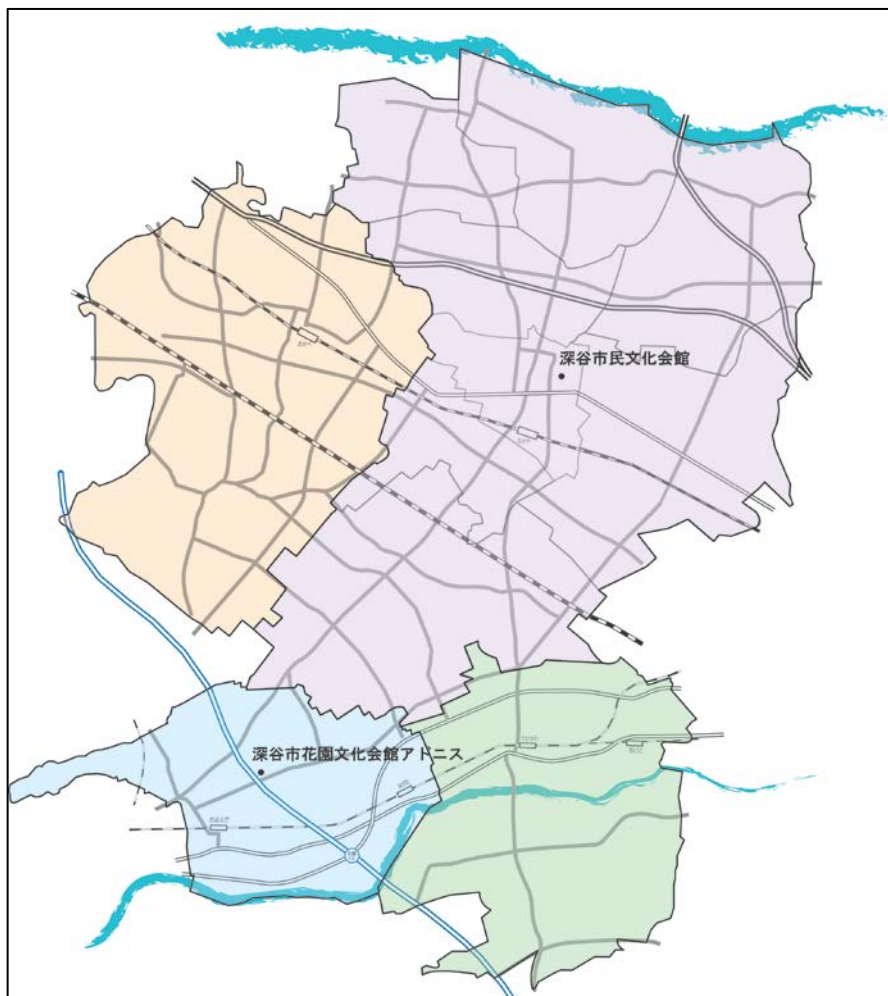
- ・文化会館は、市民の文化の向上と福祉の増進を図るために、2施設が設置されており、共に指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。
- ・深谷市民文化会館は、築30年以上経過し、施設の老朽化が進行しています。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	ホール座席数	耐震診断	耐震改修
1	深谷市民文化会館	本住町17番1号	1981	32	6,061.31	大ホール 1,164席 小ホール 324席	実施済み	実施済み
2	深谷市花園文化会館 アドニス	小前田2966番	1992	21	2,440.20	大ホール 716席	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

#### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成 24 年度の文化会館におけるトータルコストは以下のとおりで、共に指定管理者制度を導入して運営されているため、光熱水費や指定管理者における人件費、施設運営費等は、委託料の中に含まれています。

・施設管理費やトータルコストで比較すると、深谷市民文化会館は花園文化会館の 2 倍の経費を掛けて管理、運営されていることが分かります。

《平成 24 年度》		深谷市民文化会館	花園文化会館アドニス
施設管理費	光熱水費【参考】	(15,810,811)	(9,488,197)
	修繕料	137,550	0
	委託料	60,972,844	29,899,525
	賃借料（地代等）	0	0
	賃借料（その他）	0	0
合 計 (a)		61,110,394	29,899,525
施設運営費 (b)		0	0
工事請負費 (c)		2,041,200	951,300
人 件 費 (d)		1,297,998	916,234
減価償却費 (e)		38,333,333	20,212,033
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		102,782,925	51,979,092
収 入（使用料等）【参考】		23,128,478	11,118,479
年間利用者数（人）		140,072	58,228
利用者 1 人あたり		734	893

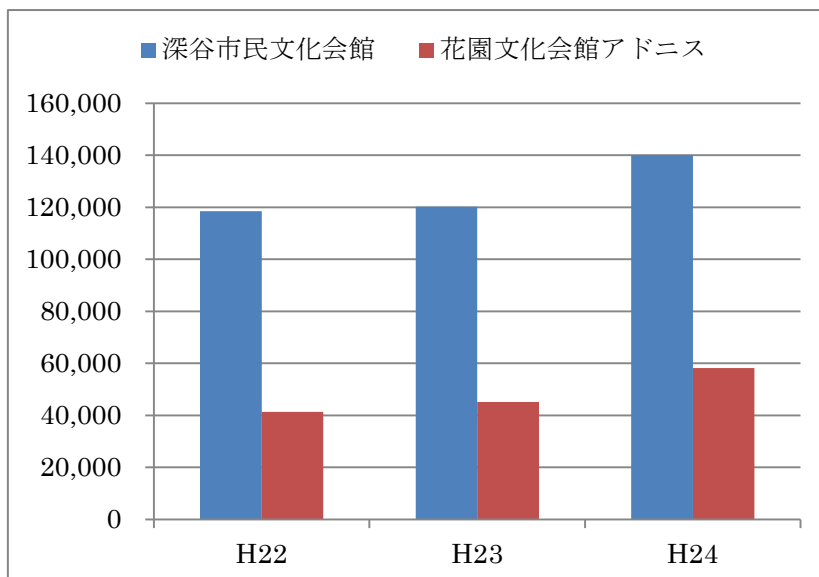
## ■ 利用状況

・深谷市民文化会館の年間利用者数は、花園文化会館の年間利用者数の約2.5倍となっています。

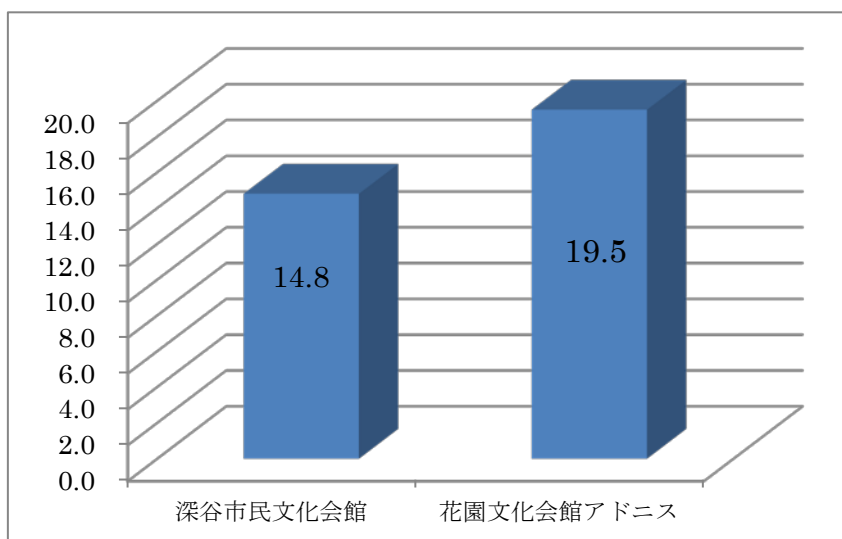
・貸室別稼働率については、各部屋によってばらつきがありますが、施設のメインとなるホールについては、深谷市民文化会館が20%台前半、花園文化会館が10%台後半と、共に低い状況です。

また、練習室や楽屋については10%未満の部屋があるなど、利用率は更に低い状況です。

### 【施設全体の利用者数（人）】



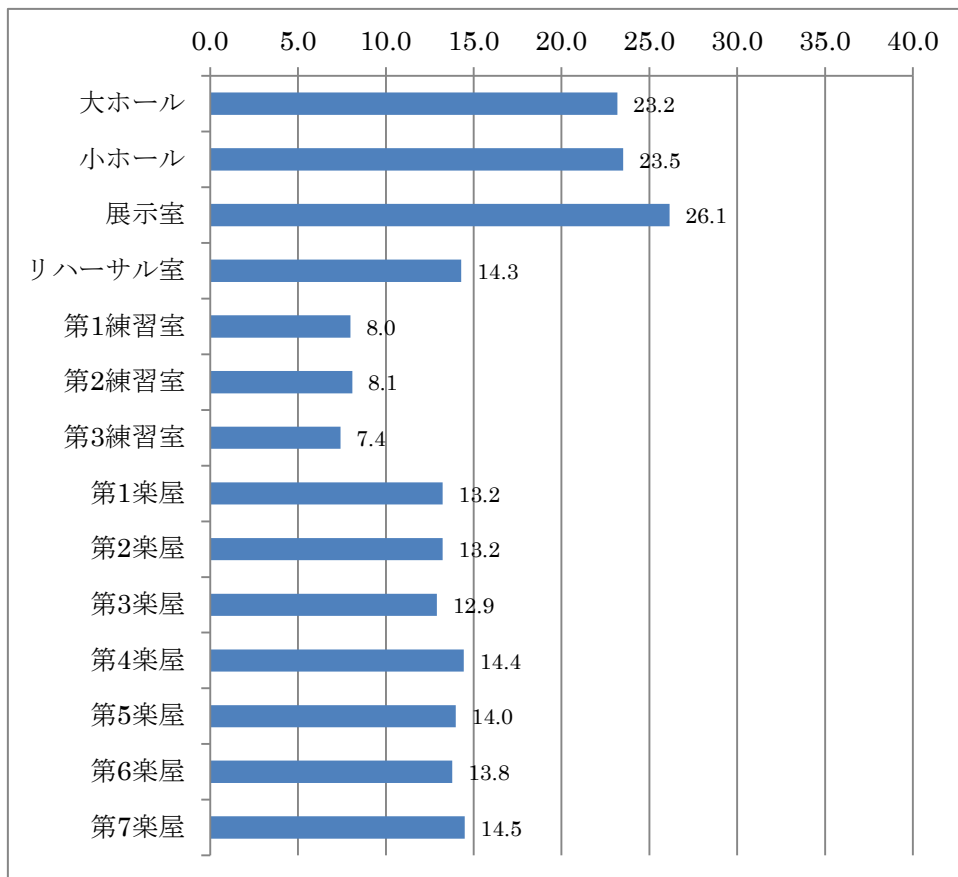
### 【貸室全体の稼働率（%）】



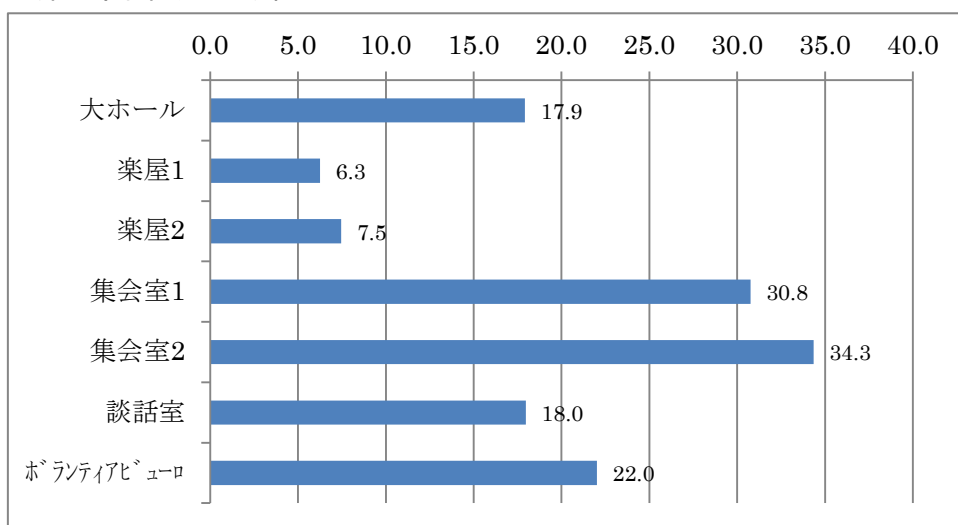


## 【貸室別稼働率 (%)】

## 《深谷市民文化会館》



## 《深谷市花園文化会館アドニス》



## 1-4 男女共同参画施設

### ■ 施設の概要

- ・男女共同参画の推進を図るための活動拠点施設として、1施設が設置されています。
- ・本施設は、キララ上柴（上柴地区複合施設）※の公共施設部分（3階）に設置されています。

※キララ上柴は、深谷市が初めて公民連携事業（PPP）として整備した施設です。当該施設の土地（市有地）を業者に賃貸し、一方、事業者によって整備された複合施設（公共+商業等）のうち、公共施設部分を賃借することで、施設サービスを実施しています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深谷市男女共同参画推進センター (L・フォルテ)	上柴町西4-2-14 (キララ上柴内)	2010	3	[819.57]	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 建物を賃借しているため、延床面積はカッコ書きとしています。

### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

- ・施設自体は事業者の所有であるため、市は事業者に対し、建物賃借料として、1,050,155円／年を支払っています。
- ・当該賃借料には、契約期間中の維持管理費、修繕費（大規模修繕を含む）設備更新費等を含んでいます。

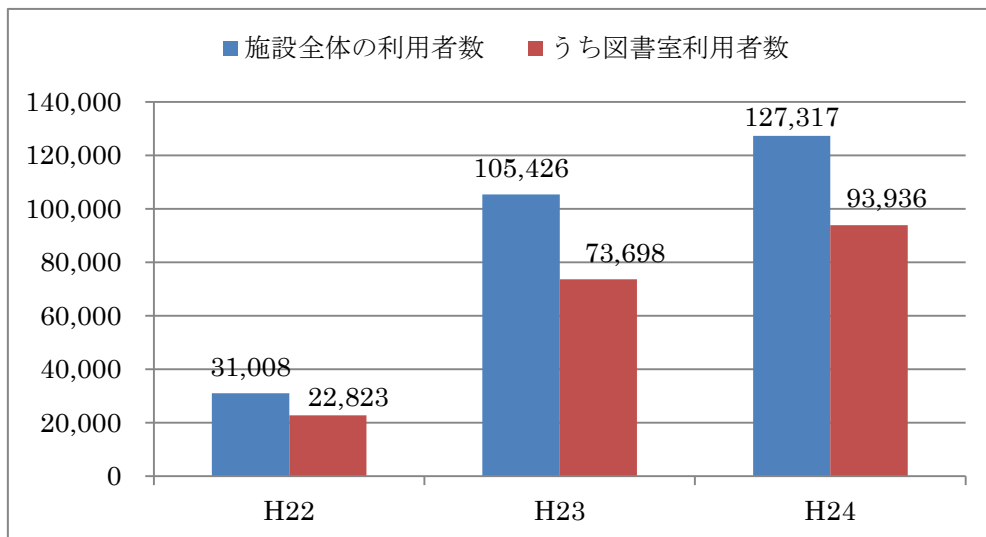
《平成24年度》		深谷市男女共同参画推進センター（L・フォルテ）
施設管理費	光熱水費	—※
	修繕料	39,480
	委託料	2,021,924
	賃借料等 地代等 その他	0
		1,050,155
合 計 (a)		3,111,559
施設運営費 (b)		1,826,917
工事請負費 (c)		0
人件費 (d)		29,455,452
減価償却費 (e)		—
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		34,393,928
収入（使用料等）【参考】		3,877,490
年間利用者数（人）		127,317
利用者一人あたりのコスト（円）		270

※ 光熱水費は上柴公民館において一括して支出しています。

## ■ 利用状況

- ・利用者数については、年度後半でオープンした H22 年度を除けば、10 万人を超えており、利用者数は高い水準にあるといえます。
- ・施設内に図書室【蔵書数：19,049 冊（H25.4.1 現在）】を備えており、施設全体の利用者の約 7 割が図書室の利用者となっています。

【施設全体の利用者数（人）】



## 1-5 市民サービスセンター

## ■ 施設の概要

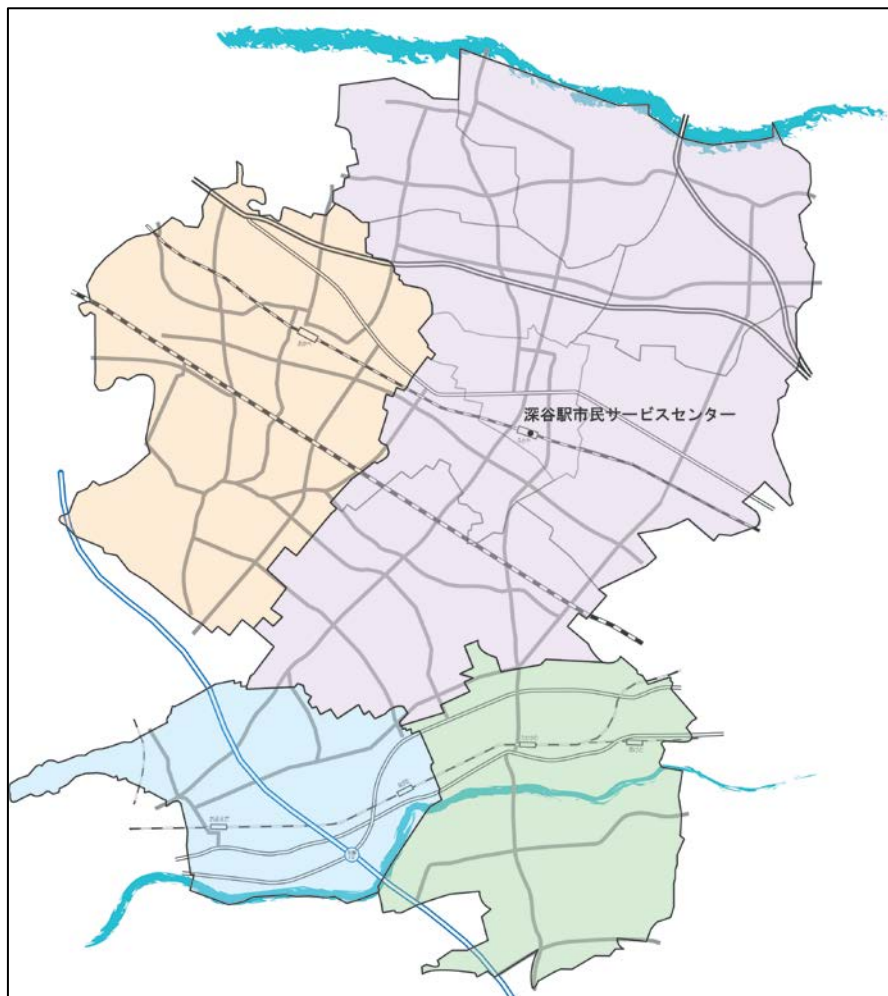
- ・市民サービスセンターは、市民の利便及び文化の向上に資するため、深谷駅舎内に1施設が設置されています。
- ・サービスセンターには、ギャラリー施設（ギャラリー1、ギャラリー2）があり、展示会や会議等の開催が可能です。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深谷駅市民サービスセンター	西島町3-1-8	1996	17	1,190.50	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

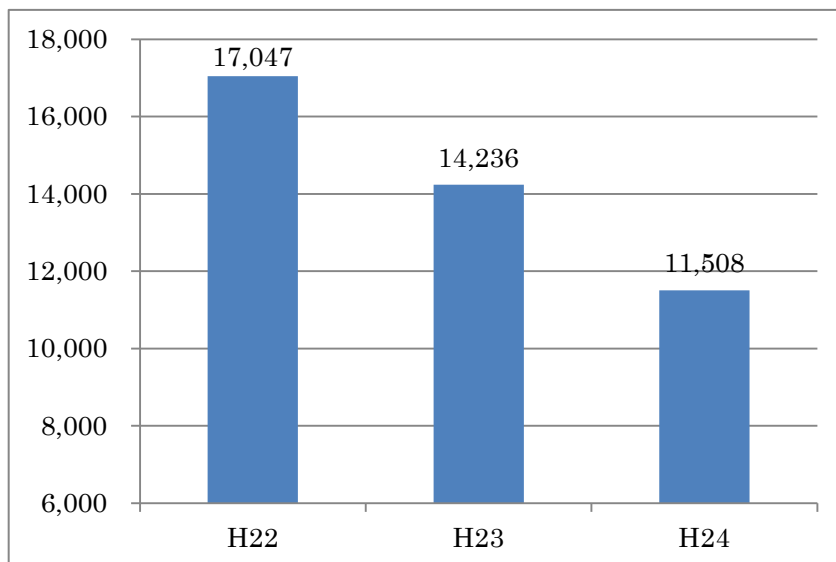
・平成24年度の深谷駅市民サービスセンターにおけるトータルコストは以下のとおりで、利用者一人あたりのコストは3,387円となっています。

《平成24年度》		深谷駅市民サービスセンター	
施設管理費	光熱水費	1,247,399	
	修繕料	251,464	
	委託料	2,378,355	
	賃借料等	地代	1,583,700
		その他	0
合計 (a)		5,460,918	
施設運営費 (b)		1,369,040	
工事請負費 (c)		0	
人件費 (d)		9,399,035	
減価償却費 (e)		22,750,000	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		38,978,993	
収入(使用料等)【参考】		1,019,520	
年間利用者数(人)		11,508	
利用者一人あたりのコスト(円)		3,387	

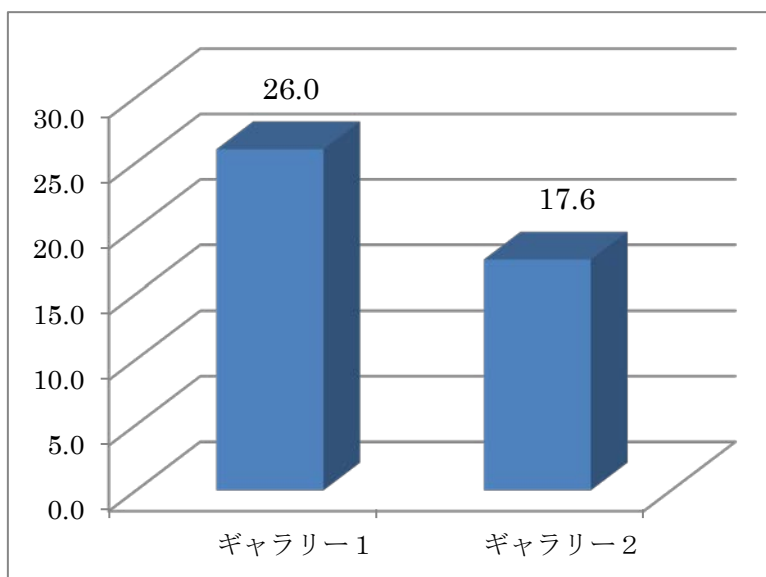
## ■ 利用状況

・ギャラリーにおける利用者数については、H22年度の17,047人からH24年度の11,508人と、約5,500人(約30%)減少しています。

【施設全体の利用者数（人）】



【貸室別稼働率（%）】



## 2 社会教育系施設

### 2-1 図書館

#### ■ 施設の概要

- ・図書館は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として、4施設が設置されています。
- ・岡部図書館は、岡部公民館内の一室に設置されていますが、築35年を経過しており、施設の老朽化が進行しています。

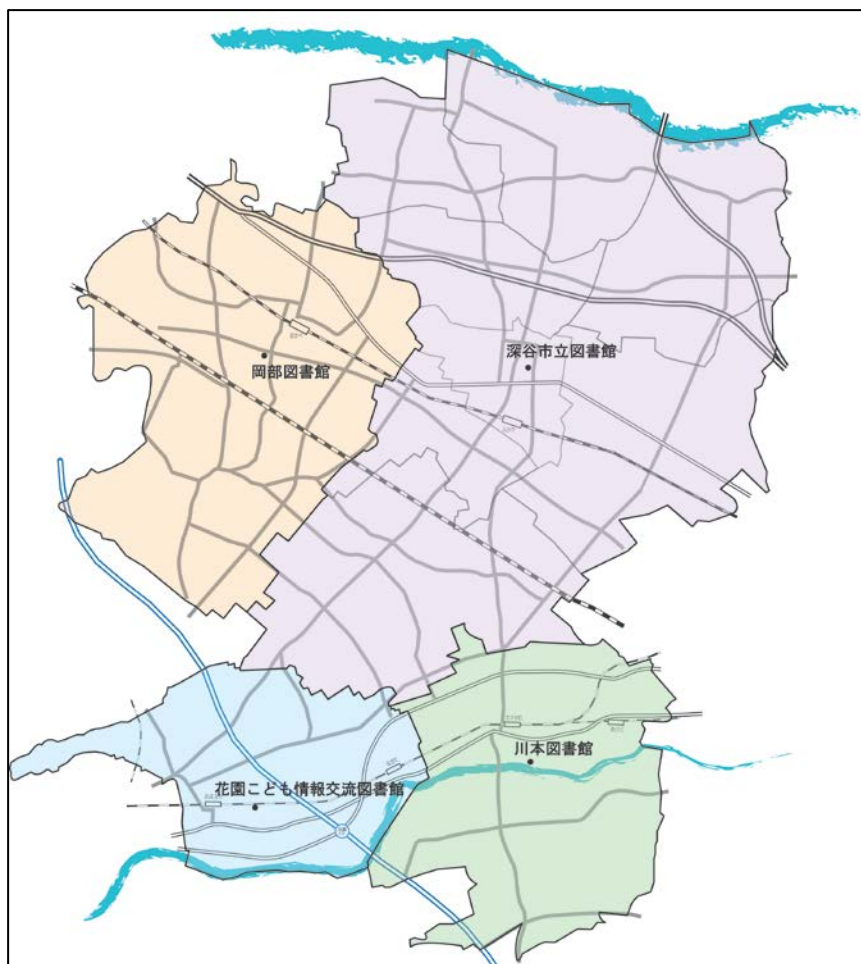
No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	蔵書数	耐震診断	耐震改修
1	深谷市立図書館	仲町19番3号	1990	23	2,290.94	257,309	新耐震	新耐震
2	深谷市立岡部図書館	山河1324番地1	1978	35	103.80	19,396	未実施	未実施
3	深谷市立川本図書館	菅沼1146番地1	1991	22	469.50	65,692	新耐震	新耐震
4	深谷市立花園こども情報交流図書館アクロス	小前田1463番地2	2005	8	498.83	46,646	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 蔵書数：2013（H25）年4月1日時点

#### ■ 配置状況





## ■ コスト状況

・利用者一人あたりのコストを比べると、深谷市立図書館（以下「深谷図書館」という。）が1,011円で一番低く、川本図書館及び花園図書館については、深谷図書館の約1.7倍、岡部図書館については、深谷図書館の約2.1倍の経費がかかっています。

《平成24年度》		深谷市立図書館	岡部図書館	川本図書館	花園こども図書館	
施設管理費	光熱水費	5,143,389	—	1,603,002	1,087,728	
	修繕料	1,695,435	0	600,894	537,600	
	委託料	7,473,663	775,320	919,397	1,042,457	
	賃借料等	地代等	0	0	0	0
		その他	4,463,778	1,192,968	1,272,852	1,204,587
合計 (a)		18,776,265	1,968,288	4,396,145	3,872,372	
施設運営費 (b)		2,348,761	62,998	143,014	441,356	
工事請負費 (c)		1,327,000	0	0	0	
人件費 (d)		78,795,550	15,270,568	15,270,568	15,270,568	
減価償却費 (e)		9,288,883	—	4,146,217	2,257,742	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		110,536,459	17,301,854	23,955,944	21,842,038	
年間利用者数 (人)		109,369	7,965	13,551	12,381	
利用者一人あたりのコスト (円)		1,011	2,172	1,768	1,764	

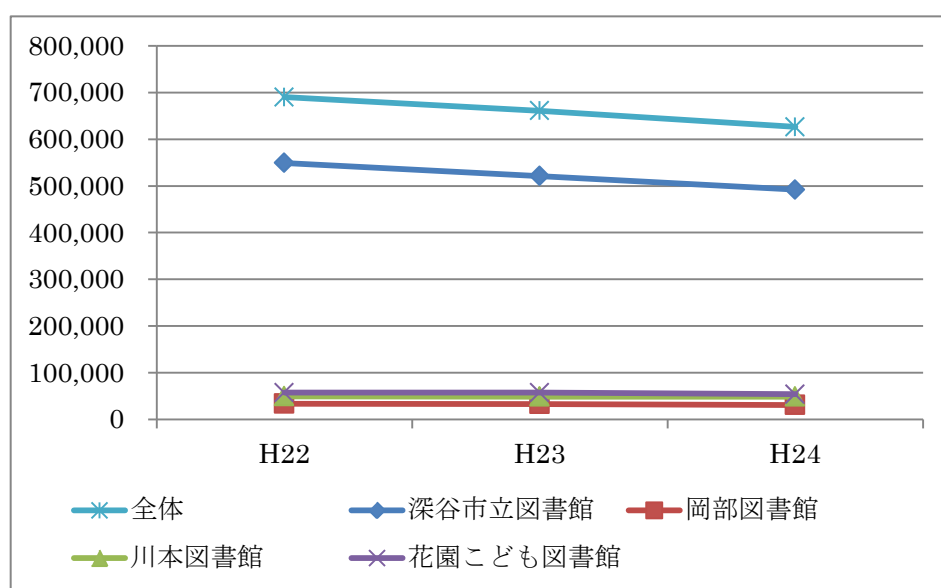
※岡部図書館における光熱水費は、岡部公民館において支出しています。

## ■ 利用状況

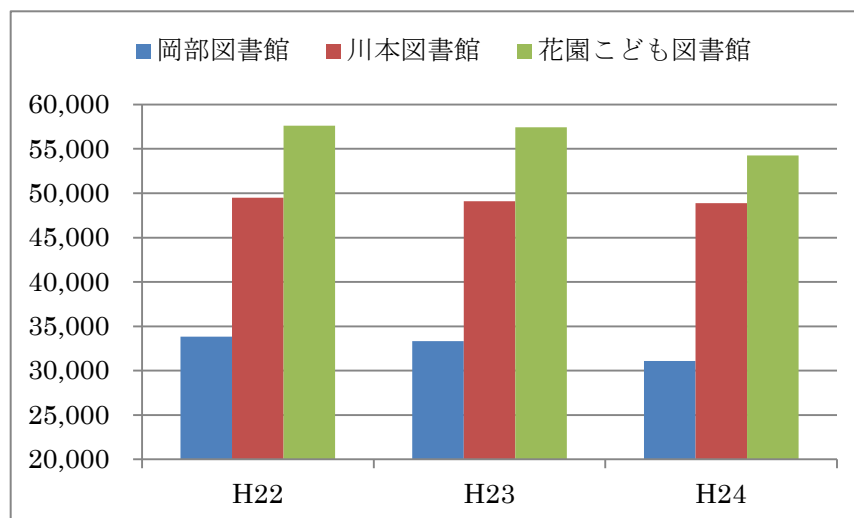
- ・岡部、川本、花園図書館における貸出冊数は、ほぼ横ばいですが、深谷図書館の貸出冊数は、平成22年度の549,155冊から平成24年度の491,921冊へと約57,000冊（約10%）減少しています。
- ・1日平均貸出冊数については、深谷図書館が1,714冊と最も多く、他の3図書館の約10倍、または10倍以上となっています。

### 【貸出冊数の推移（冊）】

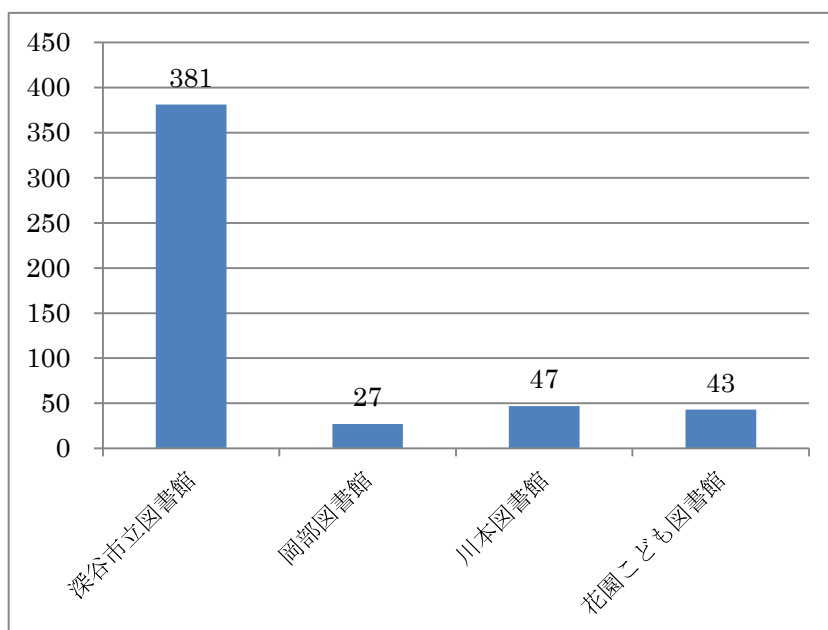
《全体及び深谷、岡部、川本、花園》



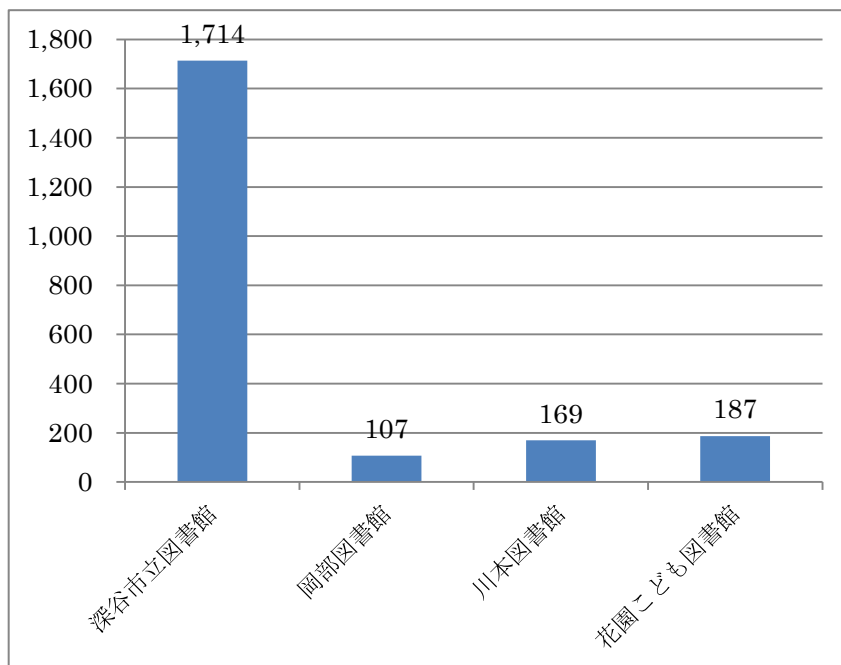
《岡部、川本、花園の3館について》



【1日平均貸出人数（人）】（平成24年度）



【1日平均貸出冊数（冊）】（平成24年度）



## 2-2 記念館

### ■ 施設の概要

- ・郷土の偉人渋沢栄一翁に関する資料の収集、保管及び展示を行い、もって市民の教養及び文化の振興に寄与し、また、渋沢栄一翁の顕彰を行うため、1施設が設置されています。
- ・渋沢栄一記念館は、八基公民館内に併設されています。

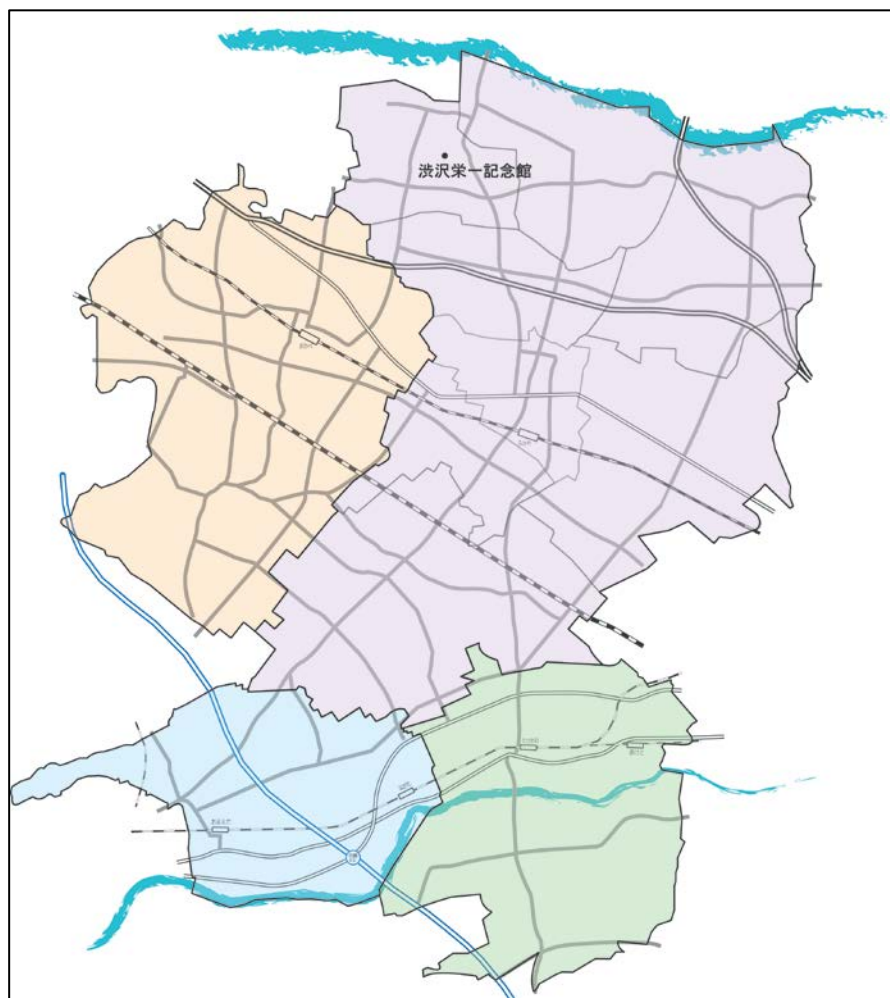
施設名	住所	建築年※ <sup>1</sup>	築年数※ <sup>2</sup>	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
深谷市渋沢栄一記念館	下手計 1204 番地 (八基公民館内)	1995	18	310.6	新耐震	新耐震

※<sup>1</sup> 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※<sup>2</sup> 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

※ 延床面積は、資料室及び資料保管室を合わせた面積となっています。

### ■ 配置状況



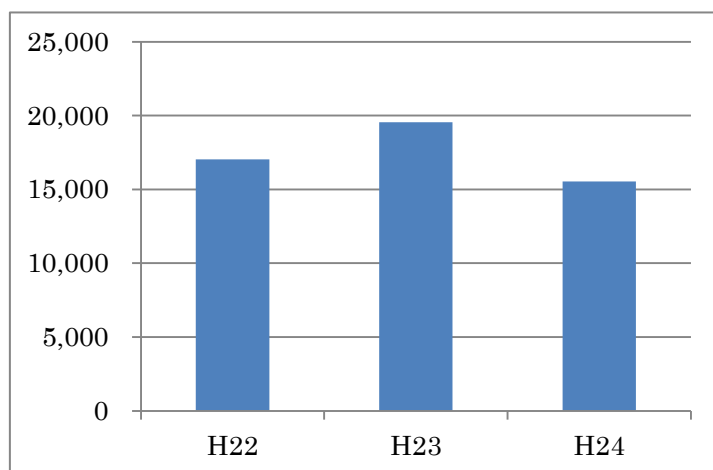
### ■ コスト状況

・ 渋沢栄一記念館は、八基公民館内に併設されているため、当該施設の管理運営に係る経費は、八基公民館において、一括して支出されています。(分割不可のため掲載省略)

### ■ 利用状況

・ 平成 22 年度から 24 年度までの各年度における渋沢栄一記念館の見学者数は以下のとおりで、3ヶ年の見学者の平均は、約 17,000 人となっています。

《 記念館見学者数(人) 》



### 3 保健福祉系施設

#### 3-1 高齢者福祉施設

##### ■ 施設の概要

・高齢者福祉施設は、本市に居住する高齢者が健康で明るい生活を営むため等、老人福祉法（昭和38年法律第133号）等に基づき、7施設が設置されており、すべて直営にて運営されています。

・仙元荘、福寿荘、岡部荘、花園荘、もくせい館には入浴施設があり、高齢者の憩いの場となっています。

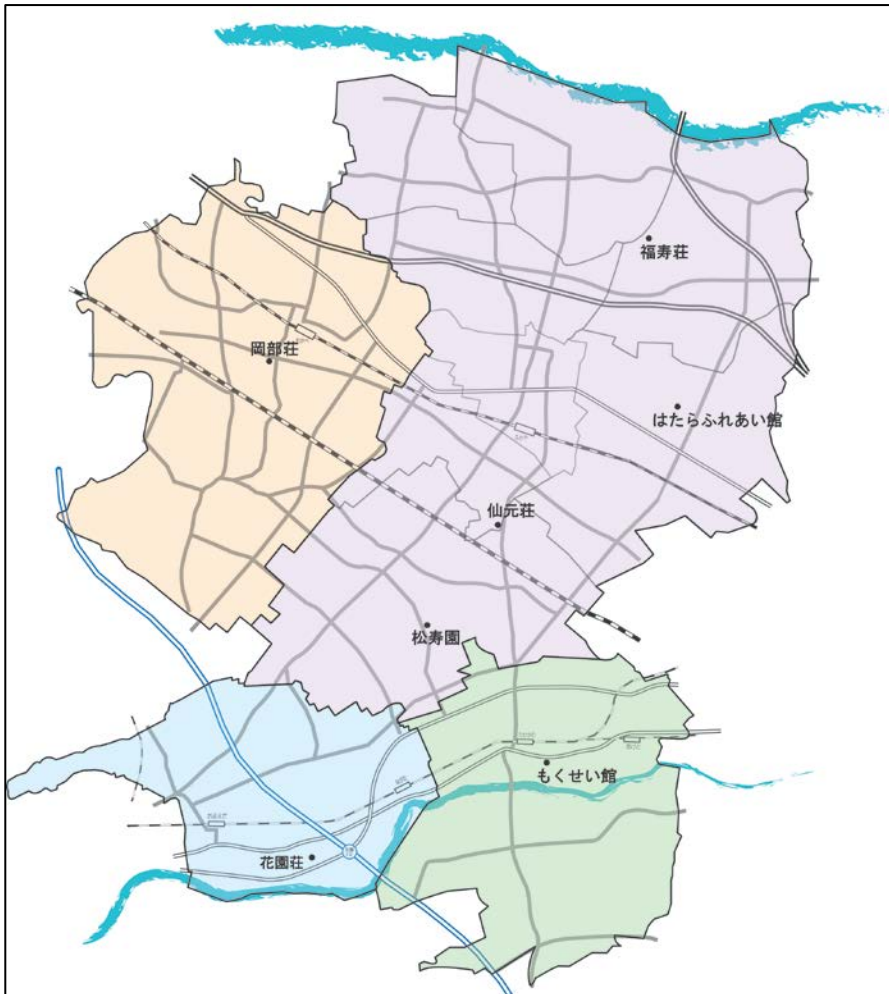
・7施設中4施設が築35年以上を経過し、特に、松寿園については築47年を経過しており、施設の老朽化が進行しています。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	深谷市老人福祉センター仙元荘	上野台 2552 番地 1	1972	41	758.14	実施済み	実施済み
2	深谷市老人福祉センター福寿荘	沼尻 482 番地 1	1990	23	850.80	新耐震	新耐震
3	深谷市老人福祉センター岡部荘	山河 1324 番地 1	1978	35	774.31	未実施	未実施
4	深谷市老人福祉センター花園荘	荒川 866 番地	1978	35	675.32	実施済み	不要
5	深谷市高齢者福祉青少年活動複合施設もくせい館	菅沼 401 番地	1995	18	2,205.64	新耐震	新耐震
6	深谷市世代間交流センターはたらふれあい館	東方 1710 番地 2	2007	6	306.34	新耐震	新耐震
7	深谷市老人ホーム松寿園	境 168	1966	47	952.80	未実施	未実施

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の高齢者福祉施設におけるトータルコストは以下のとおりで、入所施設である松寿園を除き、6施設の利用者一人あたりのコストは、500円台から1,600円台と施設によってばらつきがあります。

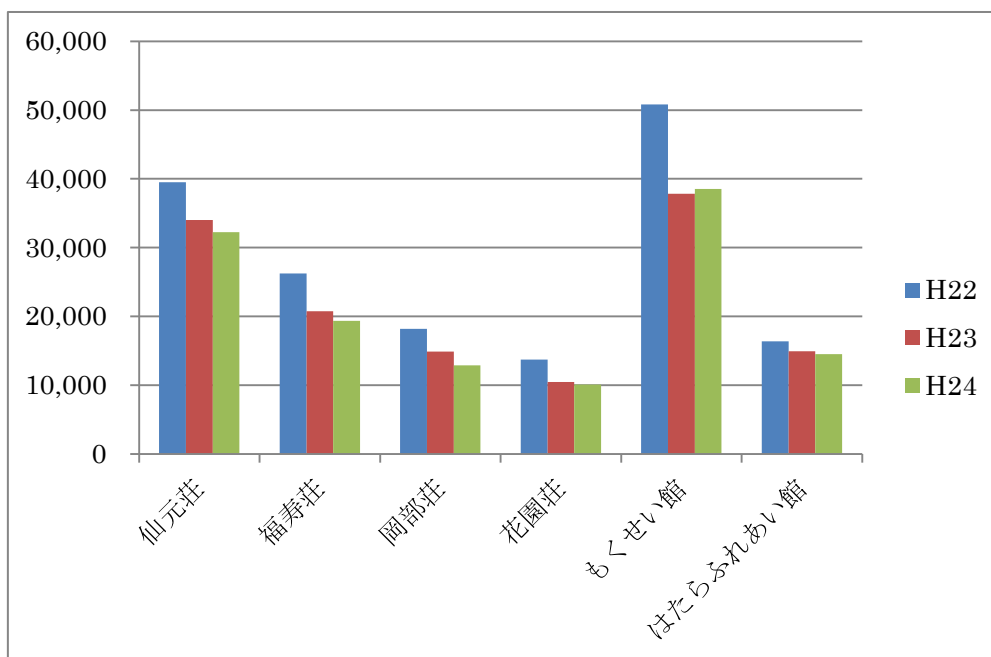
《平成24年度》		仙元荘	福寿荘	岡部荘	花園荘	もくせい館	はたらふれあい館	松寿園
施設管理費	光熱水費	5,760,044	5,507,174	2,832,223	2,729,179	9,872,209	475,816	5,279,731
	修繕料	1,170,876	385,977	290,245	1,171,960	1,927,156	154,980	466,820
	委託料	5,583,942	4,597,783	3,539,157	3,854,648	8,842,858	4,055,958	4,540,213
	賃借料(地代等)	0	0	0	1,380,000	0	0	0
	賃借料(その他)	272,664	395,864	272,664	286,020	325,694	0	120,471
合計 (a)	12,787,526	10,886,798	6,934,289	9,421,807	20,967,917	4,686,754	10,407,235	
施設運営費 (b)		950,661	1,622,762	503,782	505,928	1,314,897	143,450	16,247,963
工事請負費 (c)		0	0	249,900	1,107,750	3,371,592	0	0
人件費 (d)		3,723,478	3,789,201	3,840,145	3,876,785	21,923,737	2,290,585	48,103,820
減価償却費 (e)		709,591	1,733,833	2,318,333	1,533,333	12,341,632	1,133,598	395,898
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		18,171,256	18,032,595	13,846,450	16,445,604	59,919,775	8,254,387	75,154,916
収入(使用料等)【参考】		2,579,489	2,064,622	1,074,800	989,990	3,693,568	377,272	60,310,059
利用者数(人)		32,226	19,339	12,872	10,089	38,514	14,484	24
利用者一人あたりのコスト(円)		564	932	1,076	1,630	1,556	570	3,131,455



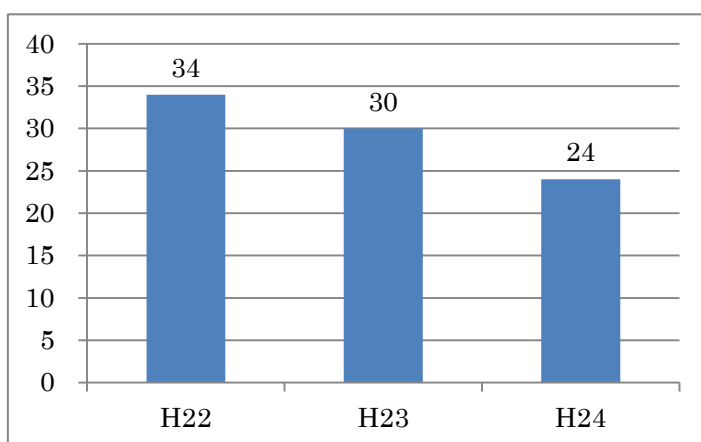
## ■ 利用状況

- ・平成24年度における利用者数は、もくせい館が38,514人と最も多く、最も少ない花園荘の10,089人の約3.8倍となっています。
- ・過去3年間の利用者数を見ると、全体的に減少傾向にあるといえます。

【施設全体の利用者数（人）】



【松寿園の利用者数（人）】



### 3-2 障害者支援施設

#### ■ 施設の概要

・障害者支援施設は、障害者の方に対し、夜間に「施設入所支援」を行うとともに、昼間に「生活介護」、「自立訓練」又は「就労移行支援」を行う施設です。

本市においては、就労継続支援B型（非雇用型）及び生活介護を行う施設として1施設（たんぼぼ作業所）が設置されており、また、心身障害児者の介護負担の軽減並びに心身障害児者及びその家族等の交流の場として1施設（つくしの家）が併設されています。

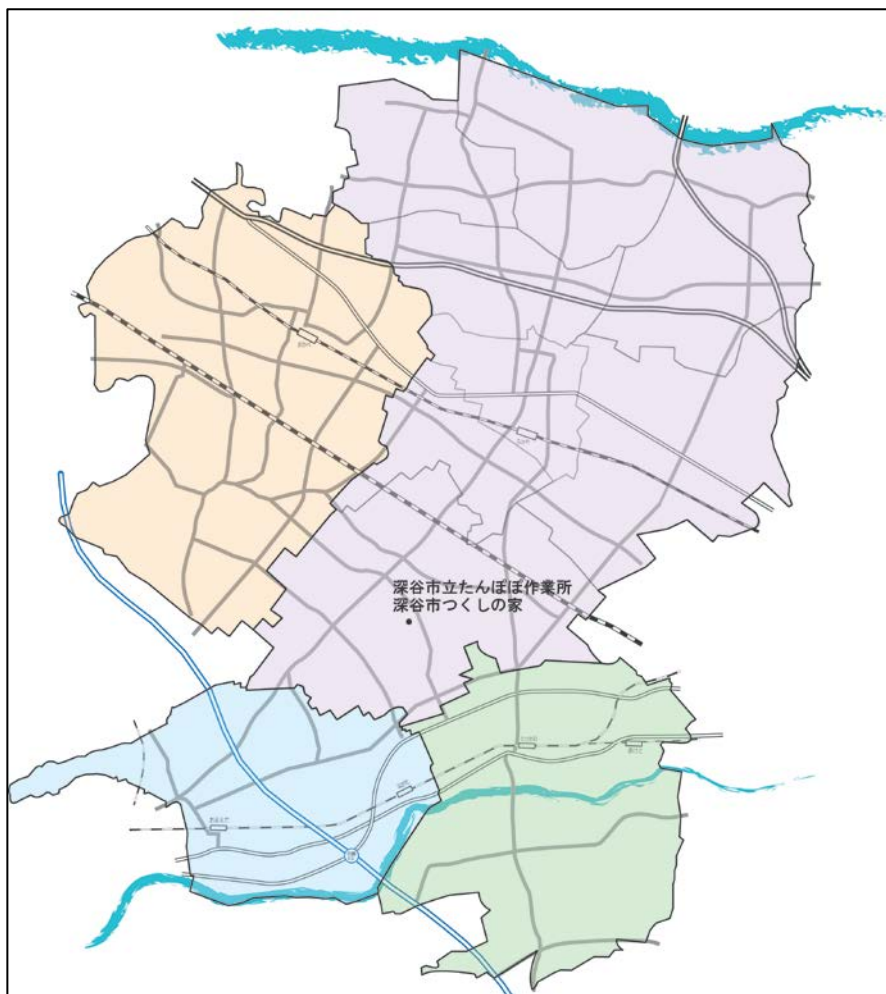
・たんぼぼ作業所については指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	深谷市立たんぼぼ作業所	人見 2000 番地	1974	39	847.28	実施済み	不要
2	深谷市つくしの家	人見 2000 番地	1996	17	94.84	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

#### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・指定管理者制度を導入している施設の光熱水費や指定管理者における人件費等は、通常、市が支払う指定管理料の中から賄われます。しかし、たんぼぼ作業所に関しては、他の補助金等からの財源で運営が可能であるため、当該施設に対する指定管理料としての市からの支出は0円となっています。

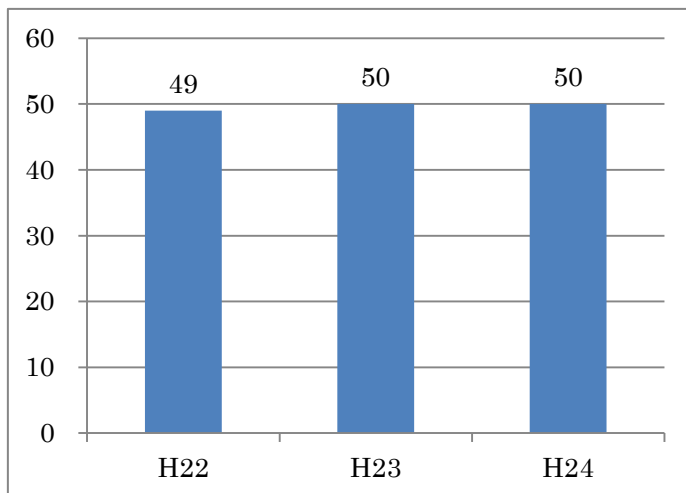
《平成24年度》		たんぼぼ作業所	つくしの家
施設管理費	光熱水費	(2,402,826)	58,627
	修繕料	329,700	0
	委託料	432,000	0
	賃借料等 地代等	0	0
	その他	0	0
合計 (a)		761,700	58,627
施設運営費 (b)		0	269,930
工事請負費 (c)		0	0
人件費 (d)		1,679,762	1,679,762
減価償却費 (e)		1,305,000	499,500
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		3,746,462	2,507,819
年間利用者数 (人)		50	520
利用者一人あたりのコスト (円)		74,929	4,823

## ■ 利用状況

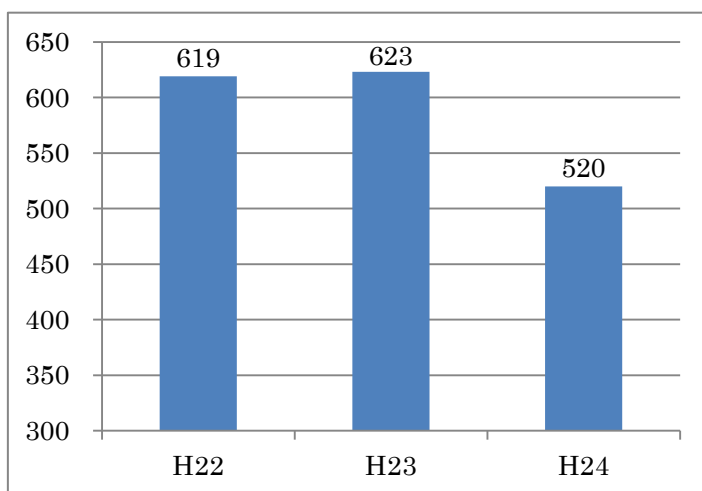
- ・たんぼぼ作業所については、例年ほぼ定員に達しています。
- ・つくしの家については、障害福祉団体等の活動の場として、障害者及び家族の研修・交流の場として利用されています。

## 【施設全体の利用者数（人）】

《たんぼぼ作業所》 ※定員 50 名



《つくしの家》 ※利用者延べ人数



### 3-3 保健施設

#### ■ 施設の概要

・保健施設は、市民の健康保持増進及び公衆衛生思想の向上に資するため、保健センターが4施設、また、市民の健康の保持及び増進並びに休日の救急患者に対し応急的な診療を行うため、総合健診センターが1施設設置されています。

・深谷市保健センターは、深谷コミュニティセンターとの複合施設として設置されており、また、岡部保健センターは、岡部公民館との複合施設として設置されています。

・総合健診センターは、指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。

なお、総合健診センターの敷地は借地ですが、指定管理者である「深谷市・大里郡医師会」が所有する土地に設置されています。

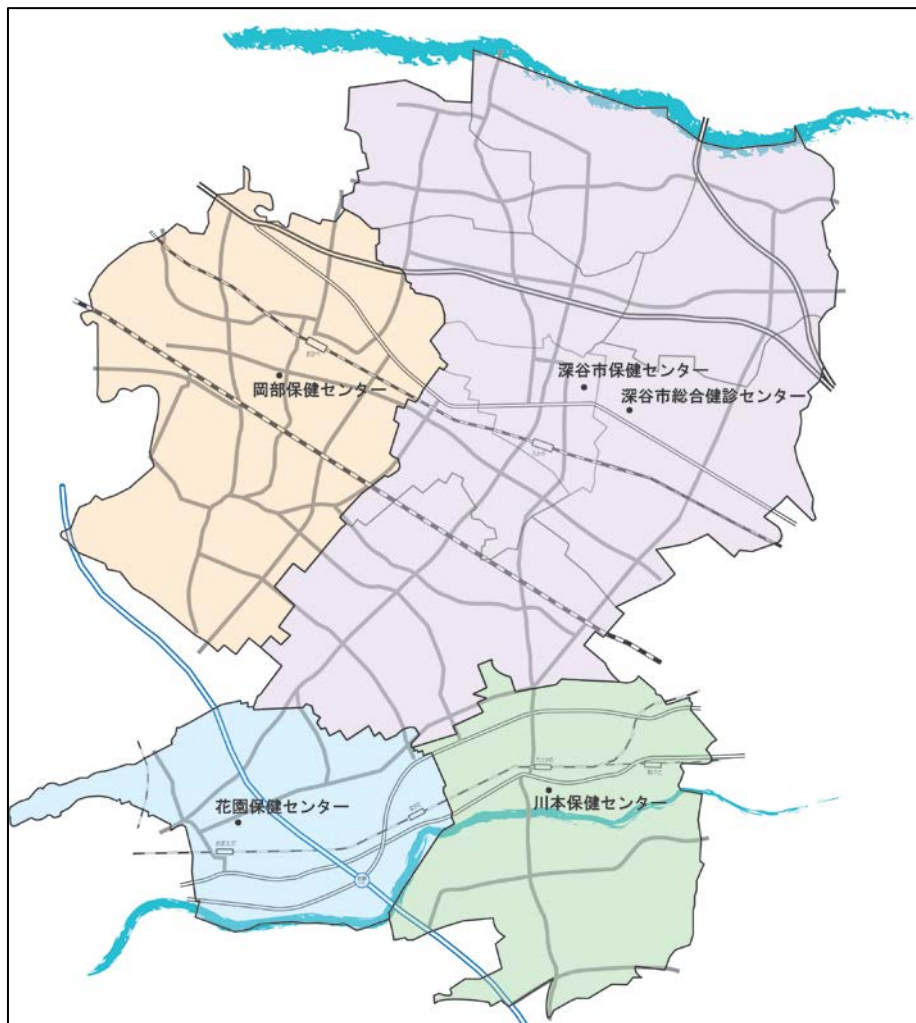
・川本保健センター及び花園保健センター以外の3施設は、旧耐震基準で建てられた建物で耐震性に懸念があり、また、築30年以上経過しており、老朽化が進んでいます。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	深谷市保健センター	本住町 17-1	1980	33	891.31	未実施	未実施
2	深谷市岡部保健センター	山河 1324-1	1978	35	280.57	未実施	未実施
3	深谷市川本保健センター	田中 151	1983	30	503.00	新耐震	新耐震
4	深谷市花園保健センター	小前田 2345	1985	28	513.52	新耐震	新耐震
5	深谷市総合健診センター	常盤町 62-2	1981	32	1,358.00	実施済み	未実施

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

- ・平成24年度の保健施設におけるトータルコスト（事業運営費は除く）は以下のとおりです。
- ・総合健診センターは、指定管理者制度を導入しているため、光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。

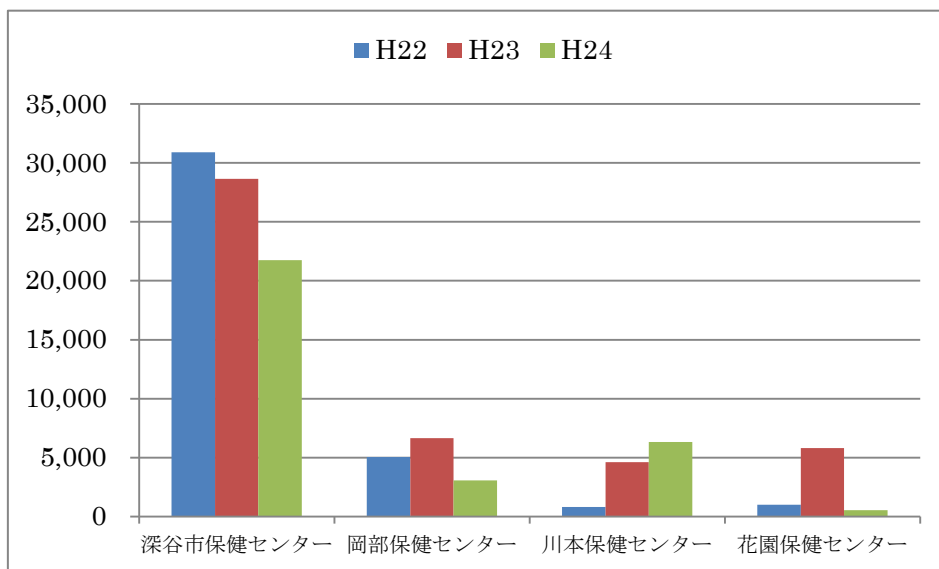
《平成24年度》		深谷市保健センター	岡部保健センター	川本保健センター	花園保健センター	総合健診センター
施設管理費	光熱水費	2,709,084	23,736	559,267	31,743	0
	修繕料	840,206	0	34,650	132,300	0
	委託料	1,447,300	0	703,963	1,339,800	4,000,000
	賃借料（地代等）	0	0	0	0	0
	賃借料（その他）	174,047	0	0	0	0
合計（a）	5,170,637	23,736	1,297,880	1,503,843	4,000,000	
施設運営費（b）	1,366,798	0	320,000	476,247	0	
工事請負費（c）	0	0	0	0	0	
人件費（d）	2,290,500	839,850	839,850	839,850	2,366,850	
減価償却費（e）	2,307,333	599,167	1,360,000	1,541,667	3,822,167	
トータルコスト （a）+（b）+（c）+（d）+（e）	11,135,268	1,462,753	3,817,730	4,361,607	10,189,017	
収入（使用料等）【参考】	17,500	51,500	3,416	4,875	4,820	

## ■ 利用状況

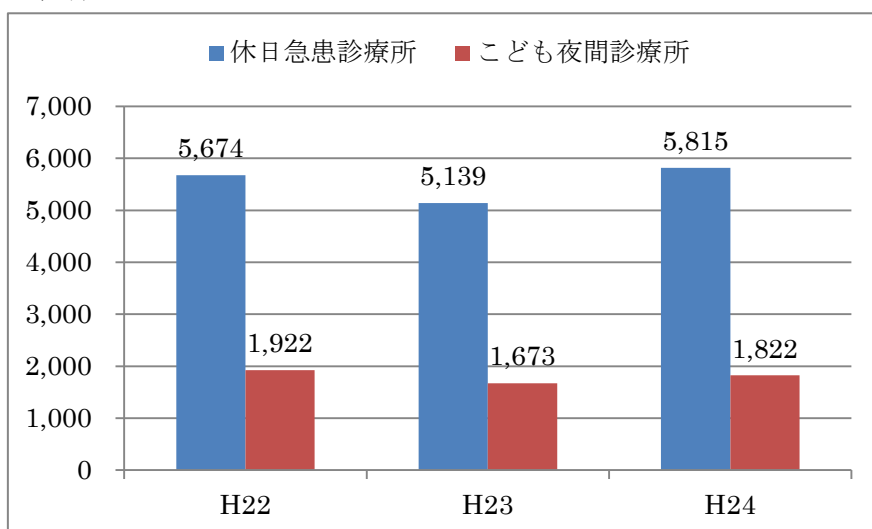
- ・利用者数については、深谷市保健センターが最も多くなっていますが、事業の実施形態等の理由により、施設及び年度によりばらつきがあります。
- ・総合健診センターにおける休日急患診療所及び子ども夜間診療所の利用者は、ほぼ横ばいとなっています。

### 【施設全体の利用者数（人）】

#### 《保健センター》



#### 《総合健診センター》





### 3-4 社会福祉施設

#### ■ 施設の概要

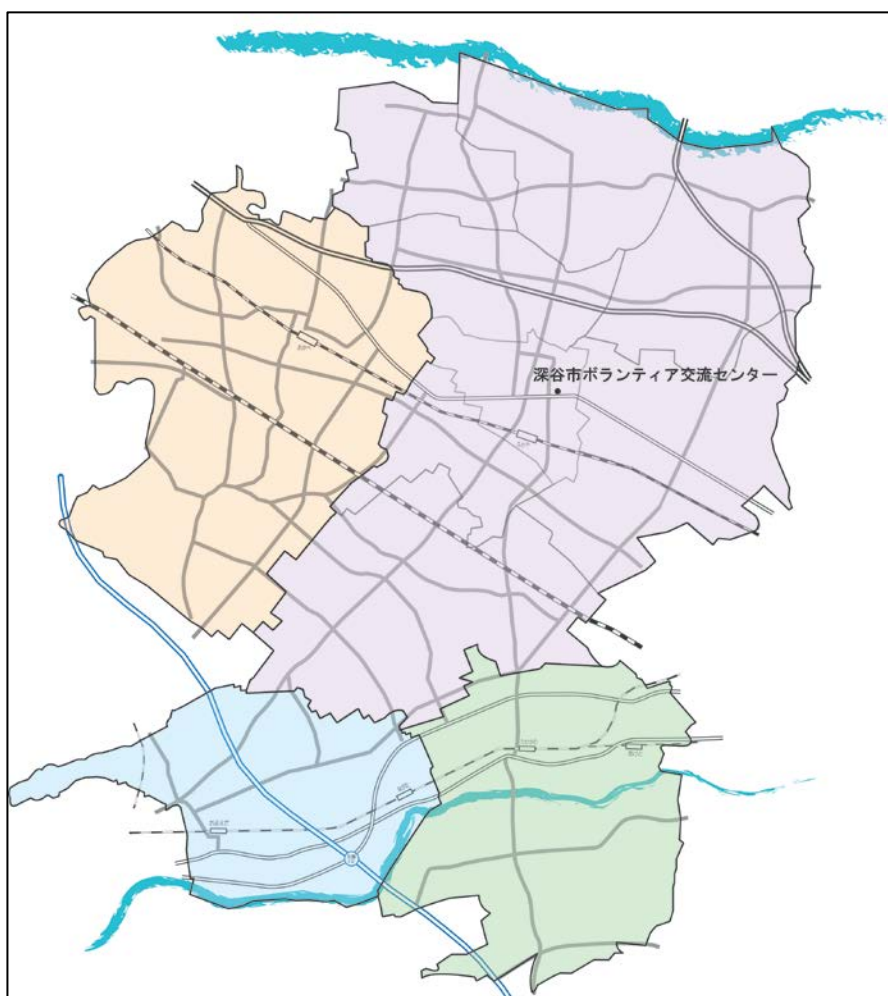
- ・市内でボランティア活動を行う方に交流の場を提供し、活動を支援することで協働と支え合いの福祉のまちづくりを推進するための活動拠点施設として、1施設が設置されています。
- ・ボランティア交流センターは、深谷市立教育研究所を併設する複合施設内に設置されています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深谷市ボランティア交流センター	本住町12番8号	2009	4	778.72	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

#### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

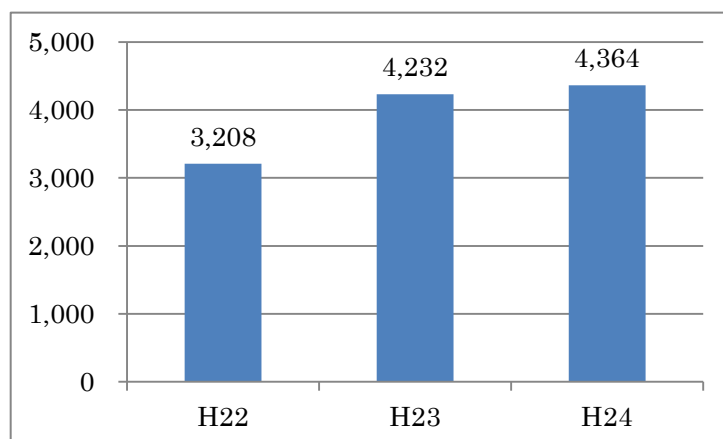
・平成 24 年度のボランティア交流センターにおけるトータルコストは以下のとおりで、利用者一人あたりのコストは、1,965 円となっています。

《平成 24 年度》		深谷市ボランティア交流センター
施設管理費	光熱水費	1,238,497
	修繕料	0
	委託料	2,290,966
	賃借料等 地代等	0
	その他	313,453
合計 (a)		3,842,916
施設運営費 (b)		35,952
工事請負費 (c)		0
人件費 (d)		1,450,704
減価償却費 (e)		3,244,878
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		8,574,450
収入（使用料等）【参考】		1,491,913
年間利用者数（人）		4,364
利用者一人あたりのコスト（円）		1,965

## ■ 利用状況

・ボランティア交流センターにおける利用者数は、ボランティア活動を行っている市内の団体の方々が、会議や活動等で当該施設を利用した人数で、平成 22 年度から 24 年度までの 3 か年の平均は 3,935 人となっています。

【施設全体の利用者数（人）】



## 4 スポーツ・レクリエーション系施設

### 4-1 スポーツ施設（体育館）

#### ■ 施設の概要

・スポーツ施設は、スポーツの振興と、スポーツの場を提供することにより、市民がスポーツに親しみ、豊かな文化生活の形成に寄与すること等を目的として、5施設が設置されています。

※農業者トレーニングセンターについては、他のスポーツ施設と設置目的に違いがありますが、主たる施設内容から、スポーツ施設として分類しています。

・深谷市総合体育館と花園農業者トレーニングセンターについては、指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。

・深谷市民体育館は、耐震診断の結果、耐震性はあるものの、築46年を経過し、施設の老朽化が進行しています。

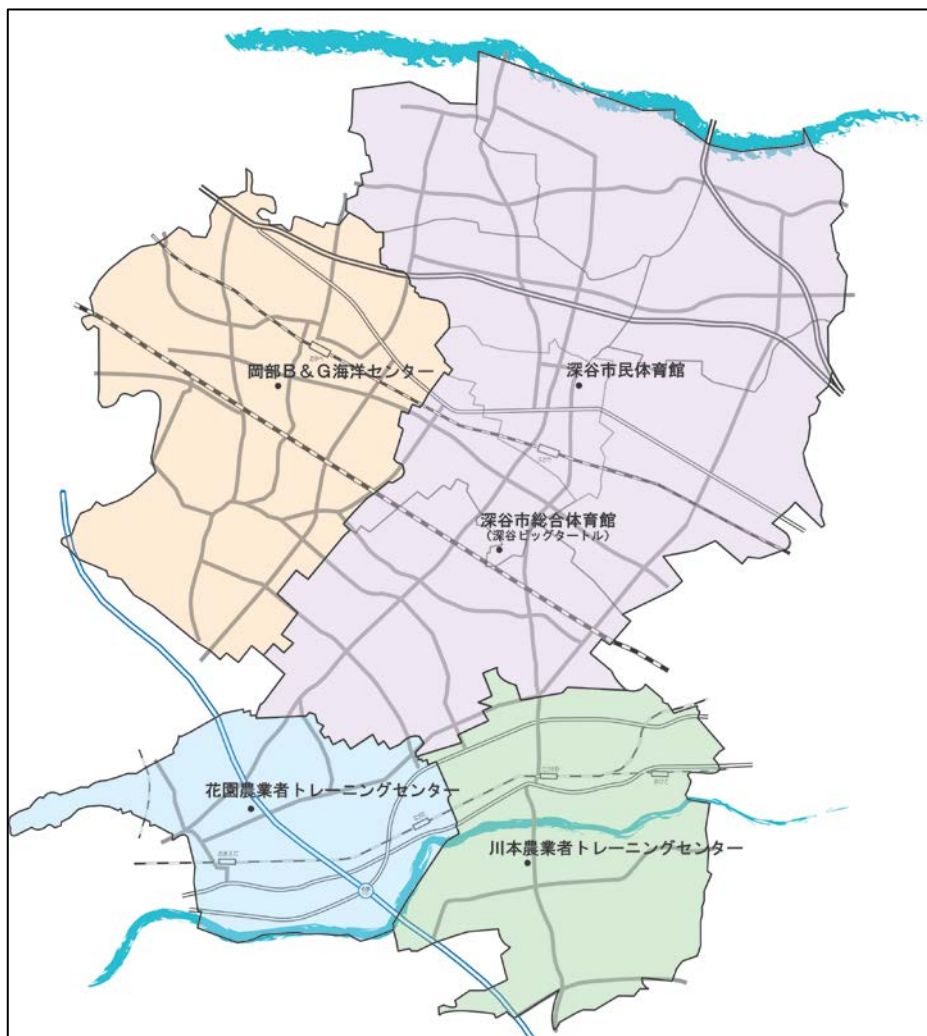
・岡部B&G海洋センターは、旧耐震基準で建てられていますが、耐震診断は未実施のため、耐震性に懸念があります。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)	上野台 2568	1993	20	12,731.00	新耐震	新耐震
2	深谷市民体育館	本住町 17-2	1967	46	1,824.87	実施済み	不要
3	岡部B & G 海洋センター	山河 1300	1981	32	1,103.00	未実施	未実施
4	川本農業者トレーニングセンター	畠山 1577 番地	1986	27	1,228.80	新耐震	新耐震
5	花園農業者トレーニングセンター	小前田 2299 番地	1984	29	1,431.72	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

■ 配置状況



## ■ コスト状況

- ・深谷市総合体育館及び花園農業者トレーニングセンターは、指定管理者制度を導入しているため、光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。
- ・平成24年度のスポーツ施設におけるトータルコストは以下のとおりで、利用者一人あたりのコストは、市民体育館の215円が最も低い金額となっています。
- ・川本トレーニングセンターと花園トレーニングセンターの一人あたりのコストを比べると、3倍以上の開きがあります。

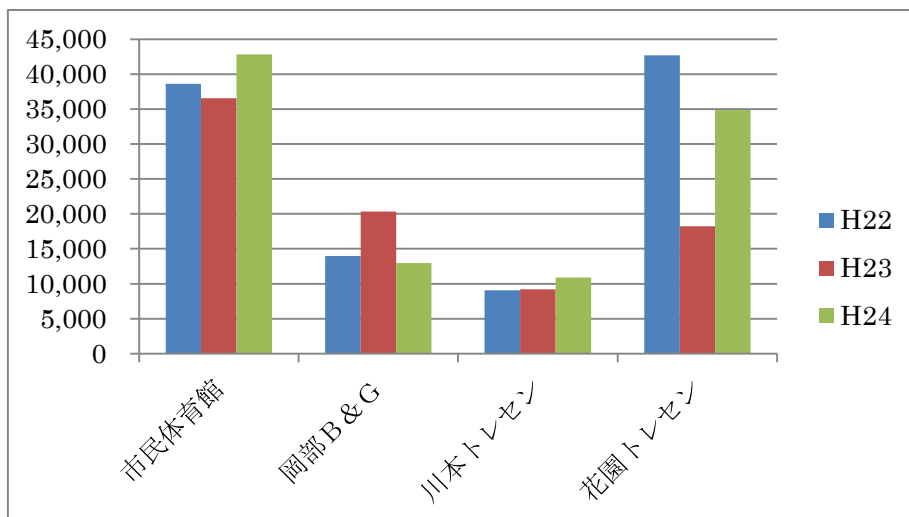
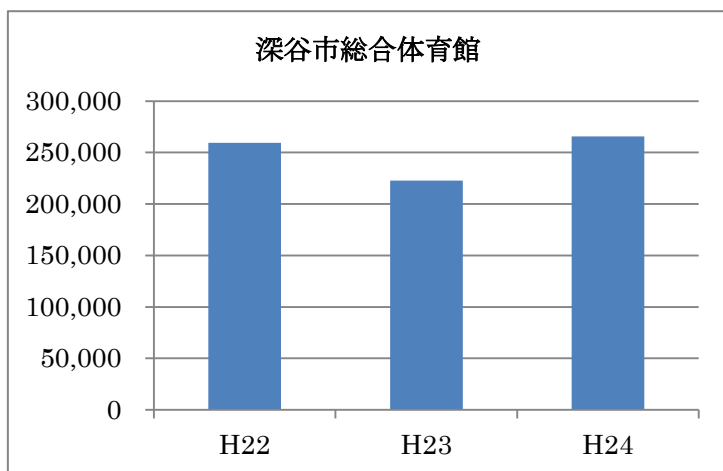
《平成24年度》		総合体育館	市民体育館	岡部B&G	川本トレセン	花園トレセン
施設管理費	光熱水費	(23,772,400)	279,497	923,616	1,623,954	(1,686,693)
	修繕料	6,066,900	92,400	182,700	431,760	0
	委託料	56,196,945	283,701	492,138	807,582	4,600,000
	賃借料等					
	地代等	0	0	67,744	0	0
	その他	0	0	31,500	0	13,020
合計 (a)		62,263,845	655,598	1,697,698	2,863,296	4,613,020
施設運営費 (b)		0	140,637	31,418	2,329,422	0
工事請負費 (c)		0	2,782,500	0	0	0
人件費 (d)		1,832,468	2,901,408	1,068,940	763,528	763,528
減価償却費 (e)		84,401,333	2,736,000	2,650,000	3,666,667	4,410,617
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		148,497,646	9,216,143	5,448,056	9,622,913	9,787,165
収入（使用料等）【参考】		100,527,724	0	0	445,148	855,572
年間利用者数（人）		265,479	42,833	12,962	10,891	34,849
利用者一人あたりのコスト（円）		559	215	420	884	281

※市民体育館における電気料は、教育庁舎で一括して支出しています。

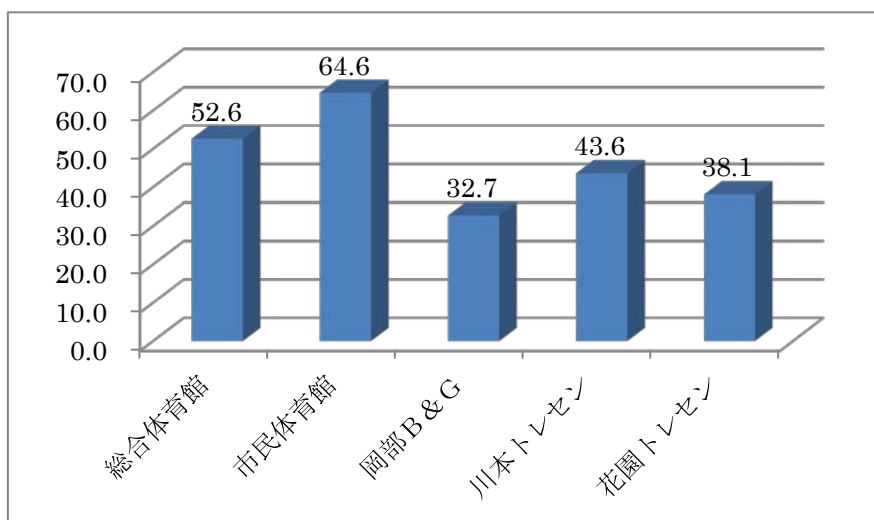
## ■ 利用状況

- ・総合体育館における利用者数は、25万人前後で推移しています。
- ・平成24年度と比較すると、市民体育館と岡部B&Gの利用者の差が3.3倍、花園トレーニングセンターと川本トレーニングセンターの利用者の差が3.2倍と、施設によりばらつきがあります。
- ・H23年度の利用者数については、東日本大震災の影響により、建物の損傷や節電のための休館等により、例年に比べ利用者数は減少しています。
- ・貸室全体の稼働率については、市民体育館が64.6%と、高い割合で利用されています。

【施設全体の利用者数（人）】

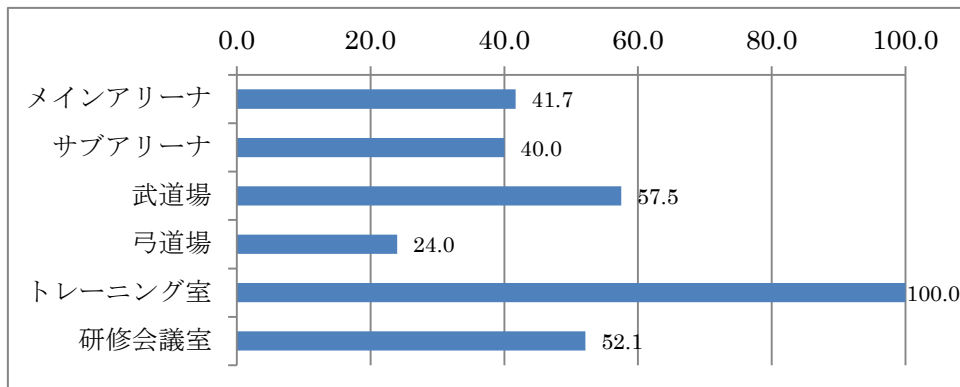


【貸室全体の稼働率（%）】

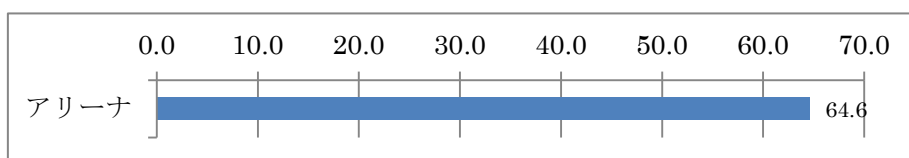


## 【貸室別稼働率（%）】

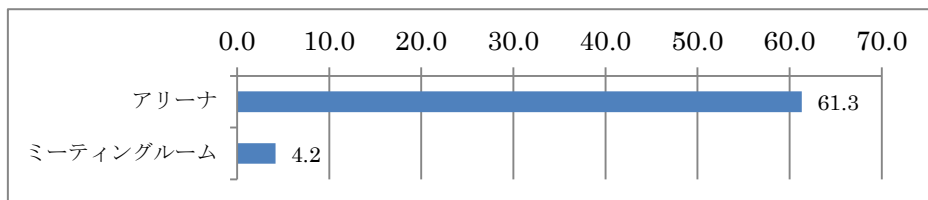
## 《深谷市総合体育館》



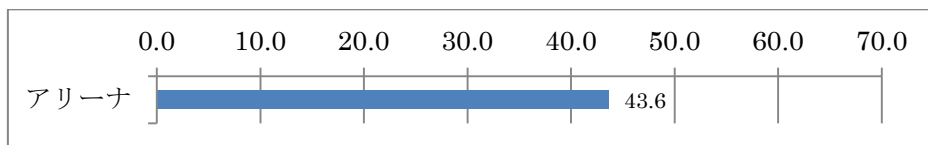
## 《深谷市民体育館》



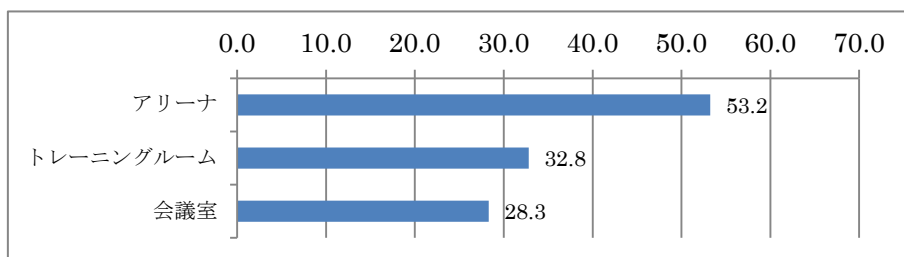
## 《岡部B &amp; G海洋センター》



## 《川本農業者トレーニングセンター》



## 《花園農業者トレーニングセンター》



## 4-2 レクリエーション施設

## ■ 施設の概要

- ・ここで取り上げる3施設は、それぞれ設置目的に違いがありますが、主な施設内容からレクリエーション施設として分類しています。
- ・3施設とも、指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。
- ・深谷グリーンパークには、屋内プール施設（パティオ）が併設されています。
- ・仙元山公園遊園地（わんぱくランド）は、旧市民プール施設をリニューアルし、児童、幼児等に健全な遊び場を提供するための施設として設置されています。
- ・川本サングリーンパークは、敷地の約7割が借地となっています。

No.	施設名	住所	設置年	経過年数 ※1	敷地面積 (㎡)	主な併設施設等
1	深谷グリーンパーク	樫合 763 番地	1996	17	53,817	屋内プール、研修室
2	仙元山公園遊園地 (わんぱくランド)	上野台 2567	1997 ※2	16	16,382	管理棟、変り種自転車、 ローラー滑り台
3	川本サングリーンパーク	本田 5990 番地	1990	23	8,603 [35,414]	みどりの館、農村伝承館、 変形自転車、バターゴルフ

※1 経過年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※2 仙元山公園遊園地としての設置年

※ 敷地面積のカッコ書きは、借地を含めた施設全体の面積を記載しています。

## 【建物を伴う併設施設】

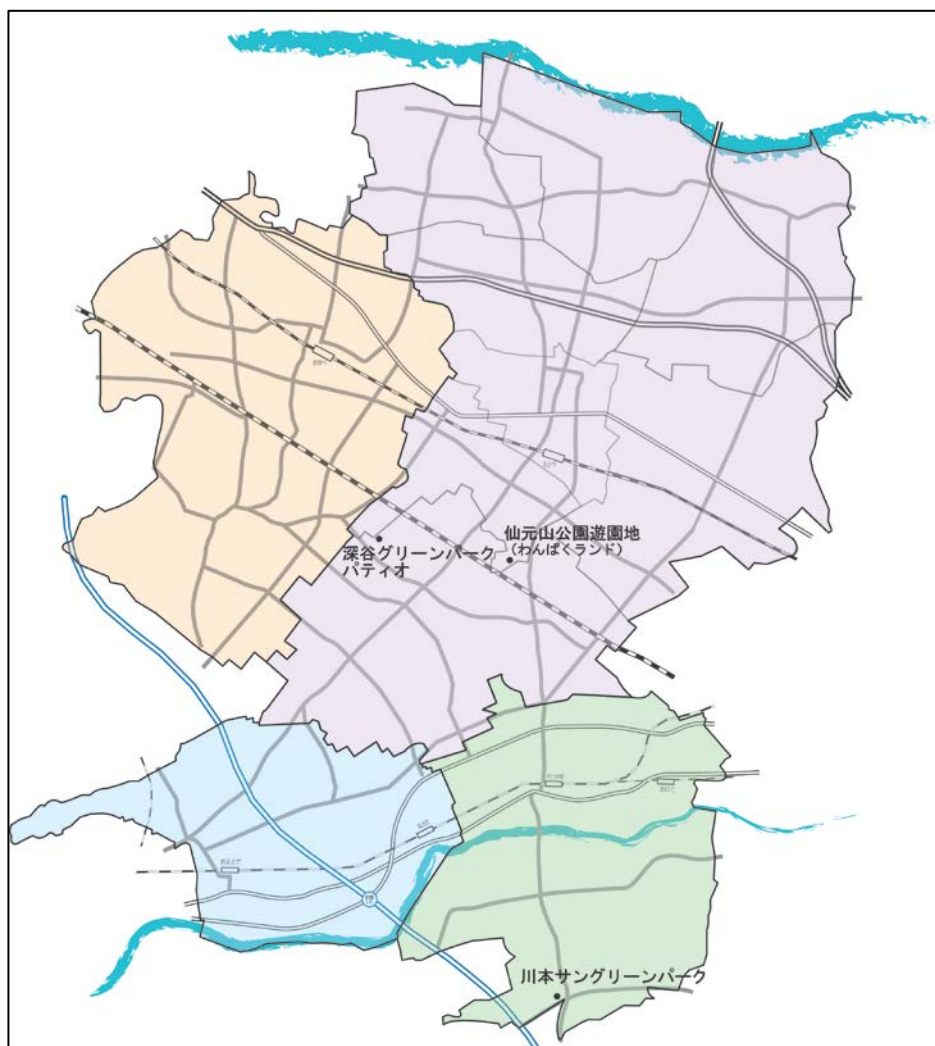
No.	施設名	主な併設施設等	建築年※1	築年数※2	延床面積(㎡)	耐震診断	耐震改修
1	深谷グリーンパーク【再掲】	屋内プール (パティオ)	1996	17	7,770.00	新耐震	新耐震
2	仙元山公園遊園地【再掲】 (わんぱくランド)	管理棟	1973	40	748.65	未実施	未実施
3	川本サングリーン パーク【再掲】	みどりの館 農村伝承館	1990	23	434.74	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。



■ 配置状況



## ■ コスト状況

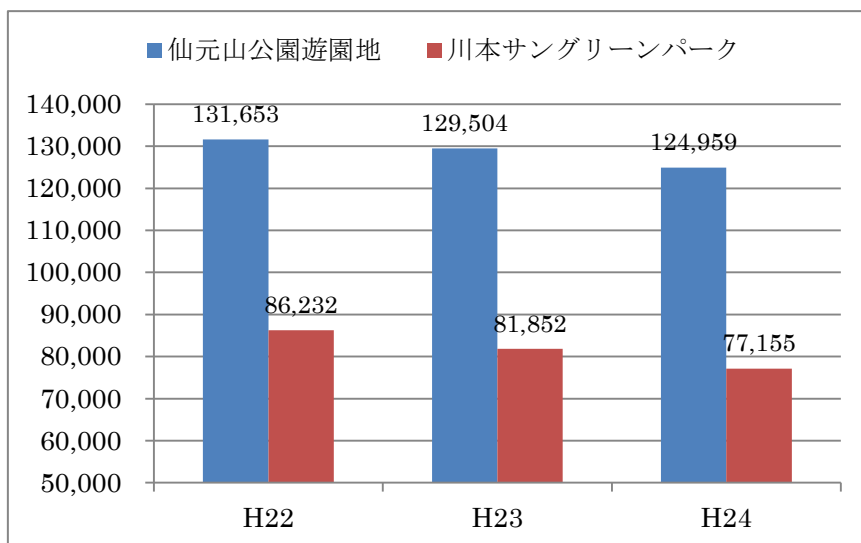
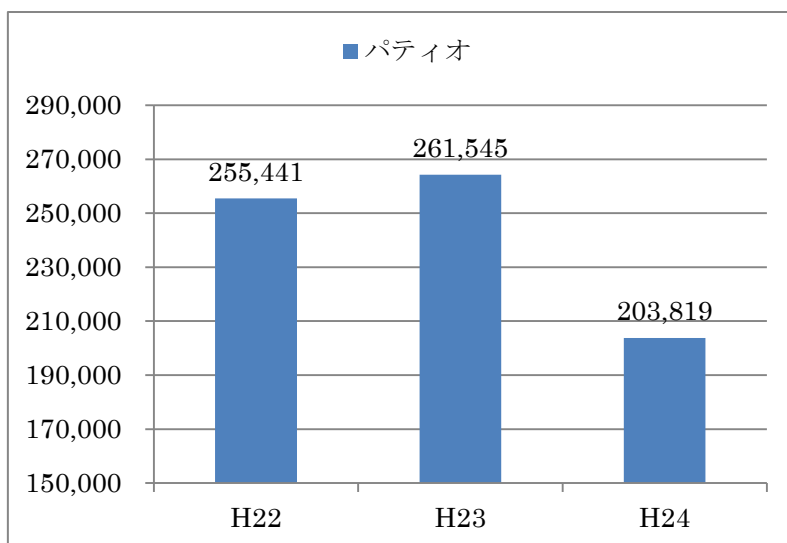
- ・3施設とも指定管理者制度を導入しているため、光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。
- ・平成24年度において、深谷グリーンパーク（パティオ）は、大規模な改修工事を行ったため、当該工事請負費の分、トータルコストも増加しています。
- ・平成24年度の川本サングリーンパークにおける利用者一人当たりのコストは446円で、仙元山公園遊園地の157円の約2.8倍となっています。

《平成24年度》		深谷グリーンパーク	仙元山公園遊園地	川本サングリーンパーク
施設管理費	光熱水費	0	0	0
	修繕料	0	0	456,540
	委託料	103,108,000	15,662,000	25,598,288
	賃借料等 地代等 その他	0	0	3,400,020
		0	0	30,000
合 計 (a)		103,108,000	15,662,000	29,484,848
施設運営費 (b)		4,804,684	0	0
工事請負費 (c)		102,769,380	0	0
人件費 (d)		5,726,463	3,206,819	4,046,701
減価償却費 (e)		57,048,333	715,000	819,000
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		273,456,860	19,583,819	34,350,549
収入（使用料等）【参考】		217,648,205	10,014,000	133,638
年間利用者数（人）		203,819	124,959	77,105
利用者一人あたりのコスト（円）		1,342	157	446

## ■ 利用状況

- ・パティオについては、平成24年度に屋根等の改修工事を実施するにあたり、休館期間があったため、平成24年度の利用者数は例年に比べ減少しています。
- ・仙元山公園遊園地の利用者数は、平成22年度の131,653人から平成24年度の124,959人へと約6,700人（約5%）減少し、川本サングリーンパークについては、平成22年度の86,232人から平成24年度の77,155人へと約9,000人（約10%）減少し、共に減少傾向にあります。

【施設全体の利用者数（人）】



## 4-3 運動公園等

## ■ 施設の概要

※本白書の対象施設は、「延床面積が概ね 100 ㎡以上の公共建築物」としており、運動公園等は建物を伴う 2 施設を除き対象外となりますが、ここでは、市民の利用に供する施設として、参考に掲載しています。

・スポーツの振興とスポーツの場の提供により、市民がスポーツに親しみ、豊かな文化生活の形成に寄与すること等を目的として、15 施設が設置されています。

・15 施設の内、9 施設が指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。

No.	施設名	住所	開設年	経過年数 ※1	敷地面積 (㎡)	施設内容	管理	備考
1	仙元山公園	上野台 2565	1991	22	140,497※2 [307,055]	陸上競技場、野球場、多目的広場、テニスコート	指定管理	都市公園
2	東公園	幡羅町 14-1	1963	50	20,905	多目的広場	指定管理	都市公園
3	常盤公園	常盤町 58-2	1966	47	12,275	テニスコート	指定管理	都市公園
4	深谷城址公園	本住町 17	1985	28	17,977	休憩所（掃部寮） チビッコ広場	指定管理	都市公園
5	上柴中央公園	上柴町西 4-1-1	1981	32	28,418	野球場	指定管理	都市公園
6	東方公園	東方町 2-23	1990	23	16,374	多目的広場	直営	都市公園
7	北部運動公園	起会 162-1	2002	11	35,592	野球場、 多目的広場	指定管理	都市公園
8	柴崎公園	上柴町東 2-24-1	1990	23	15,755	多目的広場	直営	都市公園
9	岡部中央公園	山河 1318	1982	31	10,597	テニスコート	直営	都市公園
10	白草台運動公園	白草台 1565-3	2006	7	48,583	野球場 テニスコート	直営	都市公園
11	花園総合運動公園	小前田 2320-1	1992	21	46,768	野球場、テニスコート、多目的広場	指定管理	都市公園
12	花園水辺公園	小前田 396-11	2005	8	27,656 【河川占用】	多目的広場	直営	都市公園
13	利根川緑地公園	中瀬地内ほか	1996	17	86,791 【河川占用】	多目的広場 (豊里G、高島G) ソフトボール場	指定管理	都市公園
14	明戸農村公園	上増田 1055-2	1994	19	19,670	多目的広場	直営	農村公園
15	折之口ふれあい公園	折之口 149-1	1995	18	16,029	多目的広場 テニスコート	指定管理	農村公園

※1 経過年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

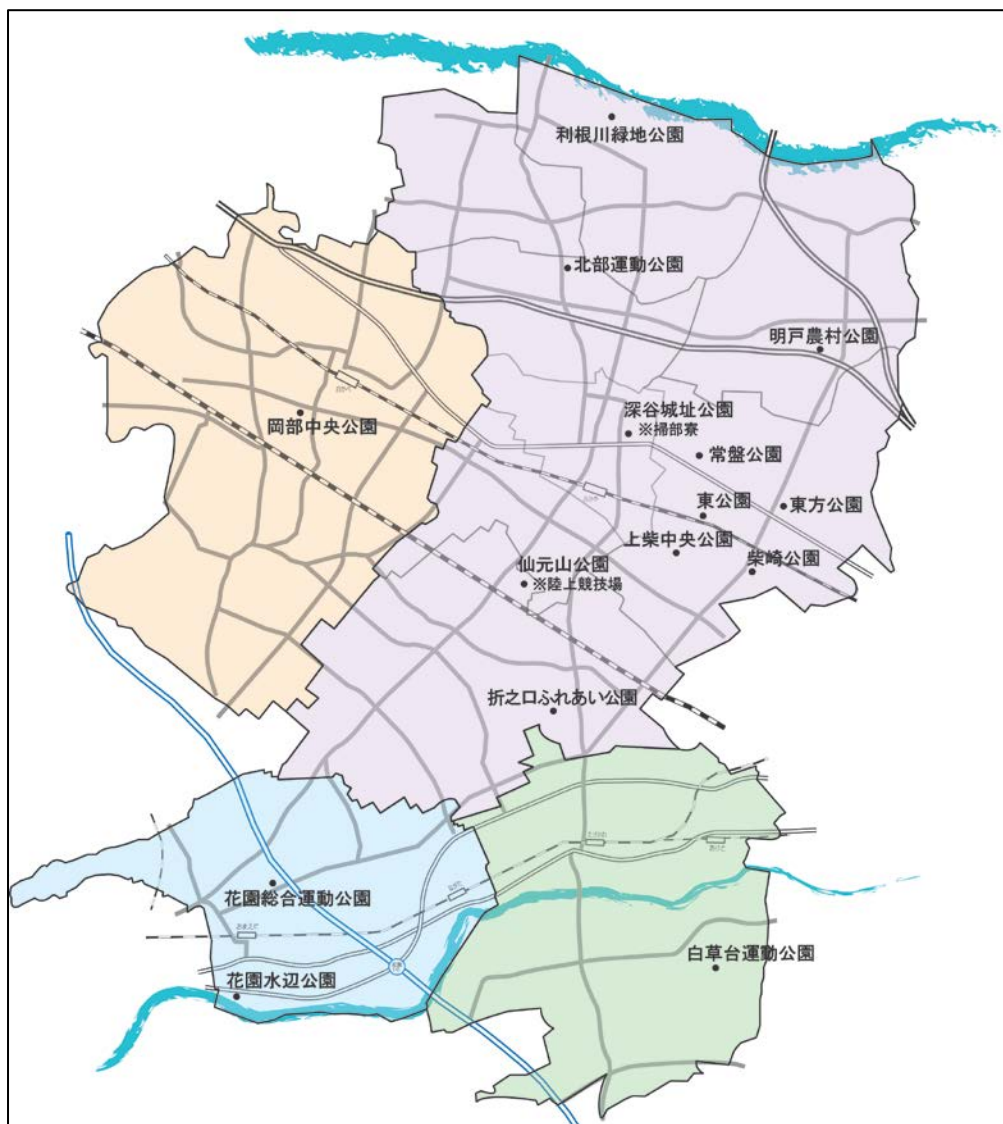
※2 カッコ内の数値は、借地を含めた全体の敷地面積です。

### 《建物を伴う公園内施設》

No.	施設名	公園内施設名	建築年	築年数 <sup>※1</sup>	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	仙元山公園 【再掲】	陸上競技場管理棟	1987	26	873.46	新耐震	新耐震
2	深谷城址公園 【再掲】	掃部寮 (かもんりょう)	1985	28	132.50	新耐震	新耐震

※1 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

### ■ 配置状況



### ■ コスト状況

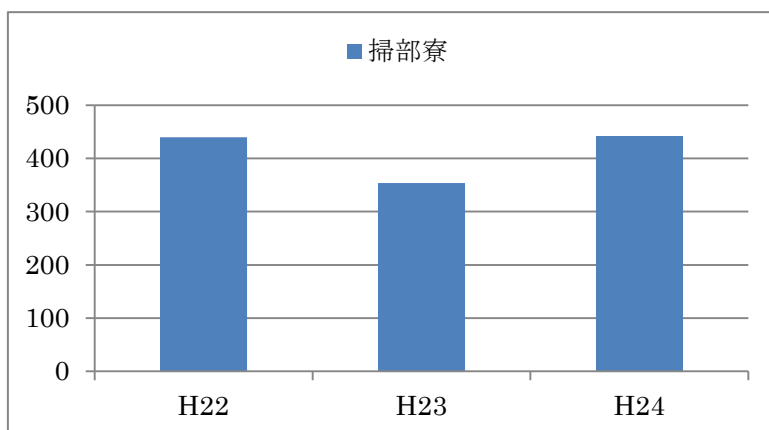
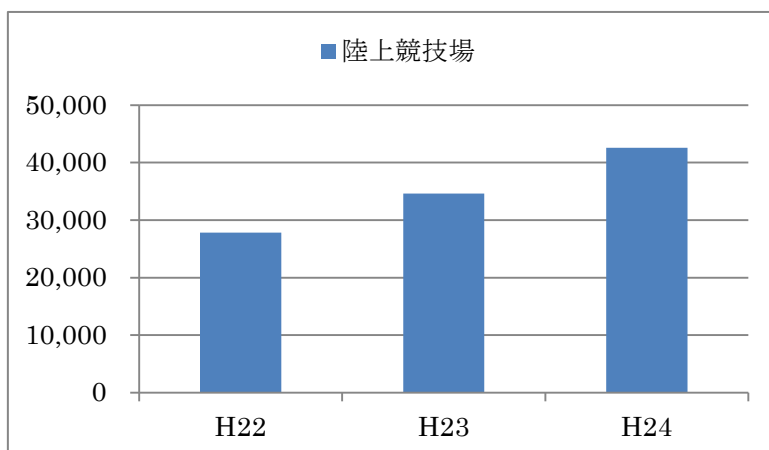
《省略》

※公園一体での管理並びに個別のメーターが無いなどにより、正確な金額が把握できないため。

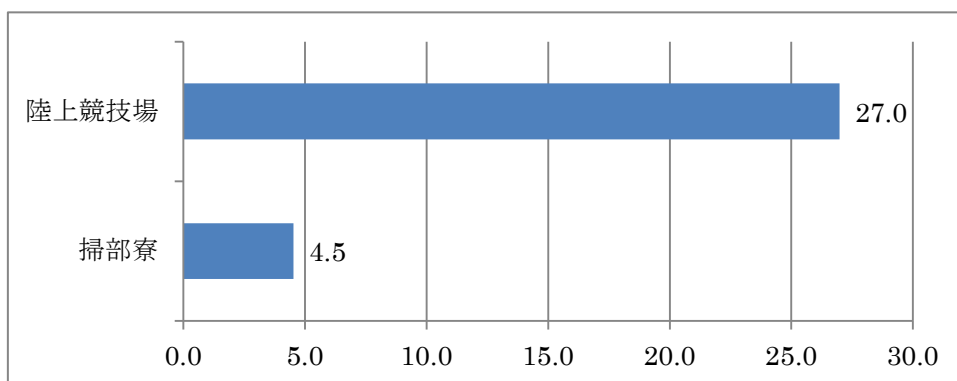
## ■ 利用状況

・深谷城址公園内に設置されている休憩施設「掃部寮」は、稼働率が4.5%と、非常に低い状況です。

【利用者数（人）】



【施設稼働率（%）】



## 4-4 グラウンド

## ■ 施設の概要

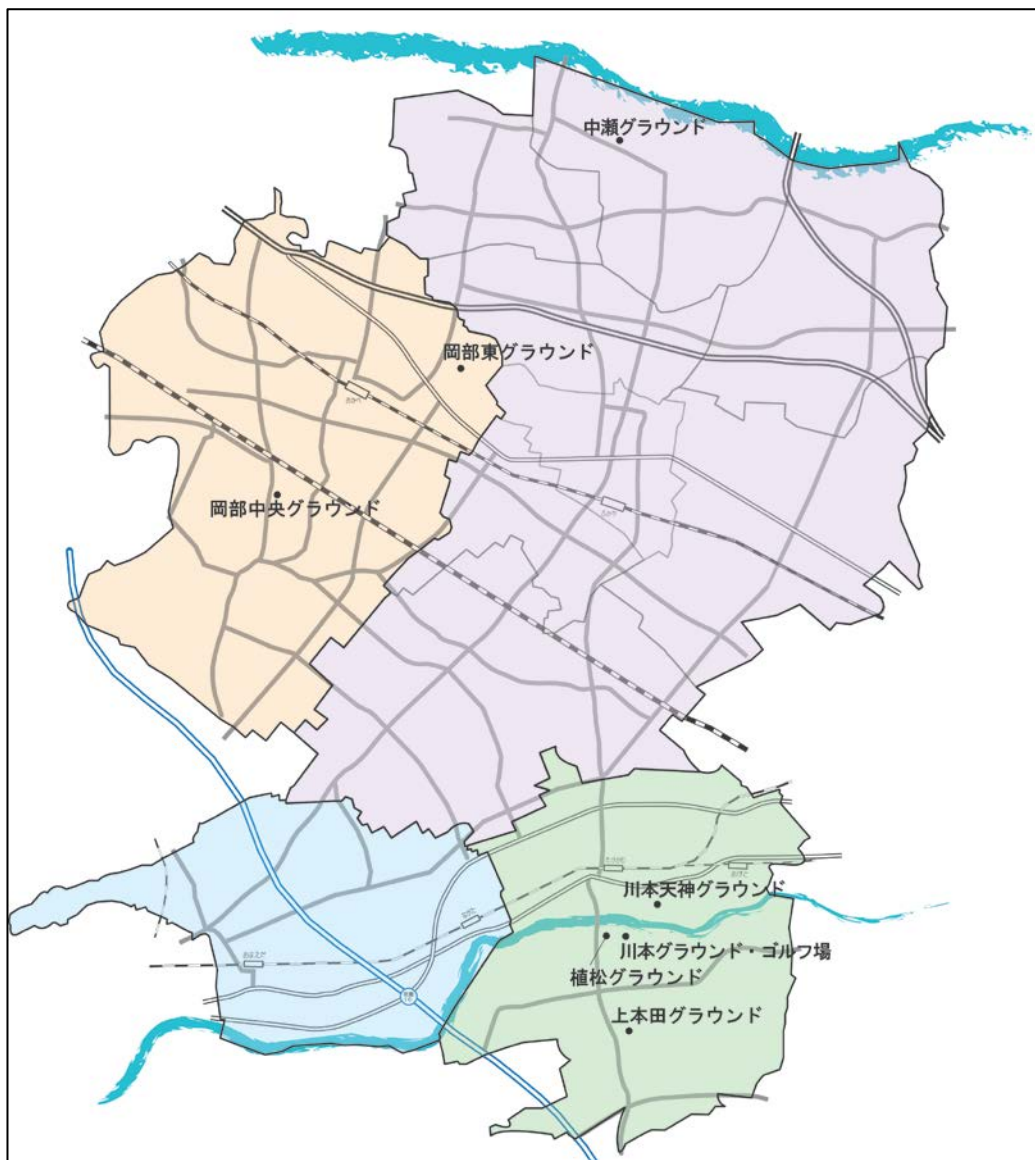
※本白書の対象施設は、「延床面積が概ね 100 m<sup>2</sup>以上の公共建築物」としており、グラウンドは対象外となりますが、ここでは、市民の利用に供する施設として、参考に掲載しています。

・市民のスポーツ及びレクリエーションの普及を通してコミュニティ活動の推進及び健康増進を図ることを目的として、7施設が設置されています。

・7施設全て直営にて、管理、運営されています。

No.	施設名	住所	施設概要	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	夜間照明
1	中瀬グラウンド	中瀬 726-1	多目的広場	5,000	×
2	岡部中央グラウンド	山河 1-1	野球 2面 ソフトボール 4面 サッカー 1面	34,862	○
3	岡部東グラウンド	普済寺 63	野球 1面 ソフトボール 1面	12,580	×
4	川本天神グラウンド	菅沼 1055	人工芝テニスコート 2面 野球場 多目的グラウンド	31,276	○
5	川本グラウンド・ゴルフ場	本田 501 番地先	芝コート 8面 土コート	54,000 【河川占用】	×
6	上本田グラウンド	本田 4892-1	野球場	18,038	×
7	植松グラウンド	本田 50 番地先	野球場	20,000 【河川占用】	×

■ 配置状況





## 5 産業系施設

### 5-1 産業振興施設

#### ■ 施設の概要

・産業振興施設は、市の産業、経済及び文化の向上と市民福祉の増進を図るため、また、農業経営に必要な知識の取得及び農業者相互の経済的向上により、農家の自立経営の確立を図るため等を目的として、7施設が設置されています。

・花園就業改善センター及び深谷市産業会館については、指定管理制度を導入し、管理、運営されています。

・7施設すべてが築30年以上を経過し、施設の老朽化が進行しています。

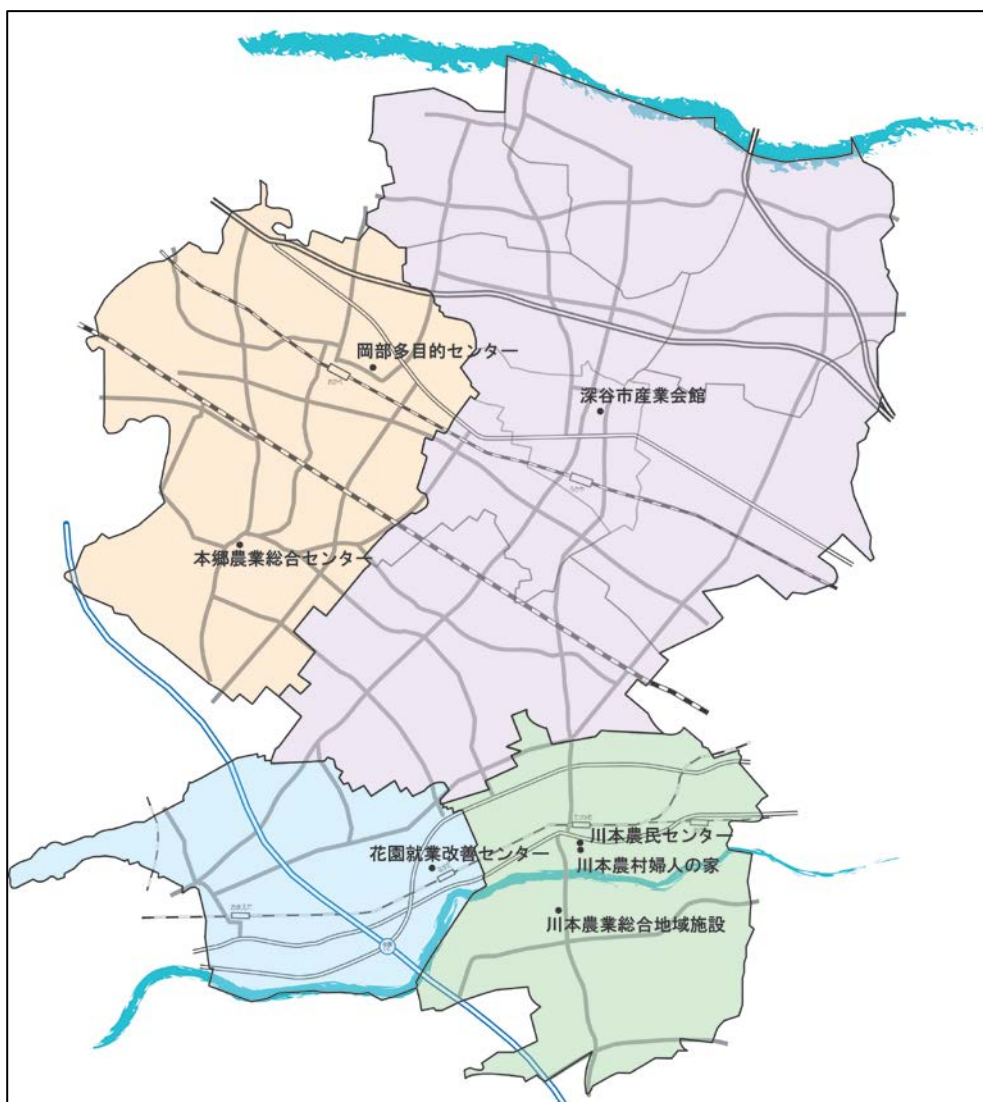
特に、産業会館においては築46年を経過し、耐震性能も極めて低い状態(Is値:0.03)となっています。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	岡部多目的センター	普濟寺 1485 番地 1	1979	34	1,199.00	未実施	未実施
2	本郷農業総合センター	針ヶ谷 392 番地 4	1979	34	604.27	未実施	未実施
3	川本農民センター	田中 153 番地 1	1970	43	282.50	未実施	未実施
4	川本農村婦人の家	田中 152 番地 2	1978	35	233.28	未実施	未実施
5	川本農業総合地域施設	畠山 1577 番地	1972	41	558.00	未実施	未実施
6	花園就業改善センター	永田 1420 番地	1976	37	529.27	未実施	未実施
7	深谷市産業会館	仲町 20 番 1 号	1967	46	1,949.02	実施済み	未実施

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

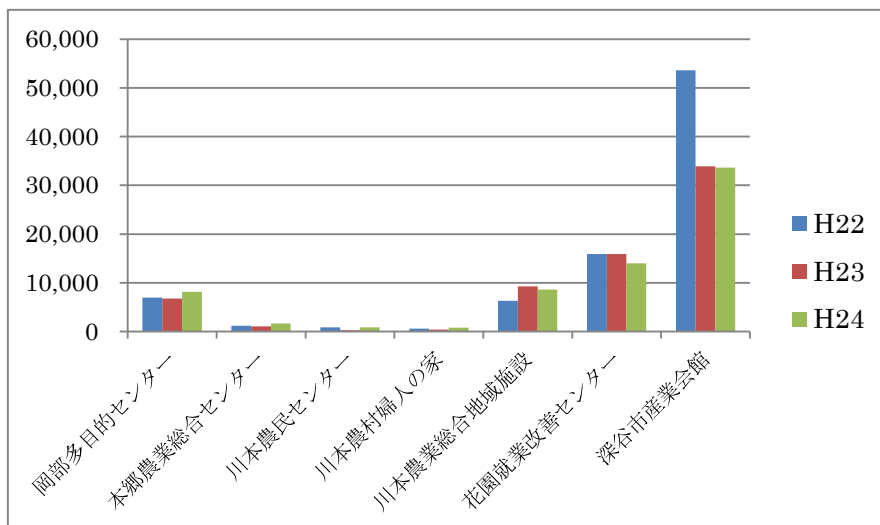
- ・平成24年度の産業振興施設におけるトータルコストは以下のとおりで、利用者一人あたりのコストは、産業会館の367円が最も低く、最も高いのは本郷農業総合センターの2,020円で、5.5倍の開きがあるなど、施設によってばらつきがあります。
- ・花園就業改善センター及び深谷市産業会館については、指定管理制度を導入しているため、光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。

《平成24年度》		岡部多目的センター	本郷農業総合センター	川本農民センター	川本農村婦人の家	川本農業総合地域施設	花園就業改善センター	深谷市産業会館
施設管理費	光熱水費	1,385,551	864,513	555,606	39,701	860,880	0	0
	修繕料	512,100	514,710	3,150	241,195	65,940	0	262,500
	委託料	1,676,153	514,699	42,775	42,600	374,982	3,583,000	7,000,000
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	27,930	13,020	0	0	0	0	0
合計(a)	3,601,734	1,906,942	601,531	323,496	1,301,802	3,583,000	7,262,500	
施設運営費(b)		1,735,057	204,872	0	0	2,264,472	0	0
工事請負費(c)		0	0	0	0	0	0	0
人件費(d)		763,528	190,882	190,882	190,882	763,528	763,528	2,672,349
減価償却費(e)		2,824,667	1,036,667	243,333	500,833	591,000	1,041,167	2,387,539
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		8,924,986	3,339,363	1,035,746	1,015,211	4,920,802	5,387,695	12,322,389
収入(使用料等)【参考】		501,639	86,300	21,000	28,350	548,259	1,116,928	0
利用者数(人)		8,186	1,653	836	784	8,604	14,027	33,610
利用者一人あたりのコスト(円)		1,090	2,020	1,239	1,295	572	384	367

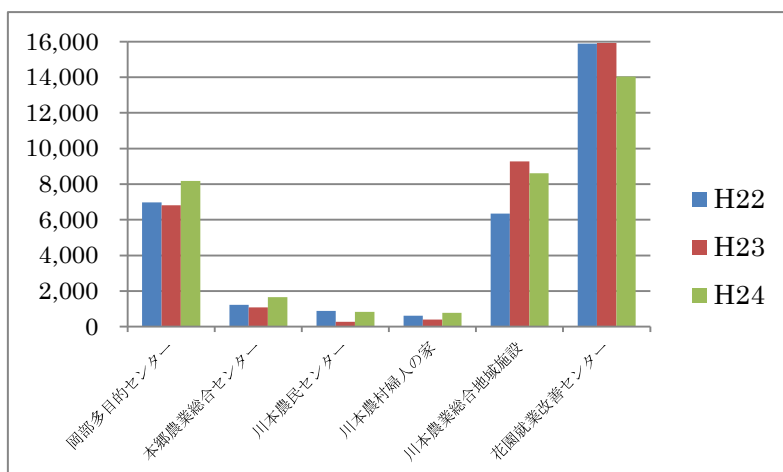
## ■ 利用状況

- ・利用者数については、深谷市産業会館が年間30,000人を超えていますが、川本農民センターと川本農村婦人の家については、年間1,000人を下回っているなど、施設によってばらつきがあります。
- ・本郷農業総合センター、川本農民センター、川本農村婦人の家については、他の施設に比べ、利用者数、稼働率共に極端に少ない状況です。
- ・貸室別稼働率については、ほとんど稼働していない部屋(稼働率がほぼ0%)も多く、10%未満の稼働率の部屋も多数あり、全体的に低い状況です。
- ・建物の用途は農業振興施設ですが、施設設置当初の設置目的は薄れ、現在はコミュニティセンターや公民館等と同様に集会施設としての利用形態となっています。

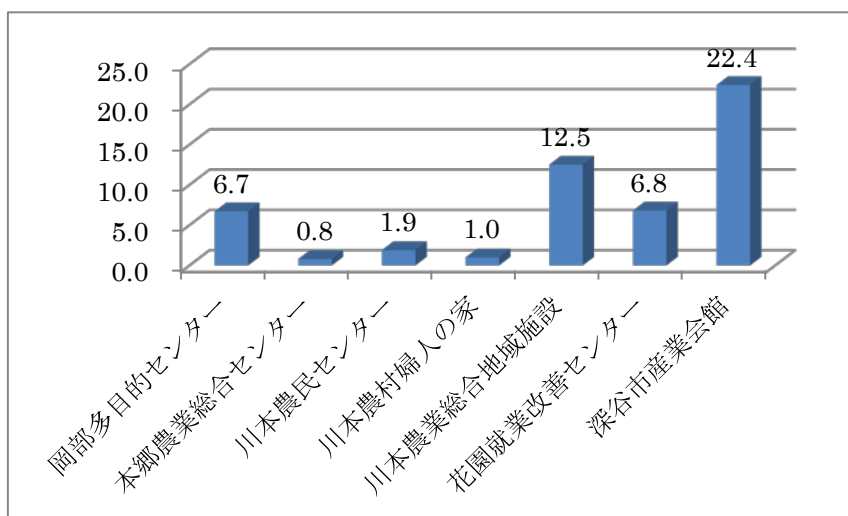
【施設全体の利用者数（人）】



【施設全体の利用者数（人）】 ※産業会館を除いた6施設

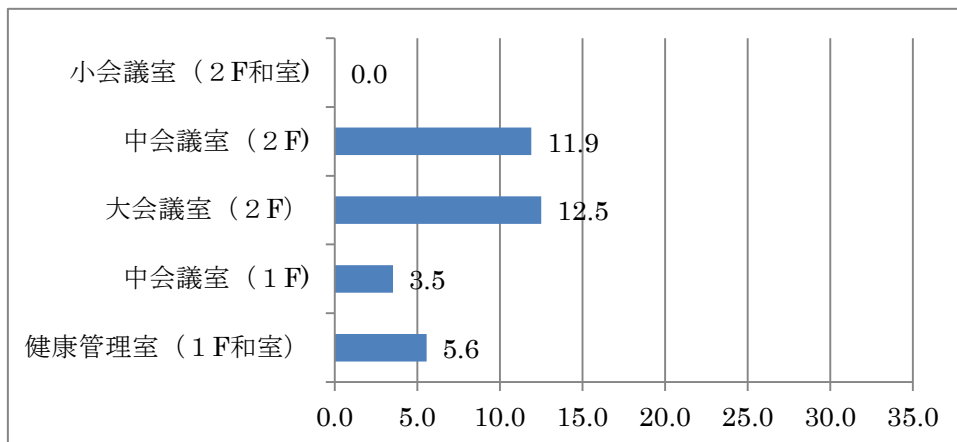


【貸室全体の稼働率（%）】

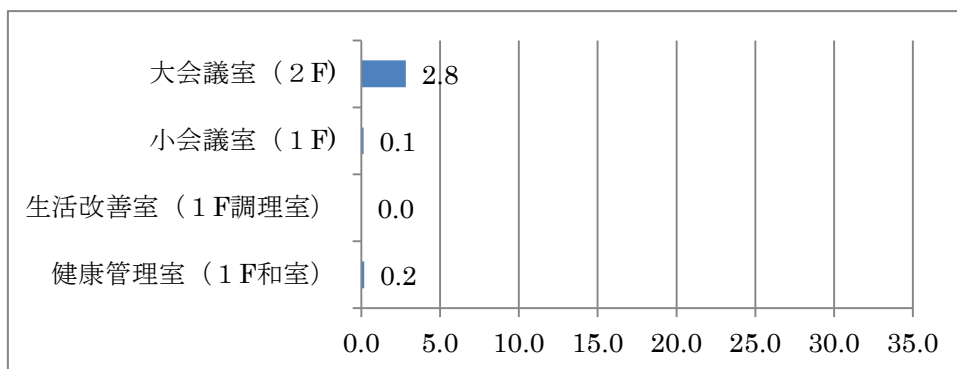


## 【貸室別稼働率 (%)】

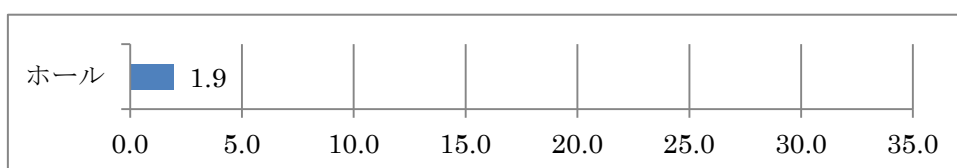
《岡部多目的センター》



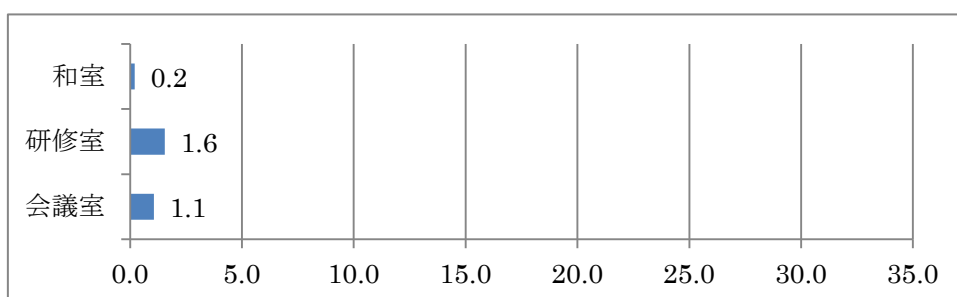
《本郷農業総合センター》



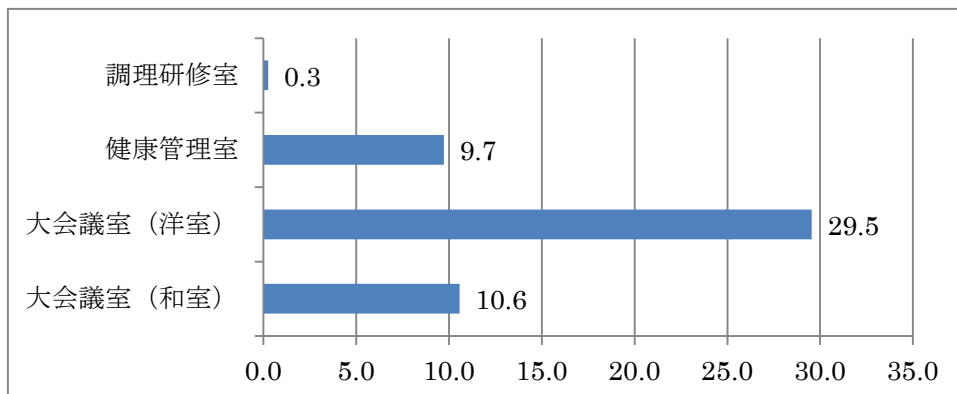
《川本農民センター》



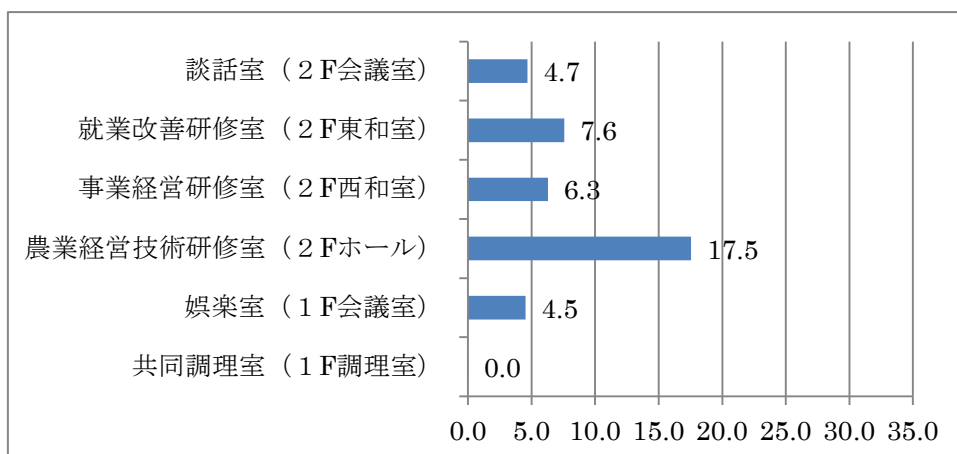
《川本農村婦人の家》



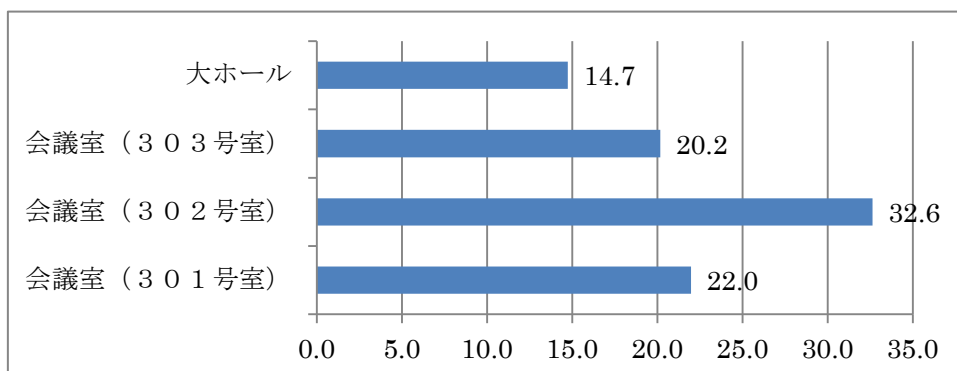
《川本農業総合地域施設》



《花園就業改善センター》



《深谷市産業会館》



## 5-2 物産センター等

## ■ 施設の概要

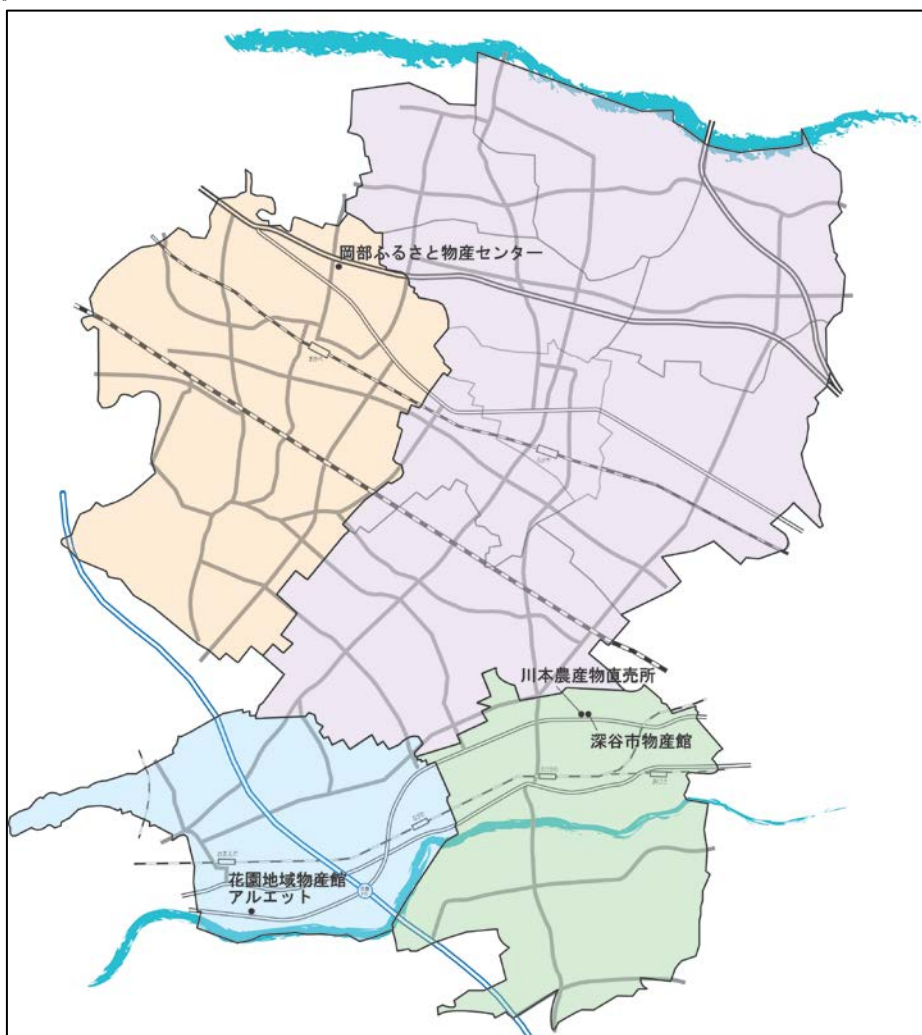
- ・市の農業振興と地域の活性化並びに市の特産物の普及を図り、豊かな地域振興と文化の向上に資すること等を目的として、4施設が設置されています。
- ・岡部ふるさと物産センター及び花園地域物産館アルエットについては、指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	岡部ふるさと物産センター	岡 688 番地 1	1997	16	1,440.99	新耐震	新耐震
2	花園地域物産館アルエット	小前田 458 番地 1	1998	15	1,162.60	新耐震	新耐震
3	深谷市物産館	長在家 1280 番地 1	2006	7	250.91	新耐震	新耐震
4	川本農産物直売所	長在家 1279 番地 2	1989	24	307.25	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の物産センター等におけるトータルコストは以下のとおりで、利用者一人あたりのコストは、川本農産物直売所が5.8円で最も低く、深谷市物産館が82.7円で最も高くなっています。

・岡部ふるさと物産センターと花園地域物産館アルエットは共に指定管理者制度を導入して運営されているため、主たる光熱水費や指定管理者における人件費、施設運営費等は、委託料の中に含まれています。

《平成24年度》		岡部ふるさと物産センター	花園地域物産館アルエット	深谷市物産館	川本農産物直売所
施設管理費	光熱水費	22,234	8,175	1,529,438	2,319,219
	修繕料	0	0	74,203	14,280
	委託料	13,528,845	12,730,082	3,516,268	0
	賃借料(地代等)	0	2,457,730	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	0
合計(a)	13,551,079	15,195,987	5,119,909	2,333,499	
施設運営費(b)		301,693	449,872	853,578	57,467
工事請負費(c)		0	0	0	0
人件費(d)		2,099,703	2,099,703	3,565,853	2,099,703
減価償却費(e)		13,263,240	13,367,085	1,322,650	809,667
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		29,215,715	31,112,647	10,861,990	5,300,336
収入(使用料等)【参考】		21,010,000	23,386,000	2,315,176	5,108,000
利用者数(人)		1,955,901	534,447	131,340	909,285
利用者一人あたりのコスト(円)		14.9	58.2	82.7	5.8

※ 岡部ふるさと物産センターと花園地域物産館アルエットにおける収入の主な内容は、指定管理者からの家賃収入となっています。

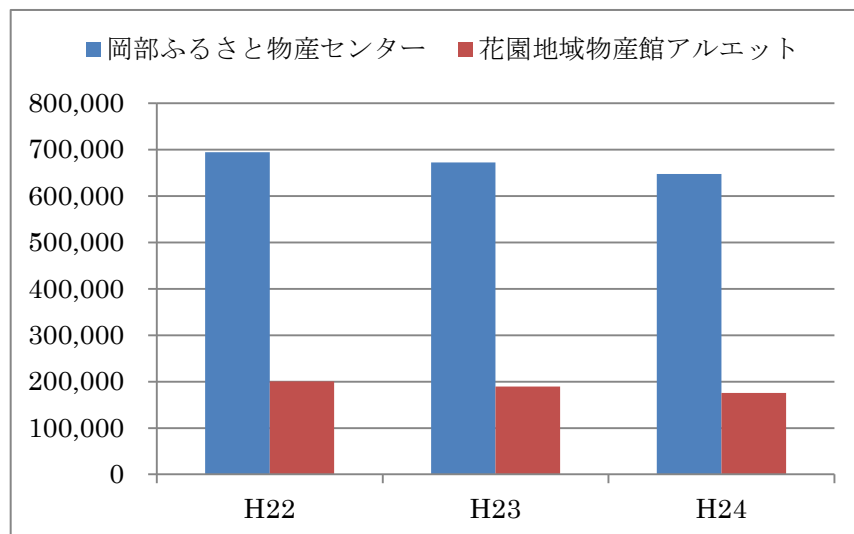
※ 利用者数については、物産館は入館者数、それ以外の3施設については、レジ通過客数を3倍した人数(来場者相当数)となっています。



## ■ 利用状況

・岡部ふるさと物産センターと花園地域物産館アルエットの利用者数については、レジ通過客数で比較すると、岡部ふるさと物産センターの利用者数は、花園地域物産館アルエットの利用者数の約3.5倍となっています。

【利用者数（人）】 ※レジ通過客数



## 6 子育て支援施設

### 6-1 保育園

#### ■ 施設の概要

- ・ 保育園は、保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児または幼児を保育することを目的として7園が設置されています。
- ・ みらい幼児園おかべは、幼稚園（おかべ幼稚園）との複合施設となっています。
- ・ 現在は限られた資源を最大限に活かし、いかに多くの児童に良質なサービスを提供できるかという観点から運営体制を見直し、公立保育園の民営化を推進しています。
- ・ すでに2園（桜ヶ丘保育園、つばさ保育園）が民営化済みであり、平成26年度からもう2園（藤沢保育園、豊里保育園）が民営化され、市立保育園は5園となる予定です。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	園児数 (人)	定員 (人)	耐震 診断	耐震 改修
1	藤沢保育園	人見 1963-3	2005	8	1,093.4	110	110	新耐震	新耐震
2	明戸保育園	蓮沼 260	2009	4	1,106.8	100	100	新耐震	新耐震
3	八基保育園	血洗島 206	1974	39	452	69	80	未実施	未実施
4	豊里保育園	新戒 640-3	1991	22	578	90	90	新耐震	新耐震
5	みらい幼児園おかべ	山河 1382	2004	9	1,652.2	121	120	新耐震	新耐震
6	川本保育園	菅沼 980	2011	2	1,306.3	112	120	新耐震	新耐震
7	川本南保育園	本田 4888	1992	21	669.6	85	90	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 園児数は、2013（H25）年4月1日時点のものです。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の保育園におけるトータルコストは以下のとおりで、保育園全体における園児一人あたりのコスト平均は、約1,100,000円となっています。

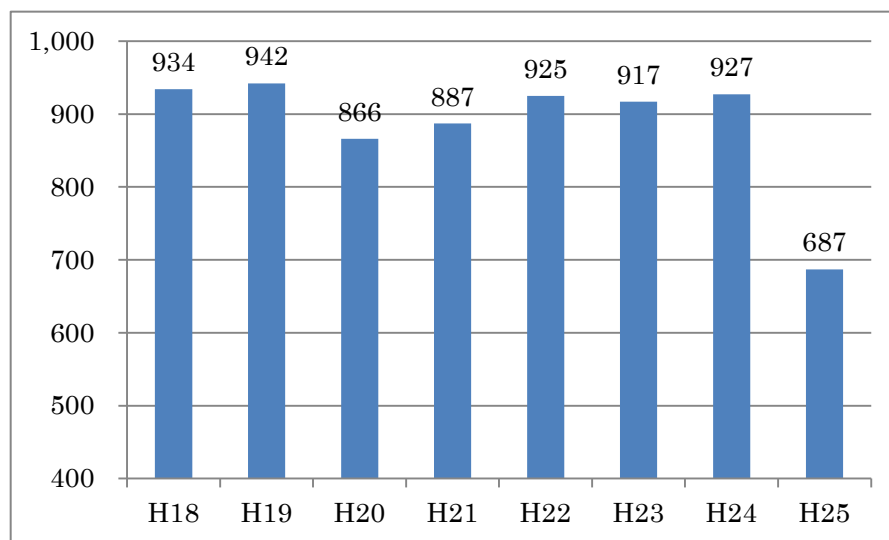
《平成24年度》		藤沢保育園	明戸保育園	八基保育園	豊里保育園	みらい幼稚園 おかべ	川本保育園	川本南保育園
施設管理費	光熱水費	2,689,019	2,747,634	1,544,328	2,023,171	2,829,783	2,721,289	1,739,899
	修繕料	143,125	86,601	798,670	440,601	134,200	5,110	1,519,562
	委託料	528,835	417,885	291,259	382,185	473,028	456,279	349,417
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	85,321	115,095	45,424	35,920	92,013	10,030	11,431
合計 (a)	3,446,300	3,367,215	2,679,681	2,881,877	3,529,024	3,192,708	3,620,309	
施設運営費 (b)	31,518,563	27,726,767	24,337,248	28,102,659	33,367,737	33,503,879	25,338,453	
工事請負費 (c)	0	0	0	483,000	0	0	0	
人件費 (d)	96,401,663	82,793,260	56,563,078	70,171,481	88,766,379	48,927,794	56,563,078	
減価償却費 (e)	3,871,000	5,623,450	1,104,667	3,698,350	4,704,533	5,238,363	3,445,867	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	135,237,526	119,510,692	84,684,674	105,337,367	130,367,673	90,862,744	88,967,707	
園児数(人)	113	94	66	92	123	117	79	
園児一人あたりの コスト(円)	1,196,792	1,271,390	1,283,101	1,144,971	1,059,900	776,605	1,126,174	

※園児数は、2012(H24)年4月1日時点のものです。

## ■ 利用状況

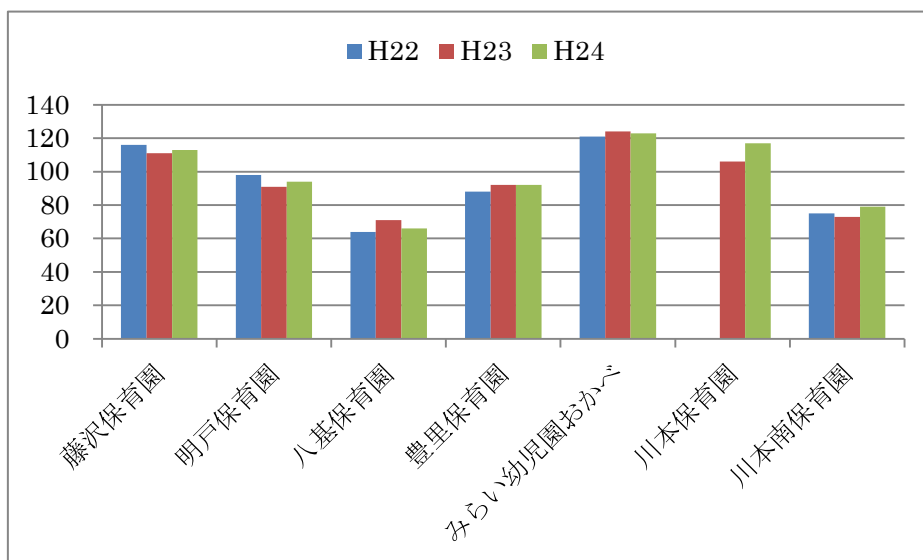
- ・園児数は、平成 18 年度から平成 24 年度までは、900 人前後で推移していましたが、平成 25 年度から 2 園民営化したため、240 人減少しています。
- ・保育園別に園児数の推移を見てみると、多少の増減はあるものの、園児数はほぼ一定となっています。

### 【園児数の推移（人）】



※園児数は、各年 4 月 1 日時点

### 【保育園別園児数（人）】



※園児数は、各年 4 月 1 日時点

※川本保育園は、平成 23 年度開園のため、平成 23 年度以降のデータとなっています。

## 6-2 学童保育室

## ■ 施設の概要

- ・学童保育室は、小学校に就学し、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的として、19施設が設置されています。
- ・指定管理者制度を導入している施設が5施設あり、残りの14施設については直営にて運営されています。
- ・19施設の内、単体の施設として12施設、小学校の余裕教室内等に7施設が設置されています。

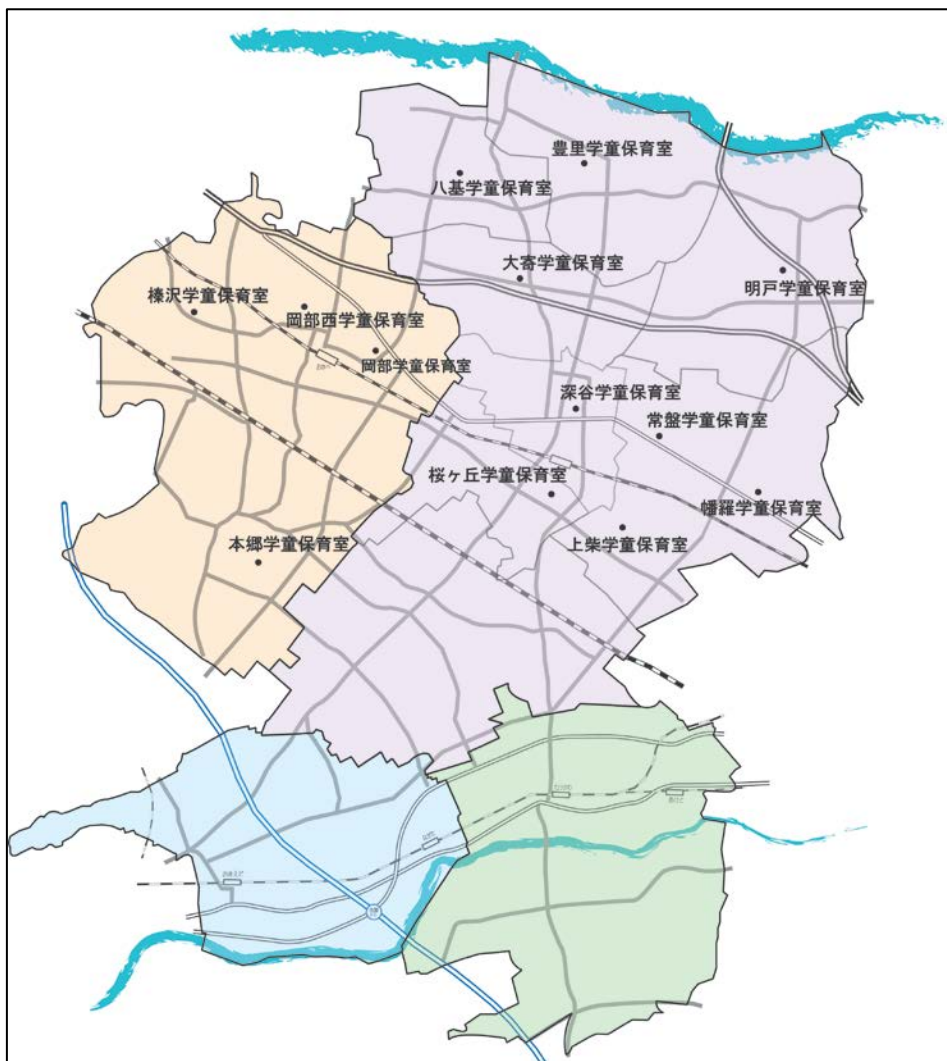
No.	施設名	住所	建築年 ※1	築年数 ※2	延床面積 (㎡)	児童数 (人)	定員 (人)	耐震 診断	耐震 改修	備 考
1	第一深谷学童保育室	仲町 19-1 ※深谷小敷地内	2001	12	202.00	81	70	—	—	
2	第二深谷学童保育室	仲町 19-1	1968	45	91.00	62	55	済	済	深谷小校舎内
3	第一桜ヶ丘学童保育室	上野台 508	2001	12	204.00	45	70	—	—	桜ヶ丘幼稚園舎内
4	第二桜ヶ丘学童保育室	上野台 508 ※桜ヶ丘小敷地内	2009	4	299.00	69	70	—	—	
5	第一幡羅学童保育室	東方町 3-25-1	2002	11	136.00	81	95	—	—	幡羅小体育館内
6	第二幡羅学童保育室	東方町 3-25-1	2002	11	90.00	68	50	—	—	幡羅小体育館内
7	第一常盤学童保育室	常盤町 58-2 ※常盤小敷地内	2006	7	185.00	69	65	—	—	
8	第二常盤学童保育室	常盤町 58-2	1971	42	67.00	51	40	済	済	常盤小校舎内
9	明戸学童保育室	蓮沼 413	1969	44	124.00	81	65	済	済	明戸小校舎内
10	大寄学童保育室	内ヶ島 660-4 ※大寄小敷地内	2006	7	130.00	40	40	—	—	
11	八基学童保育室	上手計 175-1	1980	33	141.00	35	65	未	未	
12	豊里学童保育室	新戒 640-3	2000	13	154.00	55	40	—	—	
13	上柴学童保育室	上柴町西 5-11-1 ※上柴西小敷地内	2009	4	159.00	68	60	—	—	
14	第一岡部学童保育室	普濟寺 1340-1 ※岡部小敷地内	2004	9	86.94	40	50	—	—	※指定管理
15	第二岡部学童保育室	普濟寺 1340-1 ※岡部小敷地内	2004	9	97.20	45	40	—	—	※指定管理
16	榛沢学童保育室	榛沢 802-1	1975	38	85.00	35	40	済	済	榛沢小校舎内
17	本郷学童保育室	針ヶ谷 506 ※本郷小敷地内	1973	40	276.00	64	60	未	未	※指定管理
18	第一岡部西学童保育室	岡 2016-1	1980	33	243.00	67	50	未	未	※指定管理
19	第二岡部西学童保育室	岡 2016-1	1980	33	182.50	47	50	未	未	※指定管理

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 児童数は、2013（H25）年4月1日時点のものです。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の学童保育室におけるトータルコストは以下のとおりで、学童保育室全体における児童一人あたりのコストの平均は165,485円で、小規模の学童保育室ほど高くなる傾向があります。

・指定管理者制度を導入している学童保育室において、光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。

《平成24年度》		第一深谷学童保育室	第二深谷学童保育室	第一桜ヶ丘学童保育室	第二桜ヶ丘学童保育室	第一幡羅学童保育室	第二幡羅学童保育室	第一常盤学童保育室
施設管理費	光熱水費	118,639	45,595	324,870	474,883	18,900	0	436,275
	修繕料	14,800	124,950	34,860	0	3,000	0	27,825
	委託料	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	43,575	0	43,575	0	43,575	0	0
合計 (a)	177,014	170,545	403,305	474,883	65,475	0	464,100	
施設運営費 (b)	292,534	278,244	296,417	316,368	325,644	304,982	284,697	
工事請負費 (c)	0	0	0	254,100	0	0	0	
人件費 (d)	8,917,207	9,270,257	8,732,282	9,125,732	11,215,727	9,100,507	9,288,332	
減価償却費 (e)	747,600	-	-	831,250	-	-	583,100	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	10,134,355	9,719,046	9,432,004	11,002,333	11,606,846	9,405,489	10,620,229	
児童数(人)	68	62	55	70	81	70	67	
児童一人あたりのコスト(円)	149,035	156,759	171,491	157,176	143,294	134,364	158,511	

※児童数は、2012(H24)年4月1日時点のものです。



《平成24年度》		第二常盤学童保育室	明戸学童保育室	大寄学童保育室	八基学童保育室	豊里学童保育室	上柴学童保育室	第一岡部学童保育室
施設管理費	光熱水費	145,155	106,016	316,548	769,422	567,300	398,085	0
	修繕料	47,775	132,800	148,050	67,200	73,500	74,928	0
	委託料	0	0	16,800	226,223	92,050	0	9,496,000
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	41,891	55,698	0	0
合計 (a)	192,930	238,816	481,398	1,104,736	788,548	473,013	9,496,000	
施設運営費 (b)	222,019	281,268	230,355	206,774	273,471	282,176	32,800	
工事請負費 (c)	0	0	0	0	0	0	0	
人件費 (d)	6,644,782	7,926,682	6,899,682	6,973,882	8,399,032	9,030,632	0	
減価償却費 (e)	-	-	538,467	882,000	595,000	549,400	227,812	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	7,059,731	8,446,766	8,149,902	9,167,392	10,056,051	10,335,221	9,756,612	
児童数(人)	45	61	44	42	57	69	38	
児童一人あたりのコスト(円)	156,883	138,472	185,225	218,271	176,422	149,786	256,753	

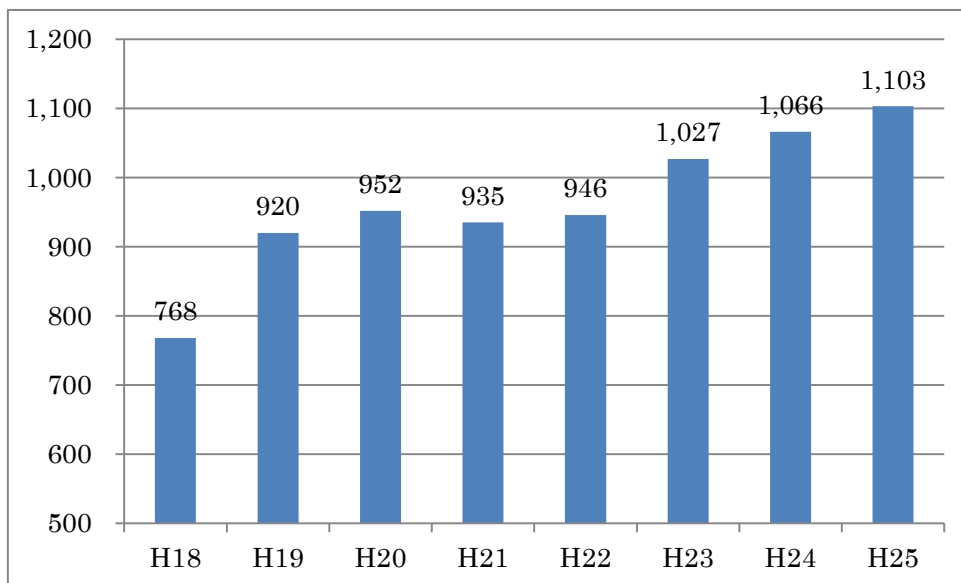
《平成24年度》		第二岡部学童保育室	榛沢学童保育室	本郷学童保育室	第一岡部西学童保育室	第二岡部西学童保育室
施設管理費	光熱水費	0	123,534	0	0	0
	修繕料	0	23,100	0	0	0
	委託料	7,000,000	505,355	8,856,600	6,553,700	8,055,300
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	0	0
合計 (a)	7,000,000	651,989	8,856,600	6,553,700	8,055,300	
施設運営費 (b)	40,000	199,986	52,800	50,400	38,400	
工事請負費 (c)	0	70,350	0	0	0	
人件費 (d)	0	6,968,432	0	0	0	
減価償却費 (e)	202,022	-	216,500	515,280	388,720	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	7,242,022	7,890,757	9,125,900	7,119,380	8,482,420	
児童数(人)	39	37	51	56	44	
児童一人あたりのコスト(円)	185,693	213,264	178,939	127,132	192,782	

※児童数は、2012（H24）年4月1日時点のものです。

## ■ 利用状況

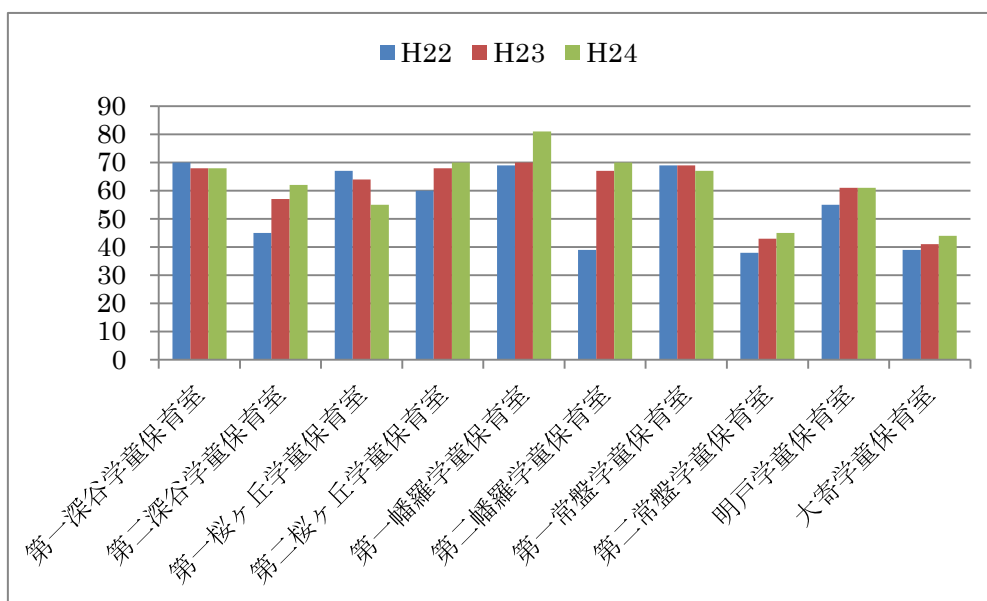
・児童数は、平成18年度の768人から平成25年度の1,103人へと、335人増加しています。今後も少子化による児童数の減少は続きますが、核家族化や女性の社会進出の拡大等に伴い、学童保育室への入室児童数は増加傾向が続くものと考えられます。

### 【児童数の推移（人）】

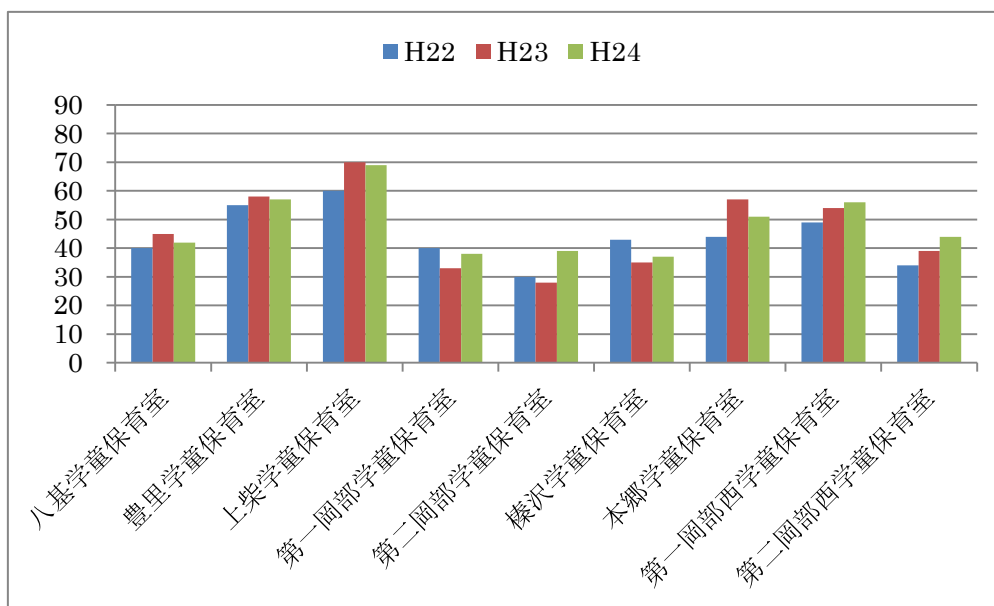


※児童数は、各年4月1日時点

### 【学童保育室別児童数（人）】



※児童数は、各年4月1日時点



※児童数は、各年4月1日時点

## 7 学校教育系施設

### 7-1 幼稚園

#### ■ 施設の概要

・幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として12園が設置されています。

・12園中、8園が築30年以上経過し、その内、築40年以上の施設が4園あるなど、耐震性に懸念があり、施設の老朽化がかなり進行しています。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	園児数 (人)	学級数 (室)	耐震 診断	耐震 改修
1	深谷幼稚園	仲町 19-2	1986	27	542	51	2	—	—
2	深谷西幼稚園	栄町 14-19	1993	20	492	52	2	—	—
3	桜ヶ丘幼稚園	上野台 508	2001	12	676	52	2	—	—
4	藤沢幼稚園	人見 1625	1971	42	350	56	3	済	未
5	上柴西幼稚園	上柴町西 5-18-5	1979	34	644	86	3	済	済
6	幡羅幼稚園	東方町 3-25-3	1975	38	286	35	2	済	未
7	常盤幼稚園	常盤町 69-1	1974	39	491	40	2	済	未
8	明戸幼稚園	蓮沼 413	1972	41	285	15	2	済	未
9	大寄幼稚園	内ヶ島 659	1967	46	204	11	1	未	未
10	豊里幼稚園	下手計 380-1	1978	35	451	18	2	済	未
11	おかべ幼稚園	山河 1382	2005	8	507	73	3	—	—
12	花園幼稚園	小前田 1503	1970	43	786	86	4	済	未

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 園児数、学級数は、2013（H25）年5月1日時点のものです。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

- ・平成24年度の幼稚園におけるトータルコストは以下のとおりです。幼稚園全体における園児一人あたりのコスト平均は359,160円で、小規模の幼稚園ほど高くなる傾向があります。
- ・平成24年度の園児一人あたりのコストについて、豊里幼稚園の1,020,045円が最も金額が大きく、花園幼稚園の196,799円が最も低い金額となっており、その差は5倍以上となっています。

《平成24年度》		深谷幼稚園	深谷西幼稚園	桜ヶ丘幼稚園	藤沢幼稚園	上柴西幼稚園	幡羅幼稚園	常盤幼稚園
施設管理費	光熱水費	487,923	633,200	970,108	176,564	570,095	381,052	518,260
	修繕料	135,271	177,350	174,531	1,229,920	218,610	194,670	388,001
	委託料	23,100	23,100	149,394	130,725	23,100	23,100	23,100
	賃借料(地代)	0	0	0	0	1,320,000	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	0	0	0	0
合計(a)	646,294	833,650	1,294,033	1,537,209	2,131,805	598,822	929,361	
施設運営費(b)	6,746	6,746	6,746	6,746	6,746	6,746	6,746	6,746
工事請負費(c)	787,500	799,953	0	547,995	728,700	0	447,615	
人件費(d)	24,432,909	16,797,625	24,432,909	16,797,625	16,797,625	16,797,625	9,162,341	
減価償却費(e)	1,448,333	2,690,500	3,598,000	467,000	1,263,833	419,667	802,000	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	27,321,782	21,128,474	29,331,688	19,356,575	20,928,709	17,822,859	11,348,063	
園児数(人)	52	56	64	61	101	41	51	
園児一人あたりのコスト(円)	525,419	377,294	458,308	317,321	207,215	434,704	222,511	

※園児数は、2012(H24)年5月1日時点のものです。

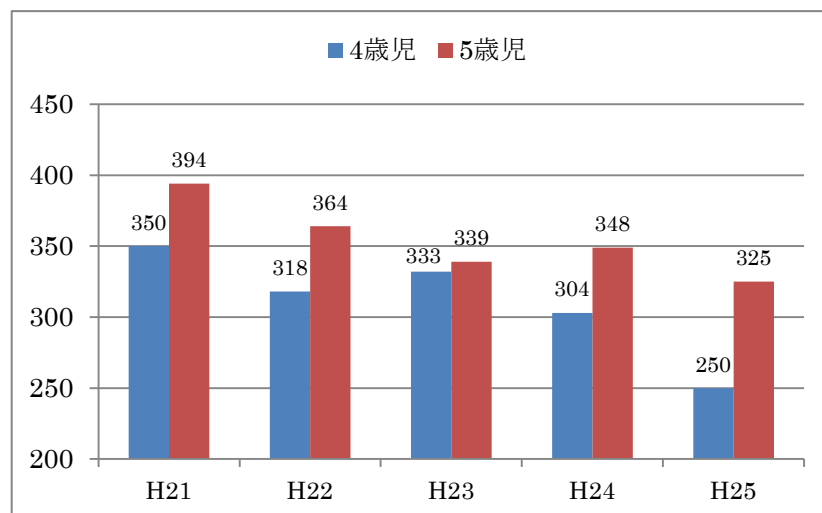
《平成24年度》		明戸幼稚園	大寄幼稚園	豊里幼稚園	おかべ幼稚園	花園幼稚園
施設管理費	光熱水費	251,309	226,991	310,063	1,152,807	1,176,896
	修繕料	179,844	690,774	306,564	161,415	493,565
	委託料	130,725	130,725	130,725	151,326	39,900
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	0	0
合計 (a)	561,878	1,048,490	747,352	1,465,548	1,710,361	
施設運営費 (b)	6,746	6,746	6,746	6,746	6,746	
工事請負費 (c)	84,000	39,072	595,392	0	518,070	
人件費 (d)	16,797,625	9,162,341	9,162,341	24,432,909	16,797,625	
減価償却費 (e)	370,667	276,000	708,667	987,833	1,434,333	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	17,820,915	10,532,649	11,220,497	26,893,036	20,467,135	
園児数(人)	23	18	11	70	104	
園児一人あたりのコスト(円)	774,822	585,147	1,020,045	384,186	196,799	

※園児数は、2012（H24）年5月1日時点のものです。

## ■ 利用状況

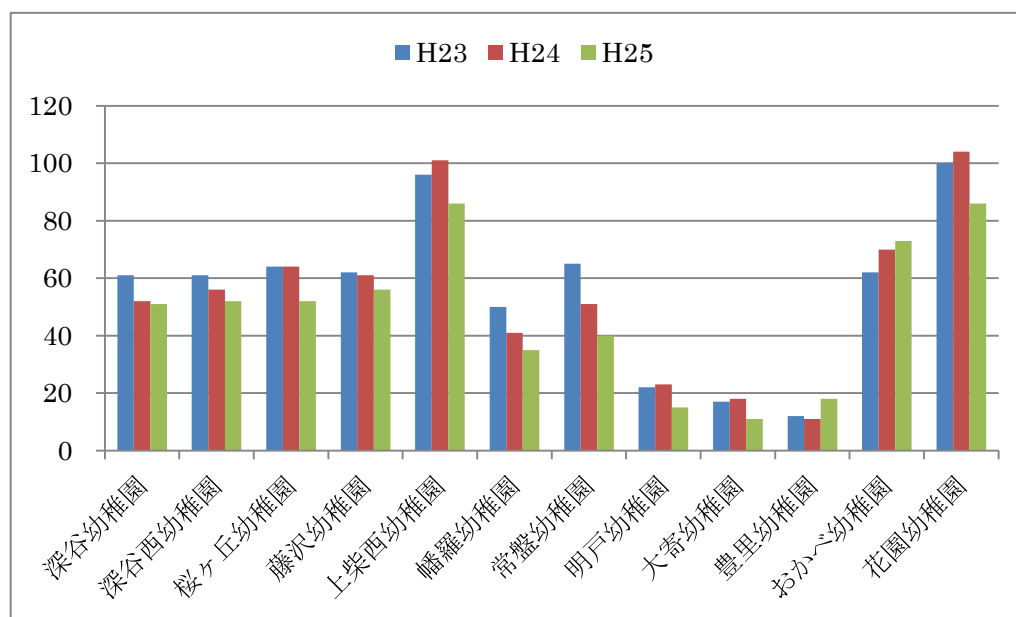
- ・園児数は、平成21年度の744人から平成25年度の575人へと、169人減少しています。今後も少子化による減少傾向が続くものと考えられます。
- ・幼稚園別園児数について、一番多い園と一番少ない園とを比較すると、およそ70～90人の差があり、園児数にばらつきがあります。

## 【園児数の推移（人）】



※園児数は、各年5月1日時点

## 【園別園児数（人）】



※園児数は、各年5月1日時点



## 7-2 小学校

## ■ 施設の概要

- ・小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として、19校が設置されています。
- ・すべての小学校において、耐震化の対応が行われていますが（耐震化率 100%）、今後は老朽化が進む校舎等の改修や長寿命化対策を検討する必要があります。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (m)※3	児童数 (人)	学級数 (室)	耐震 診断	耐震 改修
1	深谷小学校	仲町 19-1	1968	45	6,340	591	20	済	済
2	深谷西小学校	栄町 14-18	1975	38	6,150	599	21	済	済
3	桜ヶ丘小学校	上野台 508	1971	42	7,360	617	22	済	不要
4	藤沢小学校	人見 1626	1972	41	5,930	633	21	済	不要
5	上柴東小学校	上柴町東 5-9-1	1984	29	5,432	555	20	—	—
6	上柴西小学校	上柴町西 5-11-1	1978	35	6,448	674	23	済	済
7	幡羅小学校	東方町 3-25-1	1972	41	6,154	564	20	済	済
8	常盤小学校	常盤町 58-2	1971	42	6,838	602	20	済	済
9	明戸小学校	蓮沼 413	1969	44	4,689	216	10	済	済
10	大寄小学校	内ヶ島 660	1970	43	4,074	180	8	済	済
11	八基小学校	下手計 1300	1987	26	4,132	186	8	—	—
12	豊里小学校	新戒 635	1984	29	3,965	219	10	—	—
13	岡部小学校	普濟寺 1305	1971	42	4,684	332	14	済	済
14	榛沢小学校	榛沢 802-1	1975	38	3,501	176	8	済	済
15	本郷小学校	針谷 506	1981	32	3,839	263	12	済	済
16	岡部西小学校	岡 2949	1977	36	3,573	278	13	済	済
17	川本北小学校	長在家 143	1973	40	5,949	482	18	済	済
18	川本南小学校	本田 4888	1981	32	4,795	221	11	済	済
19	花園小学校	小前田 1463-1	1974	39	6,552	709	22	済	済

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※3 延床面積は、体育館、給食棟等を含みます。

※ 児童数、学級数は、2013（H25）年5月1日時点のものです。

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の小学校におけるトータルコスト（県費負担職員の人件費は除く）は以下のとおりで、小学校全体における児童一人あたりのコストの平均は129,258円で、小規模の学校ほど高くなる傾向があります。

・平成24年度において、全校にエアコンを設置したため、工事請負費が例年よりその分増額となっています。

《平成24年度》		深谷小学校	深谷西小学校	桜ヶ丘小学校	藤沢小学校	上柴東小学校	上柴西小学校	幡羅小学校
施設管理費	光熱水費	7,599,169	9,123,853	11,154,846	8,699,212	7,216,072	8,636,691	12,659,207
	修繕料	737,520	1,089,411	1,268,857	1,870,960	1,372,389	997,395	1,128,466
	委託料	311,079	311,013	311,013	1,065,963	311,013	311,013	311,013
	賃借料（地代）	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料（その他）	0	0	0	0	0	0	0
合計（a）	8,647,768	10,524,277	12,734,716	11,636,135	8,899,474	9,945,099	14,098,686	
施設運営費（b）	2,824	2,823	342,393	42,073	2,823	2,823	43,353	
工事請負費（c）	41,191,500	41,641,015	52,126,901	63,350,700	39,738,607	46,010,475	26,715,150	
人件費（d）	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	
減価償却費（e）	13,609,667	20,876,333	19,416,000	18,888,000	12,349,667	23,968,833	22,570,167	
トータルコスト （a）+（b）+（c）+（d）+（e）	66,775,816	76,368,505	87,944,067	97,240,965	64,314,628	83,251,287	66,751,413	
児童数（人）	582	637	666	608	544	699	564	
児童一人あたりのコスト（円）	114,735	119,888	132,048	159,936	118,225	119,101	118,354	

※県費負担職員の人件費は含まれていません。

※児童数は、2012（H24）年5月1日時点のものです。

《平成24年度》		常盤小学校	明戸小学校	大寄小学校	八基小学校	豊里小学校	岡部小学校	榛沢小学校
施設管理費	光熱水費	10,313,574	5,607,442	4,762,418	3,782,391	6,997,825	3,253,138	2,496,896
	修繕料	1,670,224	464,236	2,063,004	713,685	557,460	661,735	536,760
	委託料	729,963	729,963	729,963	729,963	929,463	789,963	789,963
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	0	0	0	0
合計(a)	12,713,761	6,801,641	7,555,385	5,226,039	8,484,748	4,704,836	3,823,619	
施設運営費(b)	2,823	2,823	40,623	58,767	74,013	9,963	9,963	
工事請負費(c)	41,568,450	13,142,195	11,967,375	14,764,050	15,904,791	20,349,000	14,115,150	
人件費(d)	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	
減価償却費(e)	19,847,333	14,121,000	11,551,000	12,805,000	10,483,000	13,435,667	5,581,667	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	77,456,424	37,391,716	34,438,440	36,177,913	38,270,609	41,823,523	26,854,456	
児童数(人)	629	218	175	189	225	328	163	
児童一人あたりのコスト(円)	123,142	171,522	196,791	191,418	170,092	127,511	164,751	

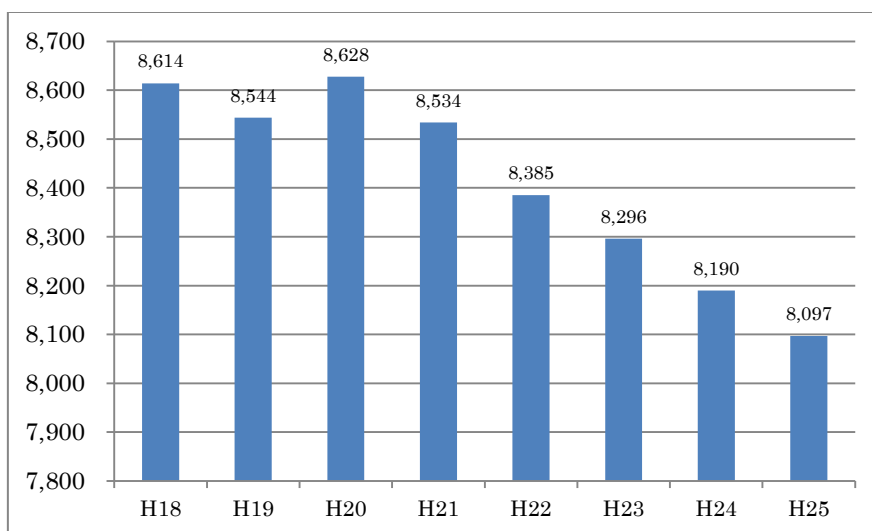
《平成24年度》		本郷小学校	岡部西小学校	川本北小学校	川本南小学校	花園小学校
施設管理費	光熱水費	3,158,665	4,133,749	8,214,566	4,564,917	6,651,955
	修繕料	642,705	1,377,160	1,369,053	549,024	581,950
	委託料	789,963	789,963	371,013	371,013	343,597
	賃借料(地代)	0	0	0	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0	0	0
合計(a)	4,591,333	6,300,872	9,954,632	5,484,954	7,577,502	
施設運営費(b)	2,823	2,823	4,200	2,823	2,823	
工事請負費(c)	23,688,000	15,007,650	20,701,275	20,983,462	32,737,530	
人件費(d)	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	
減価償却費(e)	9,496,333	5,585,333	12,117,000	12,882,167	19,819,333	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	41,102,546	30,220,735	46,101,164	42,677,463	63,461,245	
児童数(人)	268	293	477	220	705	
児童一人あたりのコスト(円)	153,368	103,142	96,648	193,988	90,016	

※県費負担職員の人件費は含まれていません。  
 ※児童数は、2012(H24)年5月1日時点のものです。

## ■ 利用状況

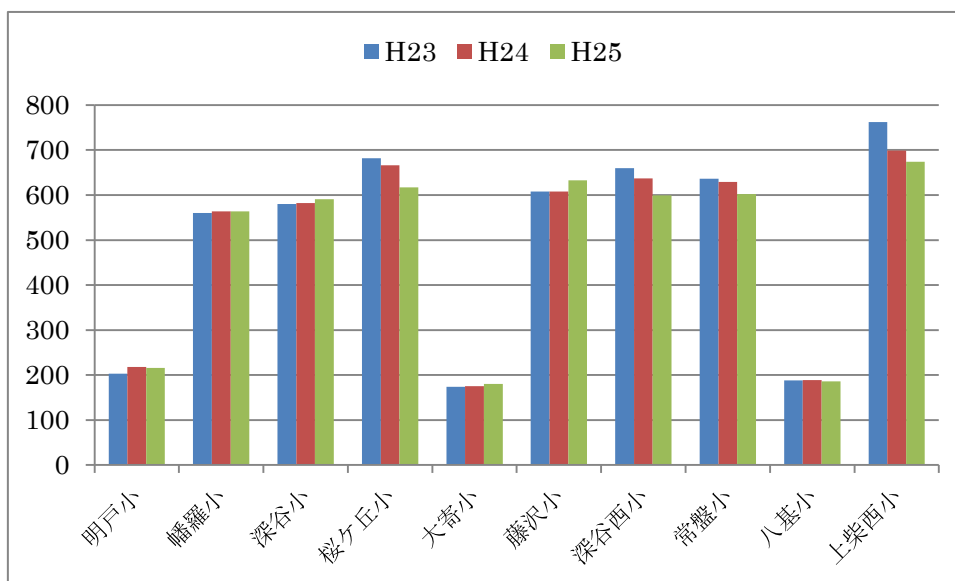
- ・児童数は、平成18年度の8,614人から平成25年度の8,097人へと、517人減少しています。今後も少子化による減少傾向が続くものと考えられます。
- ・学校別に児童数を見てみると、一番多い学校と一番少ない学校との差が500人以上となっており、児童数にばらつきがあります。

### 【児童数の推移（人）】

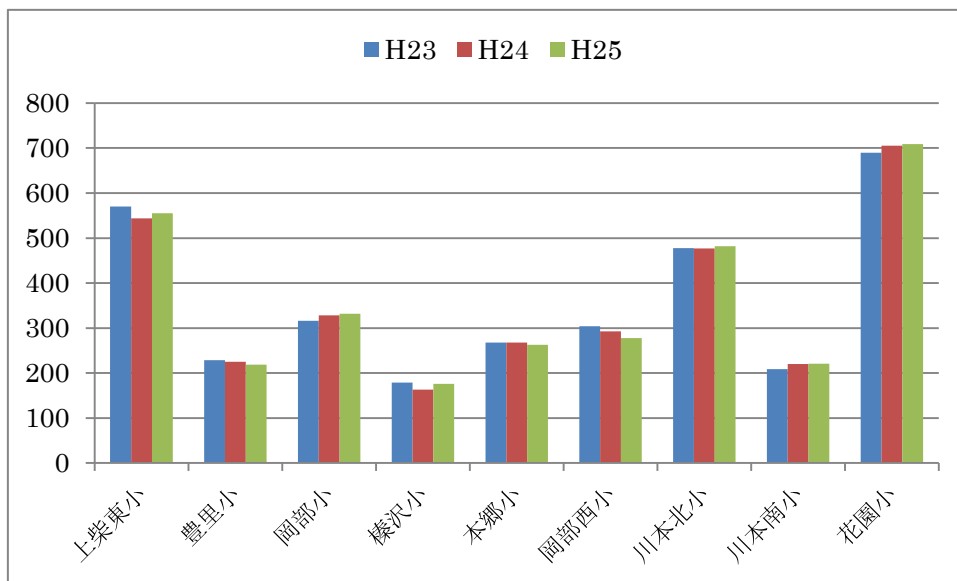


※児童数は、各年5月1日時点

### 【学校別児童数（人）】



※児童数は、各年5月1日時点



※児童数は、各年5月1日時点

## 7-3 中学校

## ■ 施設の概要

- ・中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的として、10校が設置されています。
- ・すべての中学校において、耐震化の対応が行われていますが（耐震化率 100%）、今後は老朽化が進む校舎等の改修や長寿命化対策を検討する必要があります。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (m)※3	生徒数 (人)	学級数 (室)	耐震 診断	耐震 改修
1	深谷中学校	田谷 45-2	1978	35	8,979	522	17	済	済
2	南中学校	萱場 320	1982	31	7,413	549	17	—	—
3	藤沢中学校	人見 1973	1981	32	5,885	260	10	済	済
4	上柴中学校	上柴町西 2-23-1	1983	30	8,538	642	19	—	—
5	幡羅中学校	常盤町 38	1966	47	8,022	616	19	済	済
6	明戸中学校	新井 18	1985	28	4,826	90	4	—	—
7	豊里中学校	下手計 525	1990	23	6,677	213	7	—	—
8	岡部中学校	山河 1214	1966	47	8,418	499	16	済	済
9	川本中学校	田中 530	1975	38	7,099	355	13	済	済
10	花園中学校	小前田 1980	1981	32	7,460	354	13	済	済

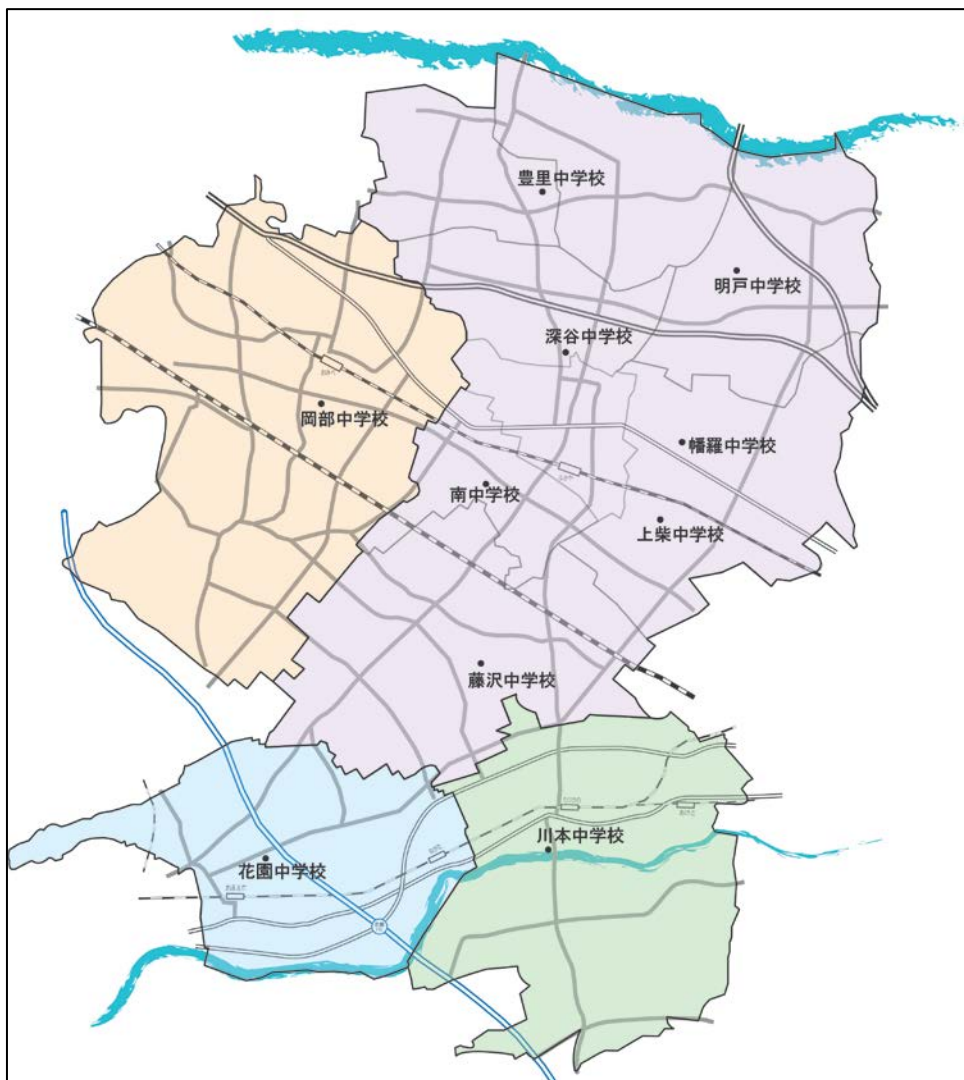
※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※3 延床面積は、体育館、給食棟等を含みます。

※ 生徒数、学級数は、2013（H25）年5月1日時点のものです。

## ■ 配置状況





## ■ コスト状況

・平成24年度の中学校におけるトータルコスト（県費負担職員の人件費は除く）は以下のとおりで、中学校全体における生徒一人あたりのコストの平均は129,050円で、小学校と同様、小規模の学校ほど高くなる傾向があります。

・平成24年度において、小学校と同様に全校にエアコンを設置したため、工事請負費が例年よりその分増額となっています。

《平成24年度》		深谷中学校	南中学校	藤沢中学校	上柴中学校	幡羅中学校	明戸中学校	豊里中学校
施設管理費	光熱水費	12,872,016	8,083,589	6,822,455	10,101,344	9,779,555	6,077,359	6,828,719
	修繕料	1,504,273	950,628	703,265	1,098,022	453,526	965,055	910,164
	委託料	694,143	1,408,134	851,634	319,134	361,134	694,134	1,128,834
	賃借料（地代）	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料（その他）	0	0	0	0	0	0	0
合計（a）	15,070,432	10,442,351	8,377,354	11,518,500	10,594,215	7,736,548	8,867,717	
施設運営費（b）	6,090	0	28,350	0	26,670	0	60,165	
工事請負費（c）	26,820,741	25,312,266	14,805,641	27,379,141	30,800,116	10,074,347	8,962,401	
人件費（d）	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	3,324,057	
減価償却費（e）	31,243,833	30,399,167	22,523,500	21,407,667	26,598,167	14,596,500	25,885,833	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	76,465,153	69,477,841	49,058,902	63,629,365	71,343,225	35,731,452	47,100,173	
生徒数（人）	529	558	250	667	627	95	231	
生徒一人あたりのコスト（円）	144,547	124,512	196,236	95,396	113,785	376,121	203,897	

※県費負担職員の人件費は含まれていません。

※生徒数は、2012（H24）年5月1日時点のものです。

《平成24年度》		岡部中学校	川本中学校	花園中学校
施設管理費	光熱水費	5,227,223	9,088,582	5,467,059
	修繕料	1,101,548	168,925	802,762
	委託料	807,884	658,634	2,243,234
	賃借料(地代)	0	0	0
	賃借料(その他)	0	0	0
合計 (a)	7,136,655	9,916,141	8,513,055	
施設運営費 (b)	28,560	0	0	
工事請負費 (c)	18,466,716	14,740,211	19,620,950	
人件費 (d)	3,324,057	3,324,057	3,324,057	
減価償却費 (e)	8,041,500	13,697,333	14,425,500	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)	36,997,488	41,677,742	45,883,562	
生徒数(人)	502	359	346	
生徒一人あたりのコスト(円)	73,700	116,094	132,611	

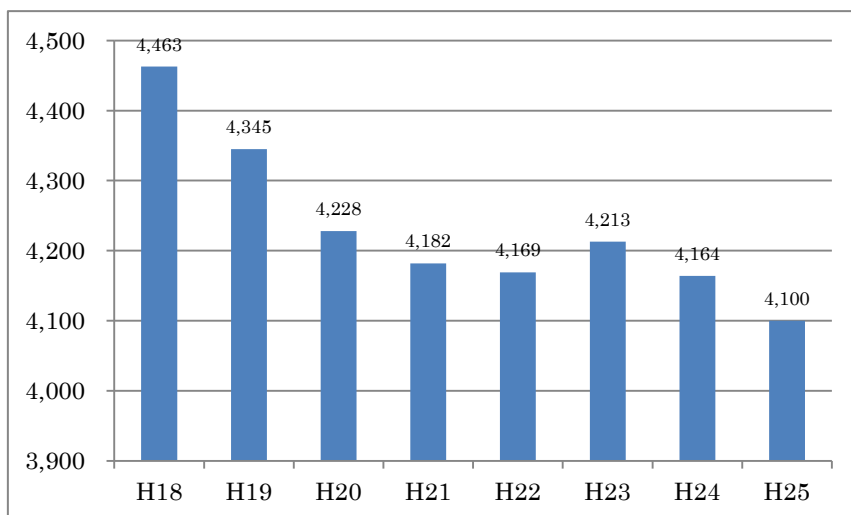
※県費負担職員の人件費は含まれていません。

※生徒数は、2012(H24)年5月1日時点のものです。

## ■ 利用状況

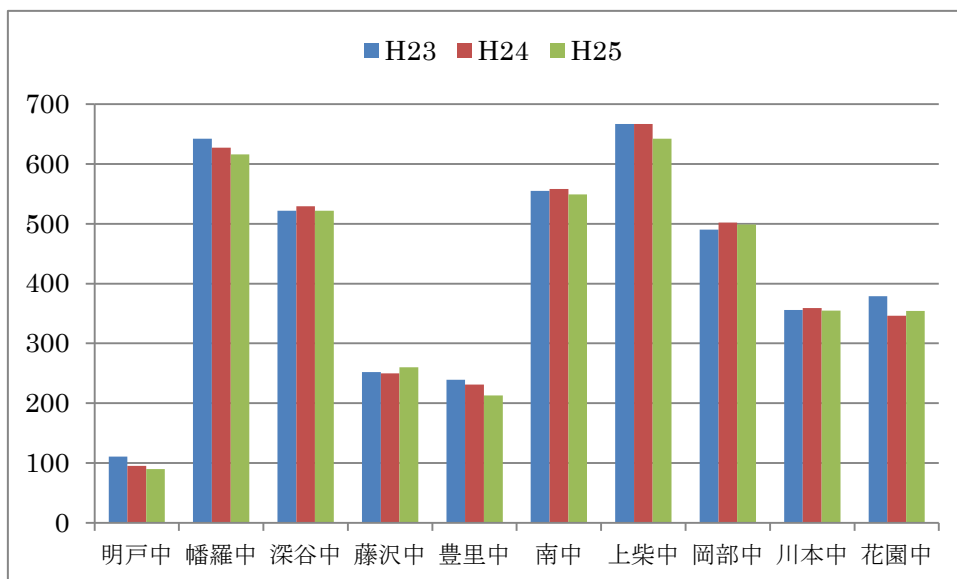
- ・生徒数は、平成18年度の4,463人から平成25年度の4,100人へと、363人減少しています。今後も少子化による減少傾向が続くものと考えられます。
- ・学校別に生徒数を見てみると、一番多い学校と一番少ない学校との差が550人以上となっており、生徒数にばらつきがあります。

### 【生徒数の推移(人)】



※生徒数は、各年5月1日時点

## 【学校別児童数（人）】



※生徒数は、各年5月1日時点

## 7-4 教育研究所

### ■ 施設の概要

・教育に関する専門的、技術的事項の調査研究や研修の実施、教育相談の実施、適応指導教室（いきいき教室）・通級指導教室の開設など、市の教育充実と振興を図ることを目的として、1施設が設置されています。

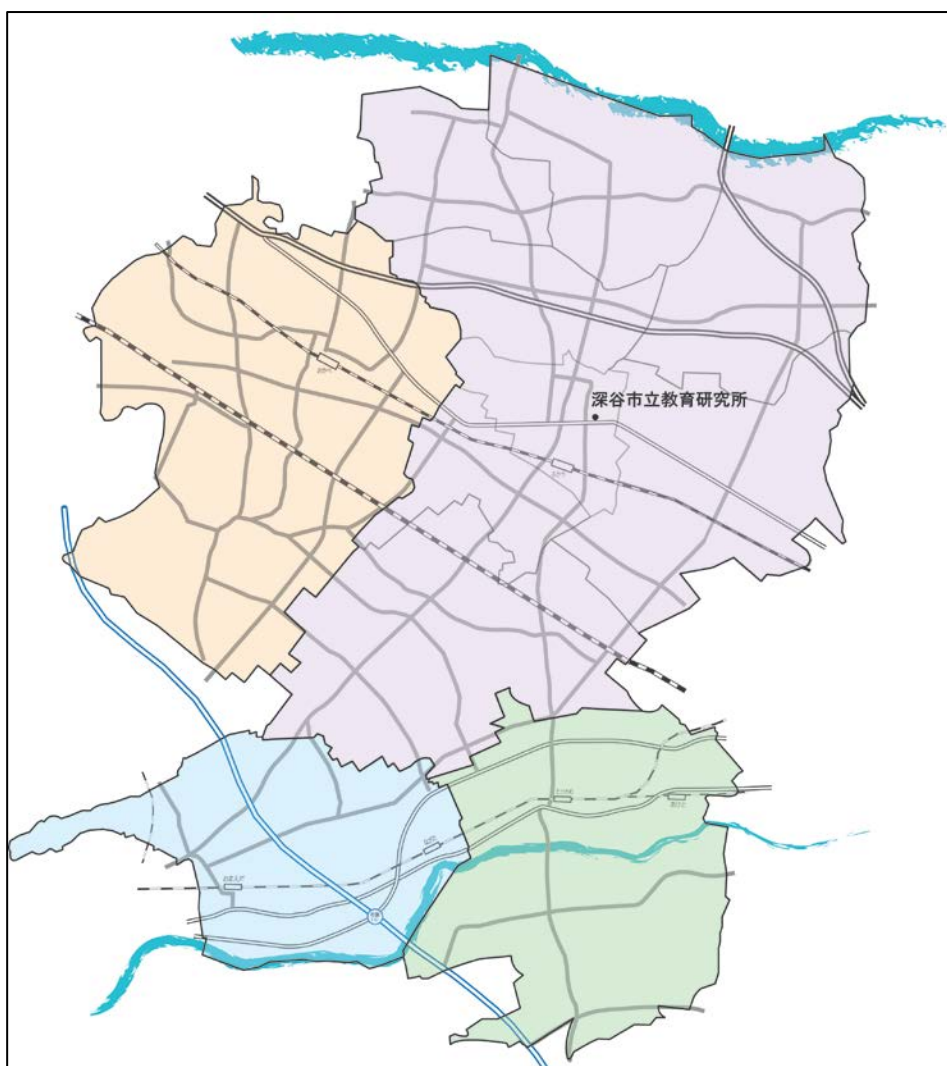
・深谷市立教育研究所は、「深谷市ボランティア交流センター」を併設する複合施設内に設置されています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深谷市立教育研究所	本住町 12-8	2009	4	1364.59	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

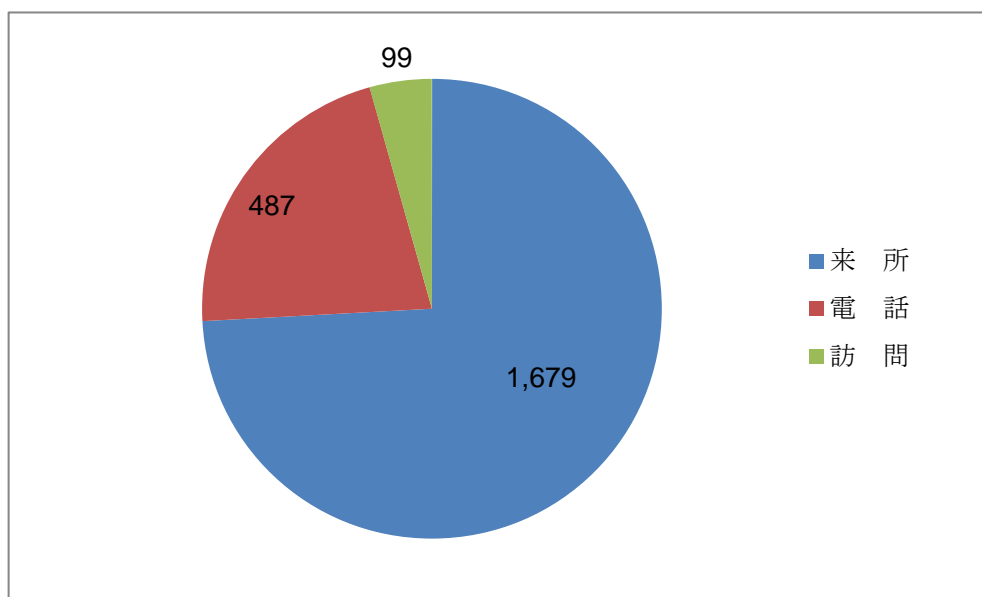
・深谷市立教育研究所における平成24年度の職員人件費、減価償却費を含めたトータルコストは、約6千万円となっています。

《平成24年度》		深谷市立教育研究所
施設管理費	光熱水費	1,535,161
	修繕料	130,693
	委託料	2,800,071
	賃借料(地代)	0
	賃借料(その他)	630,561
合 計 (a)		5,096,486
施設運営費 (b)		993,925
工事請負費 (c)		0
人 件 費 (d)		48,591,037
減価償却費 (e)		5,768,672
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		60,450,120
収 入 (使用料等)【参考】		3,200

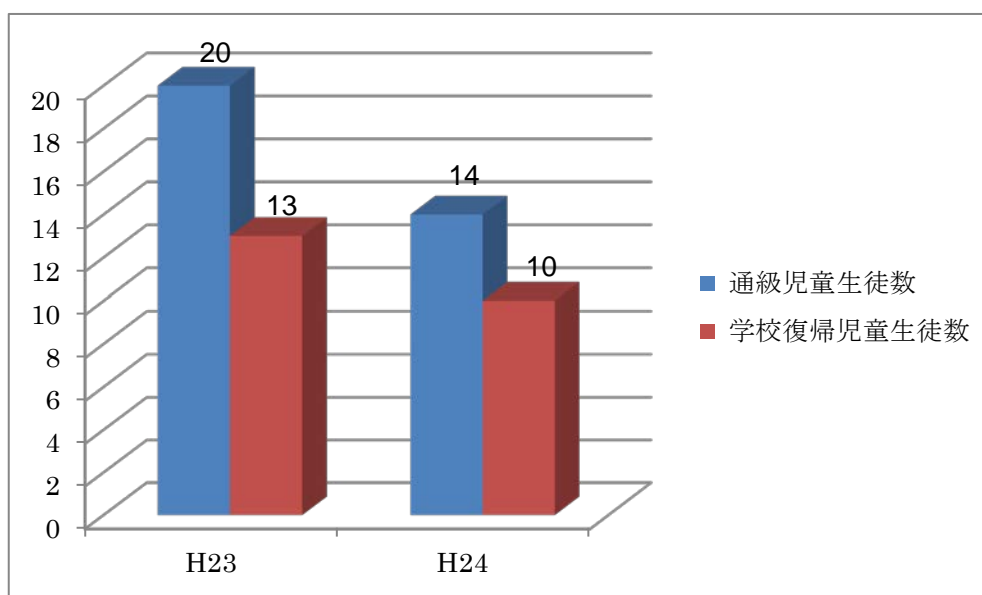
## ■ 利用状況

- ・平成 24 年度における相談件数については、来所による相談が最も多く、全体の 7 割以上を占めています。
- ・いきいき教室における通級児童生徒数については以下のとおりで、学校復帰率（学校復帰児童生徒数を通級児童生徒数で割ったもの）は、H23 年度は 65.0%、H24 年度は 71.4%となっています。

【相談件数（件）】 ※平成 24 年度



【いきいき教室児童生徒数（人）】



## 7-5 学校給食センター

### ■ 施設の概要

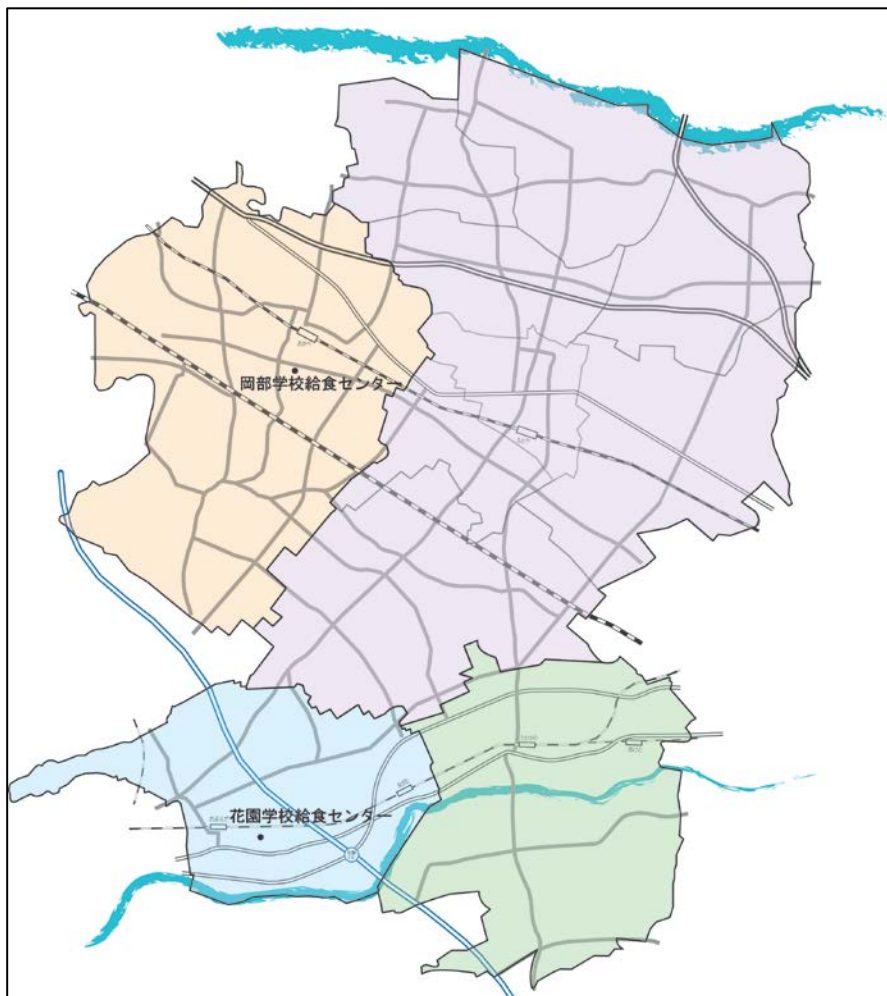
- ・学校給食センターは、市立の小学校及び中学校の学校給食に係る調理業務等処理するため、2施設が設置されています。
- ・今後は、市内の小中学校すべて自校式給食場へ順次移行していくため、岡部学校給食センターは岡部中学校の調理場として、また、花園学校給食センターは花園小学校の調理場として活用していく予定です。

No.	施設名	住所	建築年※ <sup>1</sup>	築年数※ <sup>2</sup>	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
1	岡部学校給食センター	山河 1213-2	1982	31	906.00	新耐震	新耐震
2	花園学校給食センター	小前田 1463-3	1995	18	936.00	新耐震	新耐震

※<sup>1</sup> 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※<sup>2</sup> 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の給食センターにおけるトータルコストは以下のとおりで、両施設における光熱水費、施設運営費は、ほぼ同額となっています。

《平成24年度》		岡部学校給食センター	花園学校給食センター	
施設管理費	光熱水費	8,652,916	8,747,334	
	修繕料	1,890,275	2,245,270	
	委託料	2,346,120	229,530	
	賃借料等	地代	0	0
		その他	30,189	90,342
合計 (a)		12,919,500	11,312,476	
施設運営費 (b)		19,605,870	19,068,196	
工事請負費 (c)		3,036,600	0	
人件費 (d)		926,560	840,470	
減価償却費 (e)		3,726,417	2,580,833	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		40,214,947	33,801,975	
1日当たりの配食数		1,697	1,235	
利用者一人あたりのコスト(円)		23,698	27,370	

## ■ 利用状況

・岡部学校給食センターは、岡部地区の小中学校への給食の供給をしており、配食学校数は5校、1日当たりの配食数は1,697食となっています。

・花園学校給食センターは、花園地区の小中学校及び幼稚園への給食の供給をしており、配食学校数は、2校1園、1日当たりの配食数は、1,235食となっています。



## 8 行政系施設

### 8-1 庁舎等

#### ■ 施設の概要

- ・市の行政事務の執務場所として、また市民に必要な行政サービスを提供する場所として、本庁舎1か所、別館、分室等4か所、総合支所3か所及び分室1か所が設置されています。
- ・本庁舎は、本館、北別館、西別館の3棟で構成されていますが、本館は築47年を経過し、旧耐震基準で建てられた建物です。耐震診断の結果、耐震性能もIs値<sup>(※)</sup>が0.21と低く、老朽化も進行しており、また、狭隘、分散化による非効率性が非常に高くなっています。
- ・複合施設として再整備を行った花園総合支所及び花園支所分室を除き、本庁舎を含めた庁舎等の建物のほとんどは、耐震性能が不足しているため、大規模地震発生時に、来庁者や職員の生命の安全を確保できない状況です。
- ・第二庁舎には、環境水道部の営業課及び水道工務課が配置されていますが、現在、拡張整備を行っている岡部浄水場へ事務所を移転する予定です。
- ・花園総合支所は、花園生涯学習センター・花園公民館との複合施設として整備され、平成25年12月より供用開始しました。それに伴い、花園総合支所分室は、現在倉庫として使用されています。

No.	施設名	住所	建築年 ※1	築年数 ※2	延床面積 (㎡)	耐震診断	Is値	耐震改修
1	深谷市役所 本庁舎	仲町11番1号	1966	47	6,509.3	実施済み	0.21	未実施
2	深谷市役所 南別館	仲町8番17号	1968	45	413.21	未実施	—	未実施
3	深谷市役所 第二庁舎	西島町2丁目12番地1	1956	57	1,165.59	未実施	—	未実施
4	深谷市役所 産業会館内分室	仲町20番1号	1967	46	414.72	実施済み	0.03	未実施
5	深谷市教育庁舎	本住町17番3号	1971	42	1,083.38	実施済み	0.22	未実施
6	深谷市岡部総合支所	岡2381番地1	1974	39	2,428.87	実施済み	0.39	未実施
7	深谷市川本総合支所	田中197	1974	39	2,215.32	実施済み	0.21	未実施
8	深谷市花園総合支所	小前田2345番地1	2013	0	325.80	新耐震	—	新耐震
9	深谷市花園総合支所分室	小前田2345番地	2005	8	106.95	新耐震	—	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

#### ※構造耐震指標「Is値」について

構造耐震指標「Is値」とは、柱や壁の強度を計算し、建物の強度や粘り、建物の形状、経年状況等を考慮し、建物の耐震性を判断するときの指標のことを言います。

Is値0.6以上：大規模地震（震度6強から7程度）に対して倒壊または崩壊の危険性が低い

Is値0.3未満：大規模地震（震度6強から7程度）に対して倒壊または崩壊の危険性が高い

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の各施設におけるトータルコスト及び延床面積1㎡当たりの施設管理費は以下のとおりで、ともに本庁舎が最も高い金額となっています。

《平成24年度》		本庁舎	南別館	第二庁舎	産業会館内分室	
施設管理費	光熱水費	19,970,925	1,328,910	2,186,363	0	
	修繕料	4,366,671	173,355	294,525	583,770	
	委託料	26,322,541	737,604	1,517,896	0	
	賃借料等	地代等	0	0	0	0
		その他	77,705	0	0	0
合計 (a)		50,737,842	2,239,869	3,998,784	583,770	
施設運営費 (b)		48,093,295	2,254,162	517,925	6,183,105	
工事請負費 (c)		1,255,107	0	0	0	
人件費 (d)		18,324,682	1,527,057	3,817,642	1,527,057	
減価償却費 (e)		7,000,933	1,152,667	2,925,167	524,094	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		125,411,859	7,173,754	11,259,518	8,818,026	
収入(使用料等)【参考】		1,940,007	61,701	4,205,986	0	
延床面積(㎡) (f)		6,509.3	413.21	1,165.59	414.72	
1㎡当たりの施設管理費 (a)/(f)		7,795	5,421	3,431	1,408	

※第二庁舎の「収入(使用料等)」には、水道事業からの施設使用料が含まれています。

※産業会館内分室は、施設使用料、床清掃料及び電気料として、施設管理者に対し、負担金(施設運営費)を支出しています。

《平成24年度》		教育庁舎	岡部総合支所	川本総合支所	花園総合支所分室	
施設管理費	光熱水費	3,087,155	5,216,345	3,524,819	574,000	
	修繕料	841,501	1,033,745	965,610	0	
	委託料	2,000,358	3,511,725	1,819,252	0	
	賃借料等 地代等 その他	地代等	0	0	401,101	0
		その他	14,910	67,074	22,365	0
合計 (a)		5,943,924	9,828,889	6,733,147	574,000	
施設運営費 (b)		2,890,854	1,152,741	482,513	0	
工事請負費 (c)		0	718,350	0	0	
人件費 (d)		3,054,114	7,253,520	4,307,156	1,527,057	
減価償却費 (e)		3,859,833	3,758,217	6,000,000	204,667	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		15,748,725	22,711,717	17,522,816	2,305,723	
収入(使用料等)【参考】		501,920	187,963	176,770	0	
延床面積(m <sup>2</sup> ) (f)		1,083.38	2,428.87	2,215.32	106.95	
1 m <sup>2</sup> 当たりの施設管理費 (a) / (f)		5,486	4,047	3,039	5,367	

※花園総合支所について、平成24年度のデータは旧施設のものとなるため省略します。

## 8-2 消防施設

### ■ 施設の概要

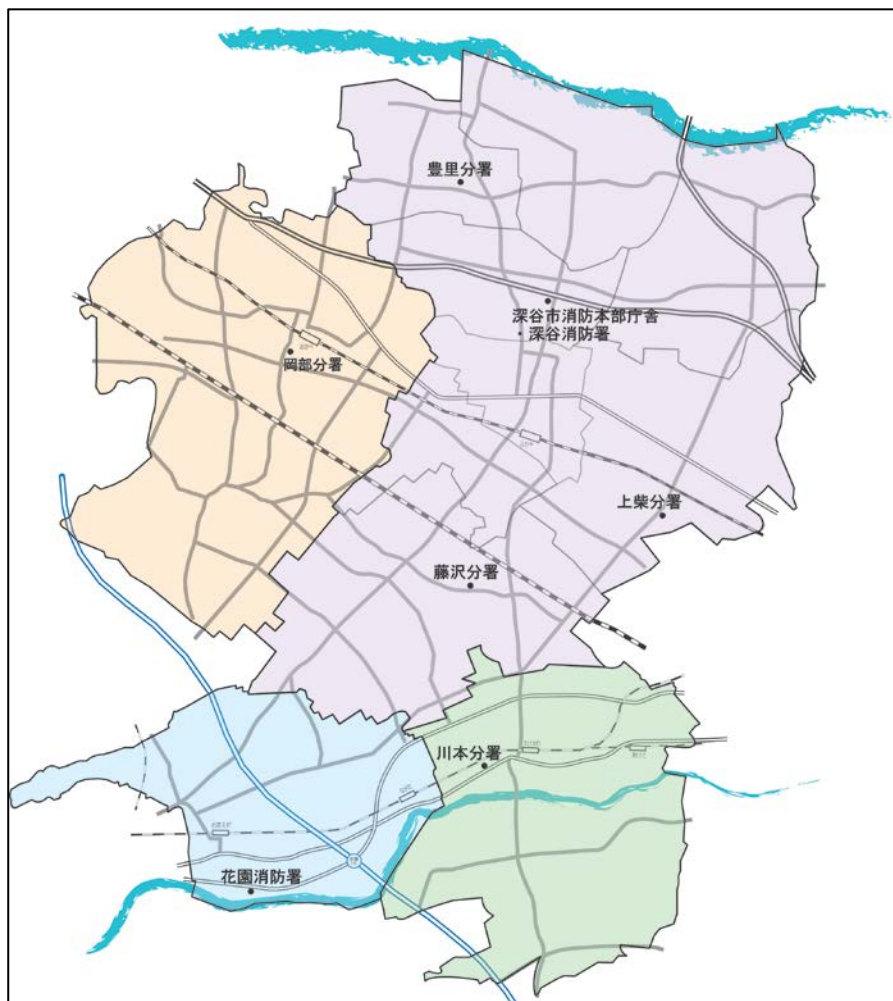
- ・消防施設は、火災、救急、救助等の災害時に出動し、市民の生命、身体及び財産を守ることを目的として、1本部、2署、5分署が設置されています。
- ・深谷消防署は、消防本部庁舎内に併設されています。
- ・5つの分署の内、4つが築40年以上経過し、施設の老朽化が進行しているとともに、耐震性にも懸念があります。

No.	施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	深谷市消防本部	上敷免 858	2004	9	3,411.52	新耐震	新耐震
2	深谷市深谷消防署 ※消防本部庁舎内	上敷免 858	2004	9	1,305.80	新耐震	新耐震
3	深谷市花園消防署	小前田 537	1988	25	2,347.53	新耐震	新耐震
4	深谷市深谷消防署 藤沢分署	人見 986	1972	41	276.23	未実施	未実施
5	深谷市深谷消防署 豊里分署	下手計 176-1	1972	41	298.31	未実施	未実施
6	深谷市深谷消防署 岡部分署	岡 2394-1	1971	42	357.92	未実施	未実施
7	深谷市深谷消防署 上柴分署	上柴町東 3-1-20	1989	24	357.70	新耐震	新耐震
8	深谷市花園消防署 川本分署	田中 873-9	1970	43	280.80	未実施	未実施

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

■ 配置状況



## ■ コスト状況

- ・平成 24 年度の各消防施設におけるトータルコスト及び延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりの施設管理費は以下のとおりで、延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりの施設管理費は、消防本部の 5,733 円が最も高く、花園消防署の 1,113 円が最も低い金額で、その差は 5 倍以上となっています。
- ・消防施設のトータルコストは、消防本部を除くと、9 割以上を人件費が占めています。
- ・分署（5 施設）におけるトータルコストは、概ね 1.3 億円前後となっています。

《平成 24 年度》		消防本部	深谷消防署	花園消防署	
施設管理費	光熱水費	11,598,927	0	2,612,704	
	修繕料	4,175,969	0	0	
	委託料	3,780,235	0	0	
	賃借料等	地代	3,082	0	0
		その他	0	0	0
合計 (a)		19,558,213	0	2,612,704	
施設運営費 (b)		7,728,110	0	188,137	
工事請負費 (c)		2,721,463	0	0	
人件費 (d)		260,176,732	335,952,496	335,952,496	
減価償却費 (e)		33,504,100	0	7,311,667	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		323,688,618	335,952,496	346,065,004	
収入（使用料等）【参考】		799,633	0	0	
延床面積(m <sup>2</sup> ) (f)		3,411.52	1,305.80	2,347.53	
1 m <sup>2</sup> 当たりの施設管理費 (a) / (f)		5,733	—	1,113	

※深谷消防署における光熱水費等の施設管理費については、消防本部庁舎内に併設されているため、消防本部で一括して支出しています。

《平成24年度》		藤沢分署	豊里分署	岡部分署	上柴分署	川本分署	
施設管理費	光熱水費	1,143,156	1,161,459	1,193,200	1,184,537	893,563	
	修繕料	0	0	0	0	0	
	委託料	0	0	0	0	0	
	賃借料等	地代	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
合計 (a)		1,143,156	1,161,459	1,193,200	1,184,537	893,563	
施設運営費 (b)		67,021	53,084	103,482	103,826	103,482	
工事請負費 (c)		0	0	0	0	0	
人件費 (d)		129,799,828	129,799,828	129,799,828	129,799,828	129,799,828	
減価償却費 (e)		271,333	287,333	320,550	1,233,583	160,000	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		131,281,338	131,301,704	131,417,060	132,321,774	130,956,873	
収入(使用料等)【参考】		0	0	0	0	0	
延床面積(m <sup>2</sup> ) (f)		276.23	298.31	357.92	357.70	280.80	
1㎡当たりの施設管理費 (a)/(f)		4,138	3,893	3,334	3,312	3,182	



## 9 市営住宅

### ■ 施設の概要

- ・市営住宅は、公営住宅法（昭和 26 年法律第 193 号）に基づき、住宅に困窮している一定基準以下の所得の方に低廉な家賃で賃貸することを目的として 11 施設、569 戸が設置されています。
- ・平成 25 年度より、公営住宅法に基づく管理代行（市営住宅業務の外部委託）を導入し、埼玉県住宅供給公社が当該業務を行っています。
- ・平成 22 年度に「深谷市営住宅長寿命化計画」を策定し、定期点検や計画的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施することにより、建物の長寿命化を図っています。
- ・すでに耐用年限（木造 30 年）を経過している原郷住宅、天神町住宅、薬師堂住宅、桃園住宅、見晴町住宅、錦町住宅の 6 施設については、新たな入居募集は行っておらず、現在の入居者が退去次第、用途廃止（市営住宅としての機能廃止）していく予定です。

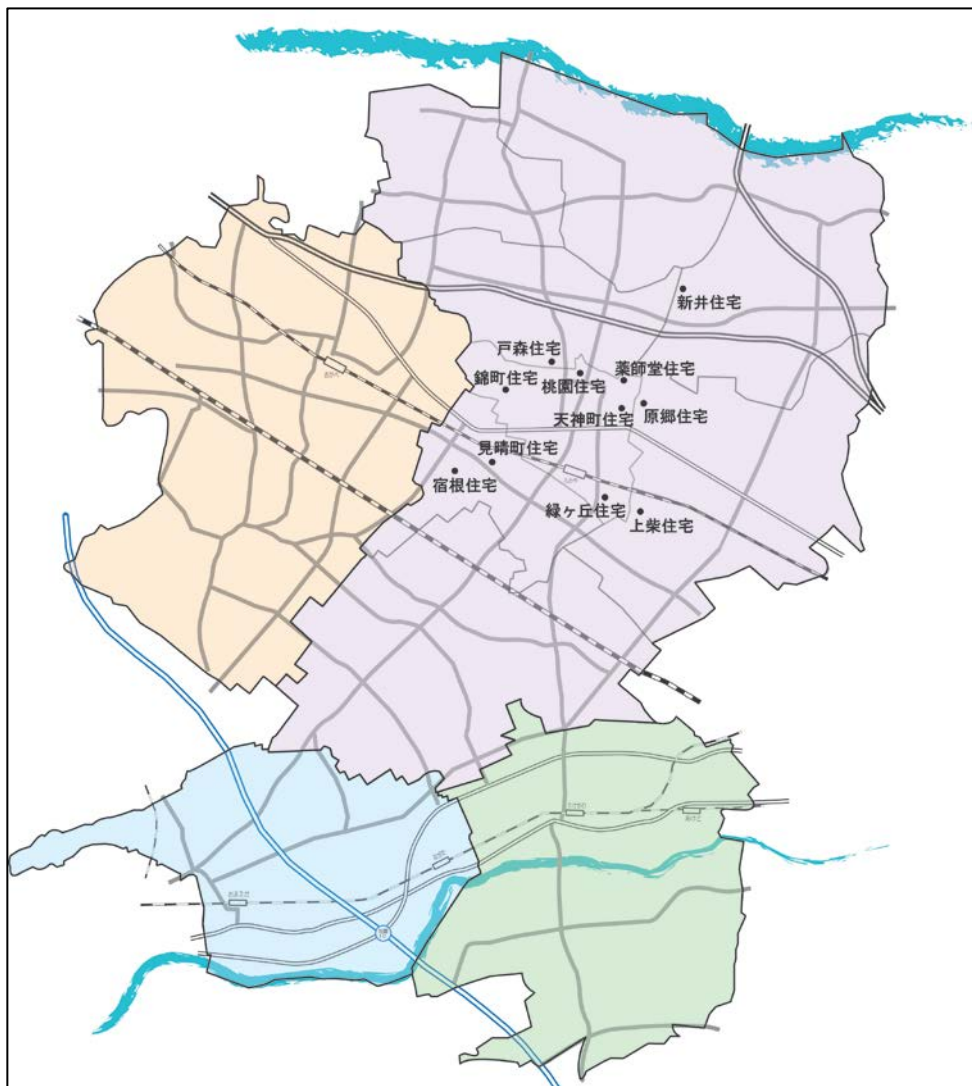
No.	施設名	棟・戸数	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
1	原郷住宅	6 棟・11 戸	原郷 305 番地	1951	62	364.00	未実施	未実施
2	天神町住宅	1 棟・1 戸	天神町 10 番 21 号	1952	61	34.60	未実施	未実施
3	薬師堂住宅	3 棟・14 戸	稲荷町 11 番 1 号	1962	51	499.20	未実施	未実施
4	桃園住宅	13 棟・49 戸	田谷 145 番地	1963	50	1,695.30	未実施	未実施
5	見晴町住宅	4 棟・16 戸	見晴町 21 番地 3	1967	46	587.20	未実施	未実施
6	錦町住宅	7 棟・30 戸	曲田 83 番地 1	1968	45	1,074.00	未実施	未実施
7	上柴住宅	3 棟・96 戸	上柴町西 1-15-1	1971	42	4,166.40	実施済み	不要
8	緑ヶ丘住宅	7 棟・96 戸	緑ヶ丘 22 番	1984	29	5,680.00	新耐震	新耐震
9	宿根住宅	6 棟・108 戸	宿根 600 番地	1988	25	6,233.40	新耐震	新耐震
10	戸森住宅	2 棟・72 戸	戸森 56 番地 1	1998	15	5,847.07	新耐震	新耐震
11	新井住宅	19 棟・76 戸	新井 354 番地 1	2003	10	4,702.25	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

※ 棟及び戸数は、H25.4.1 時点の数

## ■ 配置状況



## ■ コスト状況

- ・光熱水費については、入居者によって支払われているため、市からの支出金額は 0 円となっています。
- ・平成 24 年度における入居 1 戸当たりのコストについては、天神町住宅が 1,238,310 円で一番高い金額となっています。

《平成 24 年度》		原郷住宅	天神町住宅	薬師堂住宅	桃園住宅	
施設管理費	光熱水費	0	0	0	0	
	修繕料	51,324	0	105,956	343,829	
	委託料	0	16,665	16,665	16,665	
	賃借料等	地代	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
合計 (a)		51,324	16,665	122,621	360,494	
施設運営費 (b)		0	0	0	0	
工事請負費 (c)		0	0	0	0	
人件費 (d)		1,221,645	1,221,645	1,221,645	1,221,645	
減価償却費 (e)		—	—	136,579	532,245	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		1,272,969	1,238,310	1,480,845	2,114,384	
収入（使用料）【参考】		196,200	13,200	411,700	2,359,700	
入居戸数（戸）		9	1	7	39	
入居 1 戸あたり のコスト		141,441	1,238,310	211,549	54,215	

※ 収入については、住宅使用料収入（現年分）及び駐車場使用料収入（現年分）の合計額です。

※ 入居戸数は、平成 24 年 4 月 1 日時点の数です。

《平成24年度》		見晴町住宅	錦町住宅	上柴住宅	緑ヶ丘住宅	
施設管理費	光熱水費	0	0	0	0	
	修繕料	189,000	55,629	1,780,155	1,037,906	
	委託料	16,665	0	0	50,265	
	賃借料等	地代	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
合計 (a)		205,665	55,629	1,780,155	1,088,171	
施設運営費 (b)		0	0	0	0	
工事請負費 (c)		0	0	26,919,060	6,700,554	
人件費 (d)		1,221,645	1,221,645	1,221,645	1,221,645	
減価償却費 (e)		224,383	426,667	3,709,083	14,867,930	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		1,651,693	1,703,941	33,629,943	23,878,300	
収入（使用料）【参考】		833,300	1,610,400	15,714,300	25,600,300	
入居戸数（戸）		13	23	81	90	
入居1戸あたりのコスト		127,053	74,084	415,184	265,314	

《平成24年度》		宿根住宅	戸森住宅	新井住宅	
施設管理費	光熱水費	0	0	0	
	修繕料	1,459,533	414,528	264,201	
	委託料	201,841	1,020,465	33,600	
	賃借料等	地代	0	0	0
		その他	0	0	0
合計 (a)		1,661,374	1,434,993	297,801	
施設運営費 (b)		0	0	0	
工事請負費 (c)		484,050	0	385,350	
人件費 (d)		1,221,645	1,221,645	1,221,645	
減価償却費 (e)		24,832,339	18,768,750	15,630,299	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		28,199,408	21,425,388	17,535,095	
収入（使用料）【参考】		33,274,400	24,196,000	26,184,400	
入居戸数（戸）		106	70	72	
入居1戸あたりのコスト		266,032	306,077	243,543	

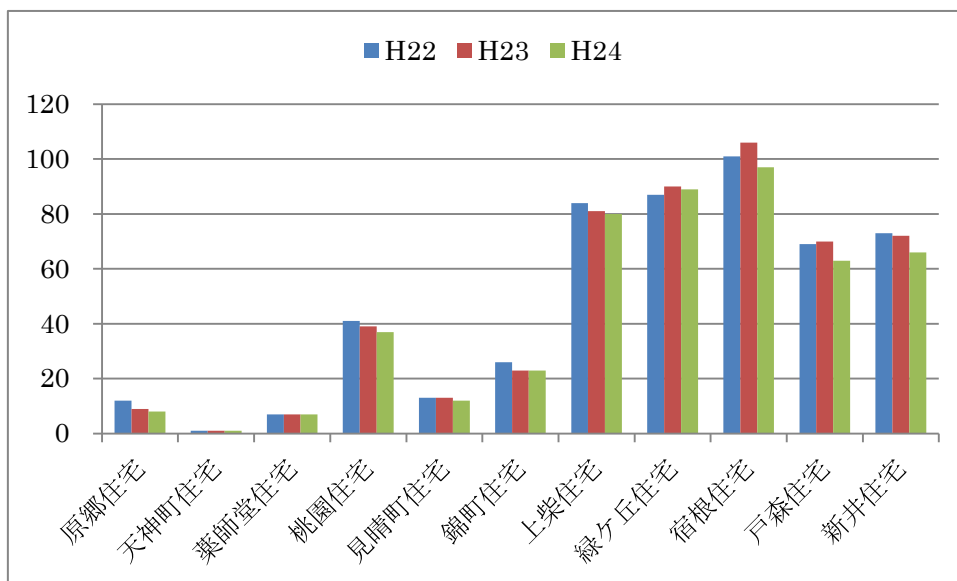
※ 収入については、住宅使用料収入（現年分）及び駐車場使用料収入（現年分）の合計額です。

※ 入居戸数は、平成24年4月1日時点の数です。

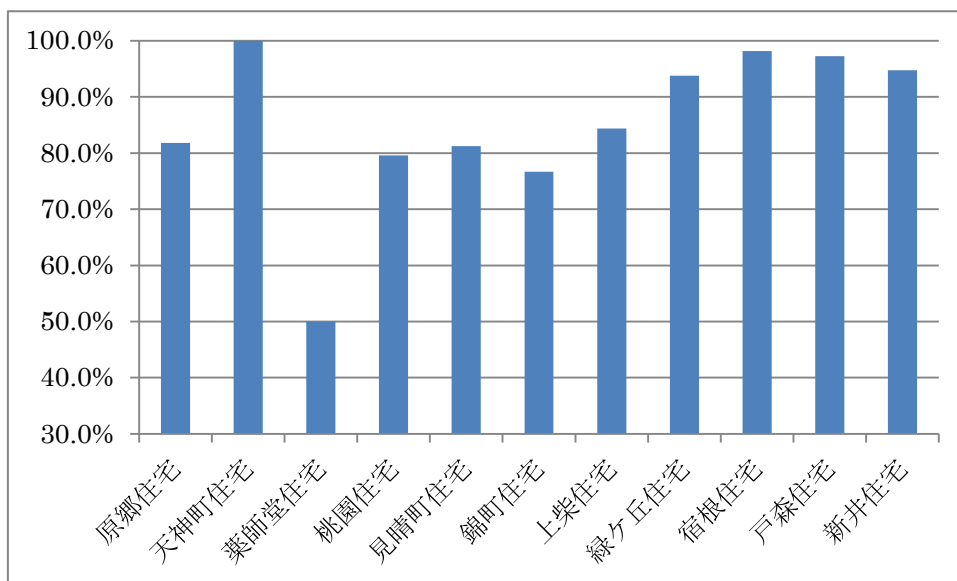
## ■ 利用状況

- ・施設全体の入居戸数については、平成 22 年度の 514 戸から、平成 24 年度の 511 戸へと 3 戸の減少であり、ほぼ横ばいとなっています。

### 【入居戸数の推移（戸）】



### 【入居率（％）】



※平成 24 年 4 月 1 日時点での管理戸数に対する入居戸数の割合

## 10 その他施設

### 10-1 斎場

#### ■ 施設の概要

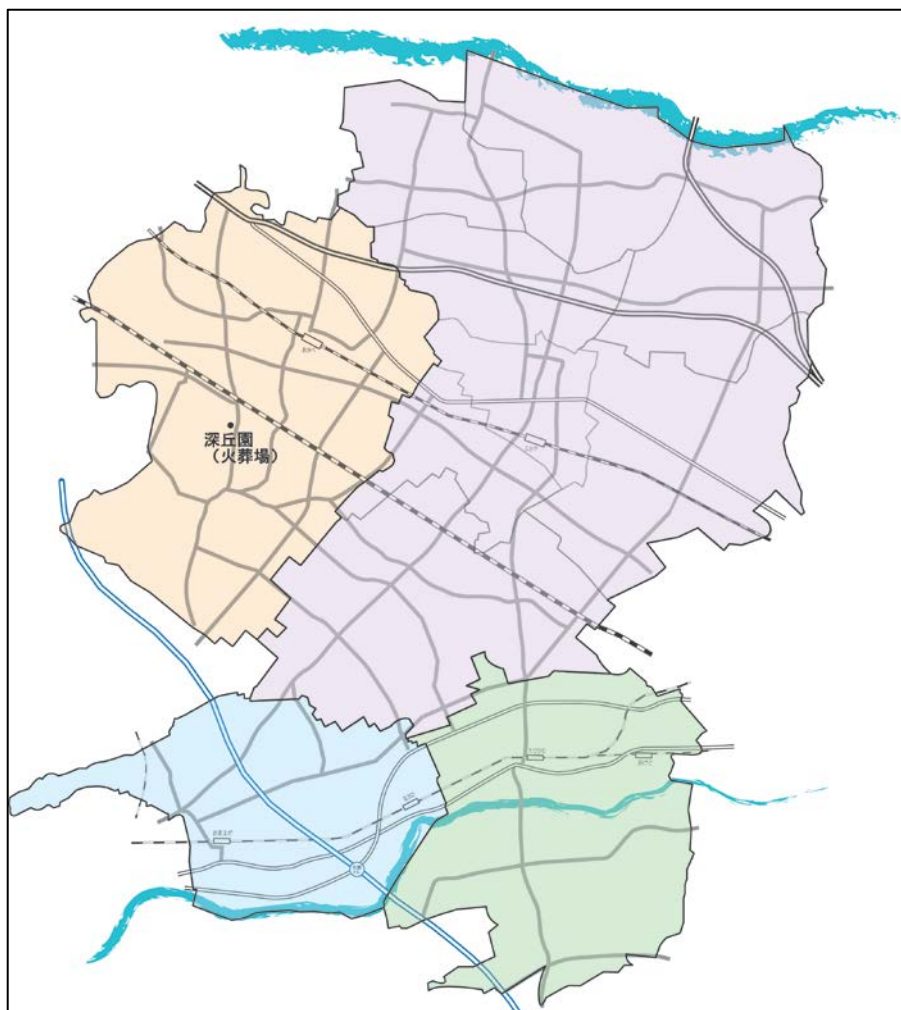
- ・ 斎場は、墓地、埋葬等に関する法律の規定に基づき、人生終焉の儀式（火葬）を執り行う施設として、1施設が設置されています。
- ・ 深丘園は、指定管理者制度を導入し、管理、運営されています。
- ・ 当該施設には、環境への影響に配慮した無煙・無臭の炉を設置しており、また、一般火葬場と併設して、ペット用の火葬場も備えています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深丘園	山河 397-1	2010	3	3,094.28	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

#### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

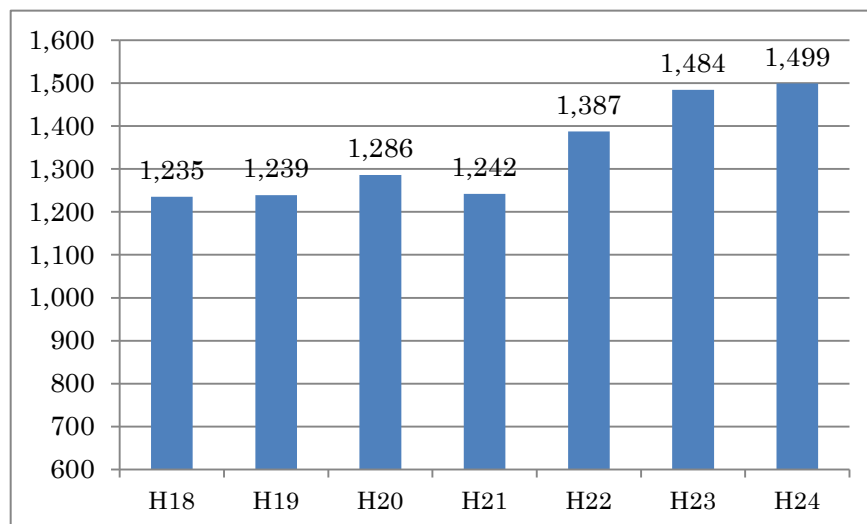
- ・平成 24 年度の深丘園におけるトータルコストは以下のとおりで、利用一件あたりのコストは 81,233 円となっています。
- ・深丘園は指定管理者制度を導入しているため、主たる光熱水費や指定管理者における人件費等は、委託料の中に含まれています。

《平成 24 年度》		深丘園
施設管理費	光熱水費	76,195
	修繕料	3,273,446
	委託料	81,078,801
	賃借料等 地代	0
	その他	0
合 計 (a)		84,428,442
施設運営費 (b)		1,257,358
工事請負費 (c)		0
人件費 (d)		6,489,991
減価償却費 (e)		29,592,500
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		121,768,291
収入（使用料等）【参考】		10,977,951
年間火葬件数（件）		1,499
利用一件あたりのコスト（円）		81,233

## ■ 利用状況

- ・深丘園における火葬件数については、H18 年度の 1,235 件から H24 年度の 1,499 件と、約 260 件増加しており、今後も高齢者が増加するため、火葬需要の増加が予想されます。

## 【施設全体の利用件数（件）】





## 10-2 し尿処理施設

### ■ 施設の概要

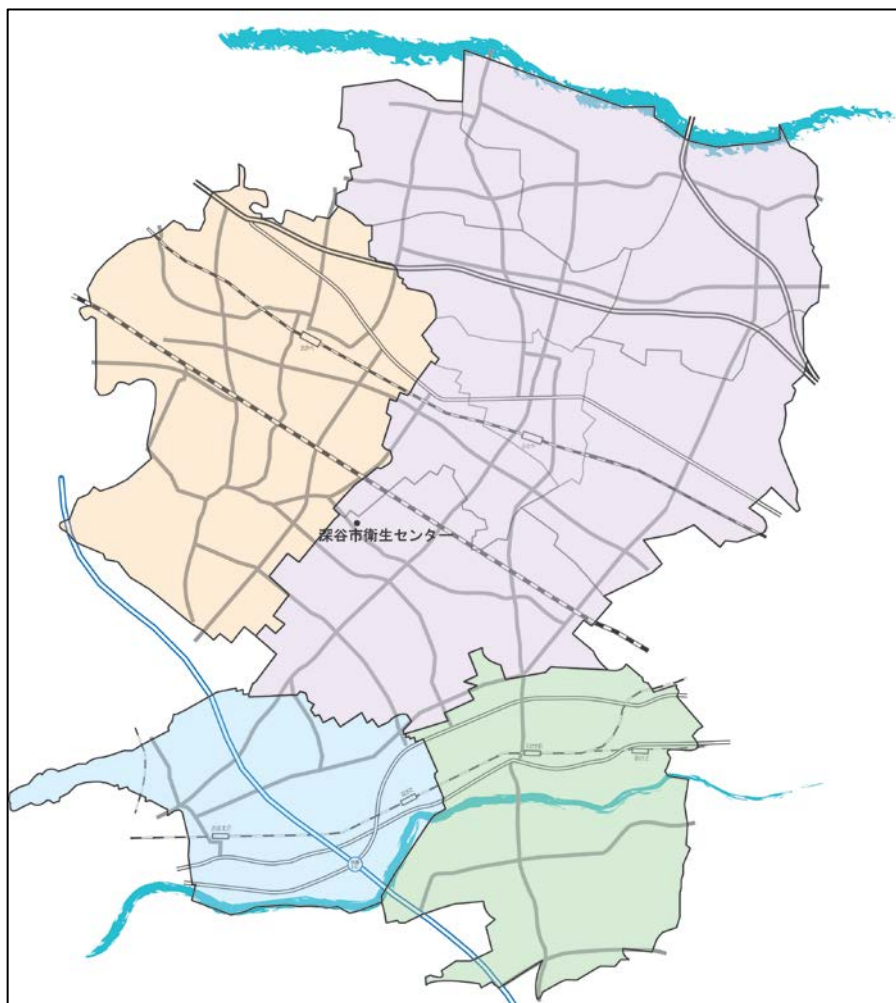
- ・し尿処理施設は、し尿、浄化槽汚泥、家庭雑排水等を衛生的に処理し、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、1施設が設置されています。
- ・深谷市衛生センターは直営にて、管理、運営されています。
- ・最も古い棟は、既に築51年を経過し、施設の老朽化が著しいため、現在、衛生センターの再整備に向け、実施設計等の業務に取り組んでいます。なお、新施設の完成は、平成28年度を予定しています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深谷市衛生センター	榎合 723 番地	1962	51	2,002.17	未実施	未実施

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成 24 年度の深谷市衛生センターにおけるトータルコストは以下のとおりで、処理人口一人あたりのコストは、1,817 円となっています。

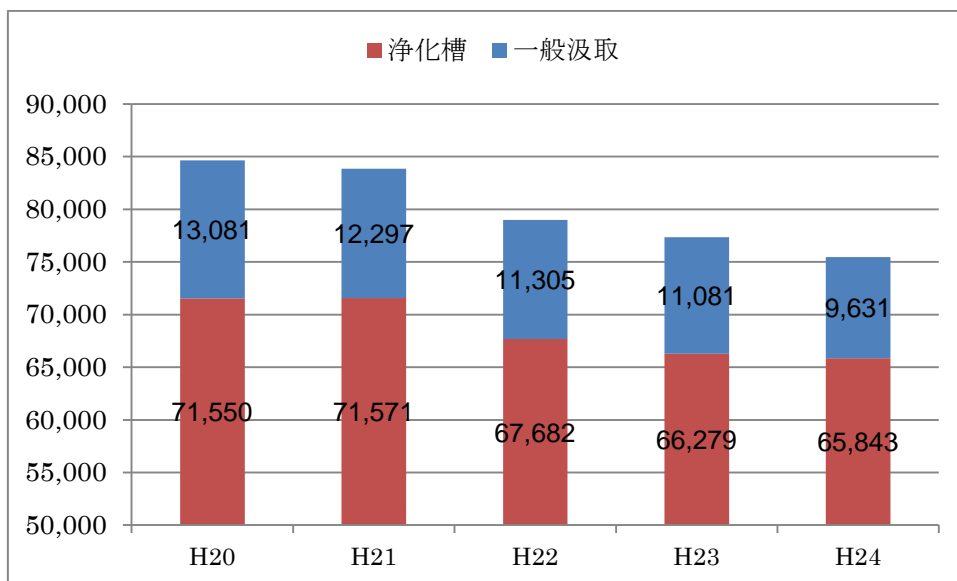
《平成 24 年度》		深谷市衛生センター
施設管理費	光熱水費	16,538,761
	修繕料	8,032,268
	委託料	58,584
	賃借料等 地代	0
	その他	112,538
合 計 (a)		24,742,151
施設運営費 (b)		60,388,827
工事請負費 (c)		4,971,750
人件費 (d)		38,176,420
減価償却費 (e)		8,827,384
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		137,106,532
収入（使用料等）【参考】		2,404,650
年間利用者数（人）		75,474
利用者一人あたりのコスト（円）		1,817

## ■ 利用状況

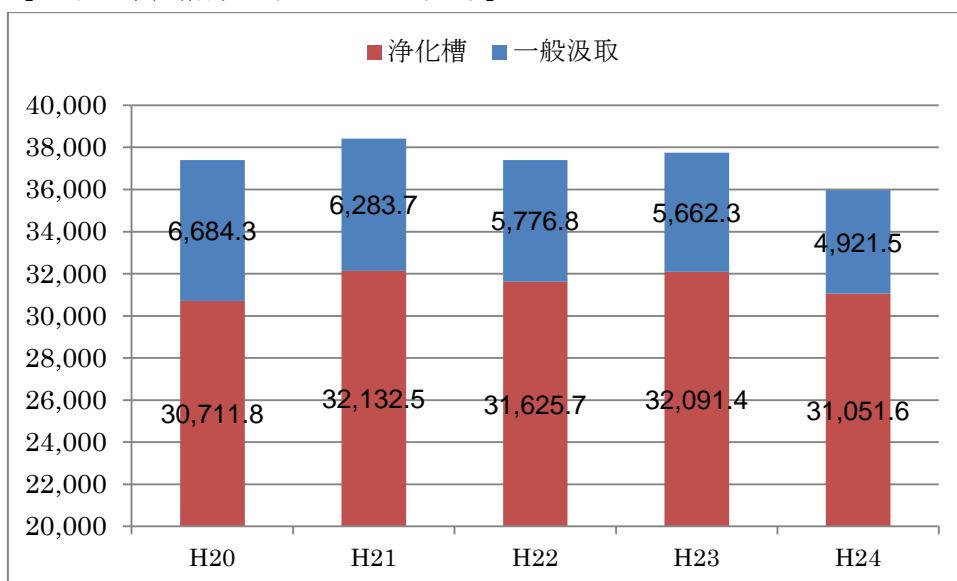
・処理人口については、浄化槽が H20 年度の 71,550 人から H24 年度の 65,843 人と、5,707 人減少しており、一般汲取りが H20 年度の 13,081 人から H24 年度の 9,631 人と、3,450 人（26%）減少しています。

・処理量については、浄化槽は 31,000KL 前後で推移していますが、一般汲取りは H20 年度の 6,684.3KL から H24 年度の 4,921.5KL と、1,762.8KL（26%）減少しています。

【し尿・浄化槽汚泥等の処理人口（人）】



【し尿・浄化槽汚泥等の処理量（KL）】



### 10-3 公設地方卸売市場

#### ■ 施設の概要

- ・公設地方卸売市場は、花植木の円滑な需給調整を図り、農業振興の発展に資することを目的として、1施設が設置されています。
- ・深谷市花植木公設地方卸売市場は、旧耐震基準で建てられた建物ですが、耐震診断は行っておらず、耐震性に懸念があり、また築39年を経過しており、施設の老朽化が進んでいます。
- ・市が市場開設者となり、民間事業者（2社）が営業を行っています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震診断	耐震改修
深谷市花植木公設地方卸売市場	榊引22番地1	1974	39	2,210.79	未実施	未実施

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

#### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

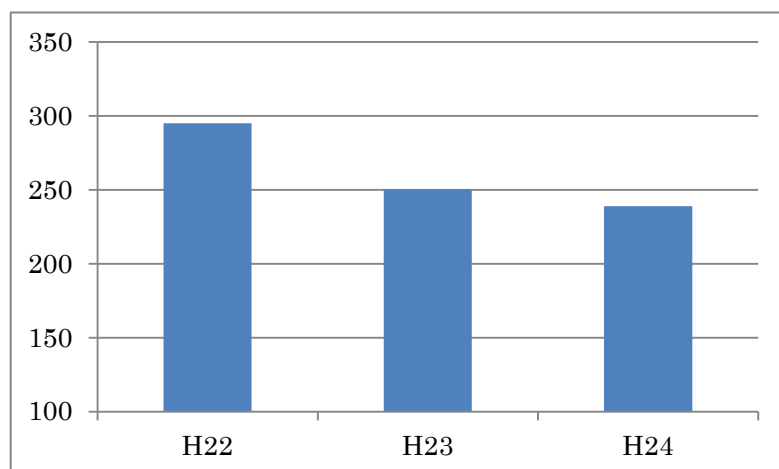
・平成24年度の深谷市花植木公設地方卸売市場におけるトータルコストは以下のとおりで、光熱水費については、民間事業者から支払われています。

《平成24年度》		深谷市花植木公設地方卸売市場	
施設管理費	光熱水費	0	
	修繕料	383,775	
	委託料	119,748	
	賃借料等	地代	0
		その他	0
合計 (a)		503,523	
施設運営費 (b)		0	
工事請負費 (c)		7,327,110	
人件費 (d)		3,054,114	
減価償却費 (e)		2,601,667	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		13,486,413	
収入(使用料等)【参考】		5,330,400	

## ■ 利用状況

・売上金額については、年々減少傾向にあります。

【売上金額（百万円）】



## 10-4 堆肥製造施設

### ■ 施設の概要

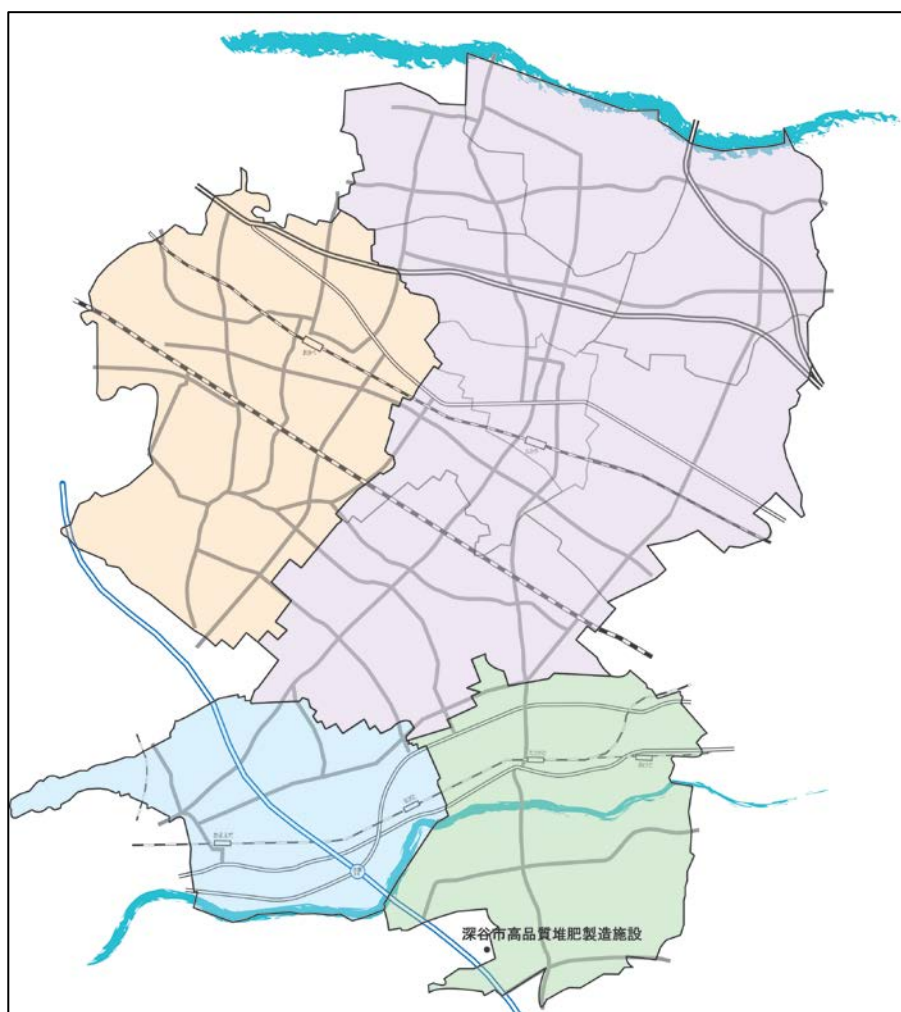
- ・堆肥製造施設は、生活環境の保全と農業振興のため、畜産農家と耕種農家の連携により、地域循環型制度を創り出すことで有機資源（家畜糞）の再利用を図り、新たな農業の構築と健康な食生活を生み出すことを目的として、1施設が設置されています。
- ・施設の管理、運営は直営で行っています。
- ・当該施設の敷地は借地（所在地は寄居町）となっています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
深谷市高品質堆肥製造施設	大里郡寄居町大字赤浜 2496番地	2000	13	4,477	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013（H25）年を基準年として算出しています。

### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

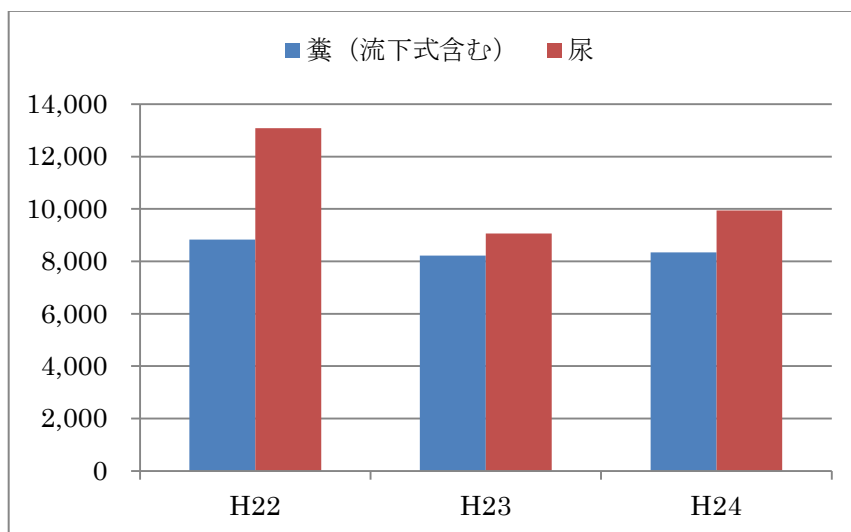
- ・平成 24 年度の高品質堆肥製造施設におけるトータルコストは以下のとおりです。

《平成 24 年度》		深谷市高品質堆肥製造施設	
施設管理費	光熱水費	15,978,176	
	修繕料	16,293,038	
	委託料	11,681,660	
	賃借料等	地代	3,377,740
		その他	38,640
合 計 (a)		47,369,254	
施設運営費 (b)		5,759,491	
工事請負費 (c)		0	
人件費 (d)		15,384,134	
減価償却費 (e)		19,213,000	
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		87,725,879	
収入 (使用料等)【参考】		25,757,474	

## ■ 利用状況

- ・年間の畜糞処理量は約 8,000 t、畜尿処理量は 10,000 t 前後となっています。
- ・製造された堆肥（年間約 1,500 t）はすべて完売となっており、年間約 1 千万円の売り上げがあります。

《糞尿処理量 (t)》



## 10-5 文化財管理センター

## ■ 施設の概要

- ・文化財管理センターは、出土文化財の保存、管理及び収集を行うとともに、その活用を図り、埋蔵文化財の調査及び研究を行うことを目的として、1施設が設置されています。
- ・基本的には出土文化財の収蔵、管理や整理を行う施設ですが、展示室も併設しており、定期的に企画展示を行っています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
川本出土文化財管理センター	菅沼 1019	1994	19	803	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

## ■ 配置状況





## ■ コスト状況

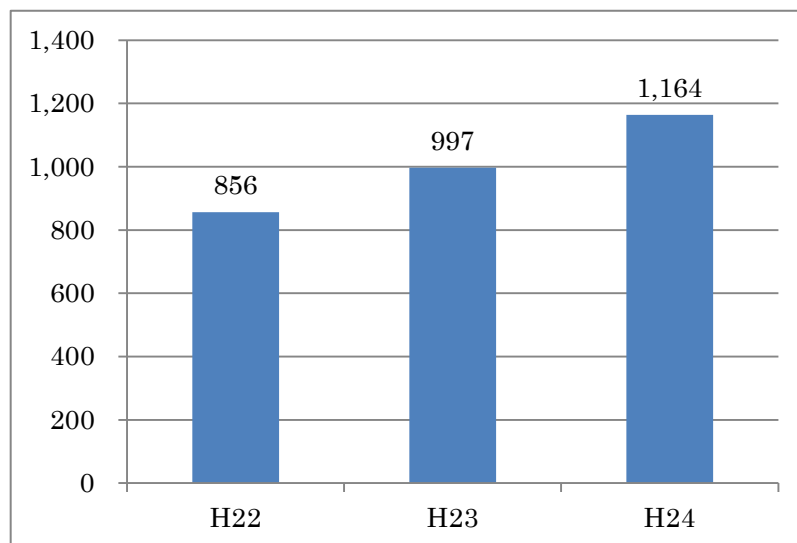
・平成24年度の川本出土文化財管理センターにおけるトータルコストは以下のとおりで、年間約4,500,000円となっています。

《平成24年度》		川本出土文化財管理センター
施設管理費	光熱水費	712,535
	修繕料	298,200
	委託料	394,109
	賃借料等 地代	0
	その他	0
合計 (a)		1,404,844
施設運営費 (b)		22,050
工事請負費 (c)		0
人件費 (d)		763,528
減価償却費 (e)		2,295,183
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		4,485,605

## ■ 利用状況

・下記グラフは、企画展示会等への来場者数の推移となっており、平成22年度の856人から、平成24年度の1,164人と、約300人増加しています。

【利用者数（人）】



## 10-6 書庫

### ■ 施設の概要

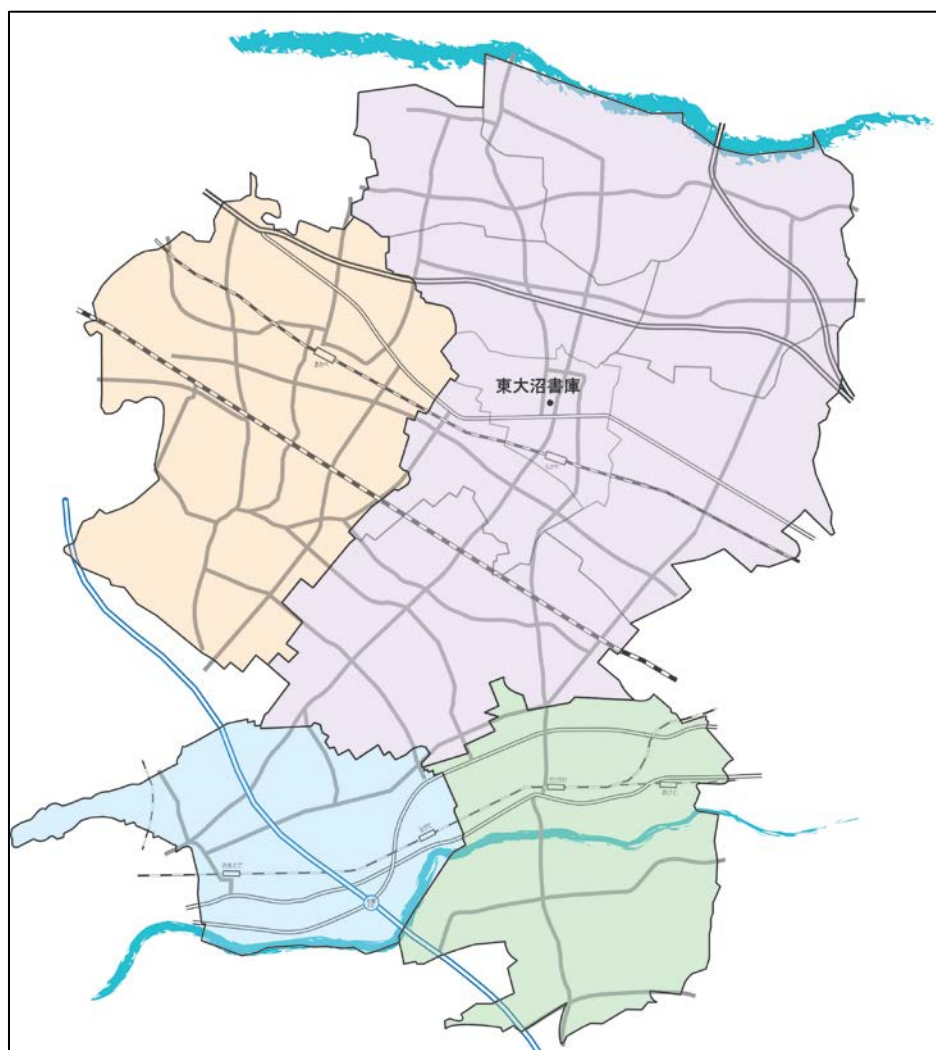
- ・書庫は、主として庁内で使用、作成された文書等を保存するための建物として、1施設が設置されています。
- ・直接、市民の方々には関係しない施設ですが、法令等で保存年限が定められている文書等を適正に管理していかななくてはならないため、必要な施設となっています。

施設名	住所	建築年※1	築年数※2	延床面積 (㎡)	耐震診断	耐震改修
東大沼書庫	東大沼 308-6	2001	12	436.18	新耐震	新耐震

※1 建築年：主要棟のうち一番古い棟の建築年を記載しています。

※2 築年数：2013 (H25) 年を基準年として算出しています。

### ■ 配置状況



## ■ コスト状況

・平成24年度の東大沼書庫におけるトータルコストは以下のとおりで、延床面積1㎡当たりの施設管理費は1,471円となっています。

《平成24年度》		東大沼書庫
施設管理費	光熱水費	423,809
	修繕料	147,000
	委託料	0
	賃借料等 地代	0
	その他	70,983
合計 (a)		641,792
施設運営費 (b)		0
工事請負費 (c)		0
人件費 (d)		3,817,642
減価償却費 (e)		1,238,913
トータルコスト (a)+(b)+(c)+(d)+(e)		5,698,347
延床面積(㎡) (f)		436.18
1㎡当たりの施設管理費 (a)/(f)		1,471



## 資料 対象施設一覧

No.	施設分類	施設名	管理方法	掲載頁
1	市民文化系施設	深谷コミュニティセンター	指定	19
2	市民文化系施設	上柴コミュニティセンター	直営	19
3	市民文化系施設	くれよんかん	直営	19
4	市民文化系施設	深谷市深谷生涯学習センター・深谷公民館	直営	23
5	市民文化系施設	深谷市藤沢生涯学習センター・藤沢公民館	直営	23
6	市民文化系施設	深谷市幡羅生涯学習センター・幡羅公民館	直営	23
7	市民文化系施設	深谷市明戸生涯学習センター・明戸公民館	直営	23
8	市民文化系施設	深谷市大寄公民館	直営	23
9	市民文化系施設	深谷市八基公民館	直営	23
10	市民文化系施設	深谷市豊里公民館	直営	23
11	市民文化系施設	深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館	直営	23
12	市民文化系施設	深谷市南公民館	直営	23
13	市民文化系施設	深谷市岡部公民館	直営	23
14	市民文化系施設	深谷市川本公民館	直営	23
15	市民文化系施設	深谷市花園生涯学習センター・花園公民館	直営	23
16	市民文化系施設	深谷市民文化会館	指定	32
17	市民文化系施設	深谷市花園文化会館アドニス	指定	32
18	市民文化系施設	深谷市男女共同参画推進センター（L・フォルテ）	直営	36
19	市民文化系施設	深谷駅市民サービスセンター	直営	39
20	社会教育系施設	深谷市立図書館	直営	42
21	社会教育系施設	深谷市立岡部図書館	直営	42
22	社会教育系施設	深谷市立川本図書館	直営	42
23	社会教育系施設	深谷市立花園こども情報交流図書館 アクロス	直営	42
24	社会教育系施設	洪沢栄一記念館	直営	46
25	保健福祉系施設	深谷市老人福祉センター仙元荘	直営	48
26	保健福祉系施設	深谷市老人福祉センター福寿荘	直営	48
27	保健福祉系施設	深谷市老人福祉センター岡部荘	直営	48
28	保健福祉系施設	深谷市老人福祉センター花園荘	直営	48
29	保健福祉系施設	深谷市高齢者福祉青少年活動複合施設もくせい館	直営	48
30	保健福祉系施設	深谷市世代間交流センターはたらふれあい館	直営	48

No.	施設分類	施設名	管理方法	掲載頁
31	保健福祉系施設	老人ホーム松寿園	直営	48
32	保健福祉系施設	深谷市立たんぼぼ作業所	指定	52
33	保健福祉系施設	深谷市つくしの家	直営	52
34	保健福祉系施設	深谷市保健センター	直営	55
35	保健福祉系施設	深谷市岡部保健センター	直営	55
36	保健福祉系施設	深谷市川本保健センター	直営	55
37	保健福祉系施設	深谷市花園保健センター	直営	55
38	保健福祉系施設	深谷市総合健診センター	指定	55
39	保健福祉系施設	深谷市ボランティア交流センター	直営	59
40	スポーツ・レクリエーション系施設	深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)	指定	61
41	スポーツ・レクリエーション系施設	深谷市民体育館	直営	61
42	スポーツ・レクリエーション系施設	岡部B&G海洋センター	直営	61
43	スポーツ・レクリエーション系施設	川本農業者トレーニングセンター	直営	61
44	スポーツ・レクリエーション系施設	花園農業者トレーニングセンター	指定	61
45	スポーツ・レクリエーション系施設	深谷グリーンパーク・パティオ	指定	66
46	スポーツ・レクリエーション系施設	仙元山公園遊園地(わんぱくランド)	指定	66
47	スポーツ・レクリエーション系施設	川本サングリーンパーク	指定	66
48	スポーツ・レクリエーション系施設	仙元山公園	指定	70
49	スポーツ・レクリエーション系施設	東公園	指定	70
50	スポーツ・レクリエーション系施設	常盤公園	指定	70
51	スポーツ・レクリエーション系施設	深谷城址公園	指定	70
52	スポーツ・レクリエーション系施設	上柴中央公園	指定	70
53	スポーツ・レクリエーション系施設	東方公園	直営	70
54	スポーツ・レクリエーション系施設	北部運動公園	指定	70
55	スポーツ・レクリエーション系施設	柴崎公園	直営	70
56	スポーツ・レクリエーション系施設	岡部中央公園	直営	70
57	スポーツ・レクリエーション系施設	白草台運動公園	直営	70
58	スポーツ・レクリエーション系施設	花園総合運動公園	指定	70
59	スポーツ・レクリエーション系施設	花園水辺公園	直営	70
60	スポーツ・レクリエーション系施設	利根川緑地公園	指定	70

No.	施設分類	施設名	管理方法	掲載頁
61	スポーツ・レクリエーション系施設	折之口ふれあい公園	指定	70
62	スポーツ・レクリエーション系施設	明戸農村公園	直営	70
63	スポーツ・レクリエーション系施設	中瀬グラウンド	直営	73
64	スポーツ・レクリエーション系施設	岡部中央グラウンド	直営	73
65	スポーツ・レクリエーション系施設	岡部東グラウンド	直営	73
66	スポーツ・レクリエーション系施設	川本天神グラウンド	直営	73
67	スポーツ・レクリエーション系施設	川本グラウンド・ゴルフ場	直営	73
68	スポーツ・レクリエーション系施設	上本田グラウンド	直営	73
69	スポーツ・レクリエーション系施設	植松グラウンド	直営	73
70	産業系施設	岡部多目的センター	直営	75
71	産業系施設	本郷農業総合センター	直営	75
72	産業系施設	川本農民センター	直営	75
73	産業系施設	川本農村婦人の家	直営	75
74	産業系施設	川本農業総合地域施設	直営	75
75	産業系施設	花園就業改善センター	指定	75
76	産業系施設	深谷市産業会館	指定	75
77	産業系施設	岡部ふるさと物産センター	指定	81
78	産業系施設	花園地域物産館アルエット	指定	81
79	産業系施設	深谷市物産館	直営	81
80	産業系施設	川本農産物直売所	直営	81
81	子育て支援施設	深谷市立藤沢保育園	直営	84
82	子育て支援施設	深谷市立明戸保育園	直営	84
83	子育て支援施設	深谷市立八基保育園	直営	84
84	子育て支援施設	深谷市立豊里保育園	直営	84
85	子育て支援施設	深谷市立みらい幼稚園おかべ	直営	84
86	子育て支援施設	深谷市立川本保育園	直営	84
87	子育て支援施設	深谷市立川本南保育園	直営	84
88	子育て支援施設	深谷市立第一深谷学童保育室	直営	88
89	子育て支援施設	深谷市立第二深谷学童保育室	直営	88
90	子育て支援施設	深谷市立第一桜ヶ丘学童保育室	直営	88



No.	施設分類	施設名	管理方法	掲載頁
91	子育て支援施設	深谷市立第二桜ヶ丘学童保育室	直営	88
92	子育て支援施設	深谷市立第一幡羅学童保育室	直営	88
93	子育て支援施設	深谷市立第二幡羅学童保育室	直営	88
94	子育て支援施設	深谷市立第一常盤学童保育室	直営	88
95	子育て支援施設	深谷市立第二常盤学童保育室	直営	88
96	子育て支援施設	深谷市立明戸学童保育室	直営	88
97	子育て支援施設	深谷市立大寄学童保育室	直営	88
98	子育て支援施設	深谷市立八基学童保育室	直営	88
99	子育て支援施設	深谷市立豊里学童保育室	直営	88
100	子育て支援施設	深谷市立上柴学童保育室	直営	88
101	子育て支援施設	深谷市立第一岡部学童保育室	指定	88
102	子育て支援施設	深谷市立第二岡部学童保育室	指定	88
103	子育て支援施設	深谷市立榛沢学童保育室	直営	88
104	子育て支援施設	深谷市立本郷学童保育室	指定	88
105	子育て支援施設	深谷市立第一岡部西学童保育室	指定	88
106	子育て支援施設	深谷市立第二岡部西学童保育室	指定	88
107	学校教育系施設	深谷幼稚園	直営	94
108	学校教育系施設	深谷西幼稚園	直営	94
109	学校教育系施設	桜ヶ丘幼稚園	直営	94
110	学校教育系施設	藤沢幼稚園	直営	94
111	学校教育系施設	上柴西幼稚園	直営	94
112	学校教育系施設	幡羅幼稚園	直営	94
113	学校教育系施設	常盤幼稚園	直営	94
114	学校教育系施設	明戸幼稚園	直営	94
115	学校教育系施設	大寄幼稚園	直営	94
116	学校教育系施設	豊里幼稚園	直営	94
117	学校教育系施設	おかべ幼稚園	直営	94
118	学校教育系施設	花園幼稚園	直営	94
119	学校教育系施設	深谷小学校	直営	99
120	学校教育系施設	深谷西小学校	直営	99

No.	施設分類	施設名	管理方法	掲載頁
121	学校教育系施設	桜ヶ丘小学校	直営	99
122	学校教育系施設	藤沢小学校	直営	99
123	学校教育系施設	上柴東小学校	直営	99
124	学校教育系施設	上柴西小学校	直営	99
125	学校教育系施設	幡羅小学校	直営	99
126	学校教育系施設	常盤小学校	直営	99
127	学校教育系施設	明戸小学校	直営	99
128	学校教育系施設	大寄小学校	直営	99
129	学校教育系施設	八基小学校	直営	99
130	学校教育系施設	豊里小学校	直営	99
131	学校教育系施設	岡部小学校	直営	99
132	学校教育系施設	榛沢小学校	直営	99
133	学校教育系施設	本郷小学校	直営	99
134	学校教育系施設	岡部西小学校	直営	99
135	学校教育系施設	川本北小学校	直営	99
136	学校教育系施設	川本南小学校	直営	99
137	学校教育系施設	花園小学校	直営	99
138	学校教育系施設	深谷中学校	直営	105
139	学校教育系施設	南中学校	直営	105
140	学校教育系施設	藤沢中学校	直営	105
141	学校教育系施設	上柴中学校	直営	105
142	学校教育系施設	幡羅中学校	直営	105
143	学校教育系施設	明戸中学校	直営	105
144	学校教育系施設	豊里中学校	直営	105
145	学校教育系施設	岡部中学校	直営	105
146	学校教育系施設	川本中学校	直営	105
147	学校教育系施設	花園中学校	直営	105
148	学校教育系施設	深谷市立教育研究所	直営	110
149	学校教育系施設	岡部学校給食センター	直営	113
150	学校教育系施設	花園学校給食センター	直営	113
151	行政系施設	深谷市役所 本庁舎	直営	115

No.	施設分類	施設名	管理方法	掲載頁
152	行政系施設	深谷市役所 南別館	直営	115
153	行政系施設	深谷市役所 第二庁舎	直営	115
154	行政系施設	深谷市役所 産業会館分室	直営	115
155	行政系施設	深谷市教育庁舎	直営	115
156	行政系施設	深谷市岡部総合支所	直営	115
157	行政系施設	深谷市川本総合支所	直営	115
158	行政系施設	深谷市花園総合支所分室	直営	115
159	行政系施設	深谷市消防本部庁舎	直営	119
160	行政系施設	深谷消防署	直営	119
161	行政系施設	花園消防署	直営	119
162	行政系施設	藤沢分署	直営	119
163	行政系施設	豊里分署	直営	119
164	行政系施設	岡部分署	直営	119
165	行政系施設	上柴分署	直営	119
166	行政系施設	川本分署	直営	119
167	市営住宅	原郷住宅	直営	123
168	市営住宅	天神町住宅	直営	123
169	市営住宅	薬師堂住宅	直営	123
170	市営住宅	桃園住宅	直営	123
171	市営住宅	見晴町住宅	直営	123
172	市営住宅	錦町住宅	直営	123
173	市営住宅	上柴住宅	直営	123
174	市営住宅	緑ヶ丘住宅	直営	123
175	市営住宅	宿根住宅	直営	123
176	市営住宅	戸森住宅	直営	123
177	市営住宅	新井住宅	直営	123
178	その他施設	深丘園	指定	128
179	その他施設	深谷市衛生センター	直営	131
180	その他施設	深谷市花植木公設地方卸売市場	直営	134
181	その他施設	深谷市高品質堆肥製造施設	直営	136
182	その他施設	川本出土文化財管理センター	直営	138
183	その他施設	東大沼書庫	直営	140

# 深谷市公共施設白書

平成 26 年 3 月

発行 深谷市（企画財政部企画課）

〒366-8501

埼玉県深谷市仲町 11-1

TEL 048-571-1211

FAX 048-574-6665